

茨城の文化財

第60集（令和3年度）

茨城県教育委員会

序

豊かな自然と歴史に恵まれた郷土茨城には、有形・無形の貴重な文化財や自然の造形が数多くあります。長い歴史の中で育まれてきた文化財は、わが国の歴史、伝統、文化を正しく理解するために欠くことのできない国民的遺産であり、文化のさらなる向上発展の基礎となるものです。

令和3年4月の改正文化財保護法において、無形文化財、無形民俗文化財の登録制度及び地方登録制度が創設されました。これまでの有形文化財、有形民俗文化財、記念物と併せて文化財全般にわたり登録制度が整備されたことになり、文化財の保存活用のための施策がさらに充実することが期待されます。

本書では、令和3年度に指定された県指定文化財及び令和2年度に登録された国登録文化財等について収録するとともに、国・県指定及び国登録等の文化財一覧表を掲載いたしました。

また、令和3年度茨城県埋蔵文化財センター事業概要や令和2年度に県内で実施された埋蔵文化財発掘調査の概要なども収録いたしました。本書が多くの方々に活用され、文化財の保存・活用の一助となれば幸いです。

結びに、新型コロナウイルス（covid-19）感染症の拡大により、先を見通せない不安な日常を強いられた中、本書の刊行にあたり御協力をいただきました茨城県文化財保護審議会委員をはじめ、関係市町村文化財主管課並びに文化財の所有者及び保護団体の皆様方に対して深く感謝いたします。

令和4年3月31日

茨城県教育委員会

教育長 小泉 元伸

例 言

1 本書は、茨城県文化財保護条例の規定に基づき、令和3年度に県指定文化財となった2件及び文化財保護法の規定に基づき令和2年度に登録原簿に登録された登録有形文化財1件について、解説を収録したものである。

2 国・県指定文化財等総数は令和4年3月31日、市町村別指定文化財数量は令和4年3月1日現在のものである。

3 茨城県文化財保護審議会委員は、次の各氏である。

会 長	糸 賀 茂 男
副会長	小野寺 淳
委 員	浅 見 龍 介 (令和4年1月28日から)
委 員	伊 藤 紫 織
委 員	金 出 ミチル (令和4年1月28日から)
委 員	串 田 紀代美
委 員	小 森 正 明 (令和4年1月28日から)
委 員	谷 口 陽 子
委 員	千 葉 真由美 (令和4年1月28日から)
委 員	徳 丸 亞 木
委 員	藤 井 英二郎
委 員	藤 川 昌 樹
委 員	山 田 利 博
委 員	瀬 谷 貴 之 (令和4年1月27日まで)
委 員	日 塔 和 彦 (令和4年1月27日まで)
委 員	八 木 健 彦 (令和4年1月27日まで)
委 員	山 本 隆 志 (令和4年1月27日まで)

4 令和3年度茨城県埋蔵文化財センター事業概要は、茨城県埋蔵文化財センター（いせきびあ茨城）運営方針及び令和3年度12月までの事業実績をもとに編集したものである。

5 遺跡発掘調査報告は、令和2年度に県内で実施された埋蔵文化財発掘調査の概要を、市町村教育委員会、公益財団法人茨城県教育財団及び調査担当者が作成した埋蔵文化財発掘調査概要調査票に基づき、茨城県教育委員会が集約、編集したものである。

目 次

序

例 言

1	令和3年度に指定された県指定文化財……………	1
	（1）茨城県指定有形文化財 古文書	
	古第9号 岡澤文書 ……………	3
	（2）茨城県指定有形文化財 歴史資料	
	歴第11号 紙本墨書 聖護院道興筆天神名号 ……………	7
2	令和2年度に登録された登録有形文化財……………	9
3	国・県指定文化財等一覧……………	13
	（1）国・県指定文化財等総数 ……………	15
	（2）国指定文化財等一覧 ……………	16
	（3）ユネスコ無形文化遺産一覧 ……………	28
	（4）県指定文化財一覧 ……………	29
	（5）国登録文化財一覧 ……………	58
4	市町村別指定文化財数 ……………	67
	令和3年度新規指定（解除）市町村指定文化財一覧……………	72
5	令和3年度茨城県埋蔵文化財センター事業概要……………	73
6	令和2年度茨城県遺跡発掘調査報告……………	79

1 令和3年度に指定された 県指定文化財

(1) 茨城県指定有形文化財 古文書

古第9号

おかざわもんじょ
岡澤文書 8点

指定日 令和3年12月27日

所在地 茨城県稲敷市福田

所有者 個人

岡澤文書8点のうち発給年が確かなもので、もっとも古いのは番号1の永正14年(1517)11月18日小田政治判物^{はんもつ}である。これは、小田政治が九郎兵衛に東条庄地頭方鍛冶大工職を安堵した文書である。付年号は異筆であり、料紙はやや縦長(堅切紙)であるが、正文と考えられる。稲敷市指定文化財の刀剣(室町後期)の銘には「常州東条之庄高田住人勝貞作」とあり、岡澤九郎兵衛が安堵された鍛冶大工職も高田(郷)を本拠とする権利であった。小田政治は小田城主であるが、桜川流域から霞ヶ浦までの支配圏を拡大しようとしていたので、東条庄高田郷の鍛冶岡澤氏もその保護を受けようとしたものと思われる。「鍛冶大工職」とは、鍛冶師を統率する立場を意味しているので、岡澤九郎兵衛は東条庄地頭方に居住し、ここで活動する鍛冶職人を配下にしていただけと考えてよい。

番号2は江戸崎城主となった土岐治英が岡澤又二郎に与えた天文22年(1553)10月日名字状^{みょうじじょう}であり、英定の名前を与えている。この岡澤又二郎は先の岡澤九郎兵衛との関係は不明であるが、同族であろう(親子または兄弟カ)。この料紙は通常の堅紙を折紙にして発給しているが、この時代の名字状の形式を踏襲している(相田二郎『日本の古文書 上』)。岡澤英定は土岐治英から「英」の字を与えられたことで、擬制的親子関係をもつ従者になったのである。また番号3は土岐治英が永禄4年(1561)3月28日岡澤九郎兵衛尉に「福田前さん田六貫文」の土地を安堵し、「走り廻る」(奉仕する)ことを命じている。この岡澤九郎兵衛尉は先の岡澤英定(又二郎)とは別人であろうが、九郎兵衛を名乗っているので、鍛冶大工職の継承者であることを主張している。また「福田」は岡澤家の居住地であり、この地を本拠とする岡澤氏が土岐氏の権力に編成されたことがわかる。

番号2・3の発給者である土岐治英は、父の土岐治頼の時期から、小田氏と友好関係にあり、通字の「治」は小田氏治(政治の子)から与えられたものと思われる。永禄年間には全国的に見て大名の家臣編成が進み、刀剣などの武器が量産される時期である。岡澤氏も江戸崎城主土岐氏の家臣に組み込まれた。

番号4の天正14年(1586)12月6日の土岐治綱名字状は、岡澤又二郎に「綱」の一字を与えて、綱定の名乗りを許した文書である。この又二郎(綱定)は番号2の又二郎(英定)の後継者と考えられる。発給者の土岐治綱は、番号2・3発給者の土岐治英の子であるが、天正8年までに小田原北条氏に従ったと考えられる(『戦国人名辞典』)。江戸崎管天寺(稲敷市)に残る土岐家累代の墓・位牌のなかには治綱の位牌(江戸期作成)もある。

番号5の天正20年(1592)2月23日芦名盛重黒印状は、豊臣大名として江戸崎城主となった芦名盛重が、岡澤伊賀から作製進上された長太刀・十文字槍その他の具足の出来栄を褒めて「盛」の一字を

与えるとともに、用仕（用事）に従うよう命じた文書である。この時期、岡澤氏は「伊賀」の官途を得ていたことが分かるが、「盛」の一字を芦名盛重から与えられた。これにより、岡澤伊賀盛口と名乗ったであろう。この文書の料紙は雁皮紙の堅紙である。芦名盛重は佐竹義重の子であったが、芦名家に入った。天正18年（1590）の小田原合戦後には秀吉により、佐竹氏の与力として江戸崎城主に取り立てられた。豊臣大名であったことから京都・畿内との往復があったものと想像される。盛重の発給文書が雁皮紙であることも関連があろう。また岡澤家に現在残る兜には金箔が施されており、関東では見かけることが少ない。これも西国との関係が考えられよう。

番号6、番号7は呪符と考えられる。料紙は縦30cm余、横41cm前後であり、同じ料紙を用いて作成されている。番号6は、中央に剣（三鈷剣）の図を描き、その右に「八幡大菩薩 五大力菩薩 摩利支尊天 七鬼神 毘沙門天王門」と列記し、左には梵字で不動明王ほかを書いている（梵字の読解は『稲敷魂！稲敷市の文化財 中世文書の世界』）。梵字の最初は不動明王であるが、その脇には「ふたう」と仮名が入れている。奥には「岡澤又二郎 英定」とあるが、この文字は冒頭の「八幡大菩薩」以下の文字と同筆かと思われ、戦国期の書体とも判断できる。岡澤又二郎英定は番号2の天文22年10月日名字状に見える人物であるが、この人物の時代の呪符と見なすことも可能である。岡澤又二郎英定が近在の寺社に依頼して作成したのかもしれない。番号7も梵字の筆勢から番号6と同時代の作成かと思われるが、梵字を8行にわたり36文字書いている。2行目から6行目頭の23字は光明真言であり、呪符かと判断される。刀鍛冶の岡澤氏の所蔵する文書群にこのような呪符が伝来していることは、その職能が神仏（寺社）の加護のもとにあったことを思わせる。近在の高田神社（熊野神社）には元亀元年（1570）11月鬼宿（15日）に岡澤九郎兵衛英定作成の長刀が奉納されているが、その銘文の一部には梵字が見える（『常州東条庄高田郷の刀鍛冶』）。刀鍛冶岡澤氏と梵字は近い関係にあったと思われる。

番号8の鍛冶由緒書は8枚の紙を継いだ料紙に書かれている。1枚は縦14.5cm、横38cm前後。ただ第一紙は29cm余、第七紙は31cmとやや小さい。ただ紙継目の上にも字があるので、まず継紙に作成し、その上に書いたものと判断できる。記述の趣旨は、最初に鍛冶の根本を説明し、次に大和国を本拠とする鍛冶職が越後国鶴河に下り、その近在の柏崎住人泉之弥五郎光忠が相伝していた鍛冶職を関東常陸国東条高田住人に伝えた、その日は応永20年（1413）6月1日である。さらに末尾には天文3年（1534）閏正月日に、越後住人本間三橋新三郎家久がこれを書いた、と朱書されている。朱書は本文のフリガナや送りガナにも見えるので、本文作成も朱書の天文3年であろう。ただ、柏崎住人泉之弥五郎光忠なる人物も、その常陸移住も他の史料では確かめられない。天文3年朱書の越後住人本間三橋新三郎家久も不明であり、この伝承がどのような背景で作成されたか分からない。様々な伝説が取り入れられながら作成された由緒書かと思われる。

このように岡澤文書8点は、刀鍛冶職の家に伝来した中世文書群であり、東国全体でも貴重なものであり、内容も豊かである。今後、ほかにも刀剣・武具関係の文書が発見・紹介されて、比較検討されることが期待されよう。

（文・目録 茨城県文化財保護審議会 山本 隆志 委員）



1 小田政治判物



2 土岐治英名字状



3 土岐治英判物



4 土岐治綱名字状



5 芦名盛重黒印状



6 呪符力



7 呪符力



8 鍛冶由緒書（末尾）

(写真提供 稲敷市教育委員会)

「岡澤文書」 目録

番号	文書名	年月日	西暦	差出署判	名宛	法量(タテ×ヨコ)	形態・紙質	備考
1	小田政治判物	永正十四年十一月十八日	1517	(花押)〈小田政治〉	九郎兵衛	37.1×33.9cm	堅切紙・楮紙	小田政治は、岡澤九郎兵衛に東条庄地頭方の鍛冶大工職を安堵した。
2	土岐治英名字状	天文二十二年十月日	1553	(花押)〈土岐治英〉	岡澤又二郎	32.0×52.1cm	折紙・楮紙	江戸崎城主土岐治英が鍛冶の岡澤又二郎に「英」の一字を与え、英定の名乗りを許した。
3	土岐治英判物	永禄四年三月二十八日	1561	治英(花押)	岡澤九郎兵衛尉	34.1×50.6cm	折紙・楮紙	江戸崎城主土岐治英が鍛冶の岡澤九郎兵衛尉に一代を限って福田の土地を給付して、忠信を尽くすよう命じた。
4	土岐治綱名字状	天正十四年十二月六日	1586	(花押)〈土岐治綱〉	岡澤又二郎	31.9×43.3cm	折紙・楮紙	江戸崎城主土岐治綱が、鍛冶の岡澤又二郎に「綱」の一字を与え、綱定の名乗りを許した。
5	芦名盛重黒印状	天正二十年二月二十三日	1592	[黒印「龍」]〈芦名盛重〉	岡澤伊賀	36.1×53.3cm [黒印3.8×3.8cm]	堅紙・雁皮紙	江戸崎城主芦名盛重が、岡澤伊賀に長太刀、十文字槍他諸具足の製作を申し付けたところ、提出されたものが比類なきものであるので、「盛」の字を許し、用仕に従うよう命じた。
6	呪符力	不詳				30.7×40.3cm	楮紙	「岡澤又二郎 英定」の作成か。
7	呪符力	不詳				30.8×41.9cm	楮紙	光明真言也
8	鍛冶由緒書					①14.5×29.5cm ②14.5×39.2cm ③14.5×38.1cm ④14.5×38.0cm ⑤14.5×38.2cm ⑥14.5×38.0cm ⑦14.5×31.0cm ⑧14.5×36.5cm	卷子(8紙)・楮紙	応永二十年大和国を本国とする鍛冶職が越後鵜河に下り、柏崎住人泉之弥五郎光忠が職を相伝し、さらに関東常陸国東條高田住人に相伝したという経緯を、鍛冶職の本義を説きながら、天文三年に越後住人本間三橋新三郎が書き記したもののか。

(2) 茨城県指定有形文化財 歴史資料

歴第 11 号

紙本墨書 聖護院道興筆天神名号 1 幅

指定日 令和 3 年 12 月 27 日

所在地 茨城県桜川市真壁町東山田

所有者 個人

「紙本墨書 聖護院道興筆天神名号」は、紙面中央に「南無天満大自在天神」と記した一行紙本墨書であり、その花押から聖護院門主（門跡）であった道興が揮毫したものと判断できる。表具の時期は不明であるが、大和表具の筋割風帯で仕上げられている。過去の修理の過程で、上下左右が切断されて短くなっており、また一部に折れが確認できる。法量は縦 100.1cm、横 26.0cm である。平成 4 年 9 月 30 日旧真壁町指定、平成 17 年 10 月 1 日桜川市指定文化財に移行された。

道興は関白近衛房嗣の子として永享 2 年（1430）に生まれ、聖護院門主、熊野三山検校、園城寺大僧正を務め、准三後の待遇を得た僧であり、大永 7 年（1527）に没した。56 歳の頃、10 か月にわたる長期の旅に出たことがある。文明 18 年（1486）6 月に応仁の乱で荒廃した京都を出立、若狭国から北陸道を経て関東に入り、熊野修験の坊に泊まりつつ、陸奥国松島・名取（現、宮城県）までの旅であった。この旅程は、道興が著わした室町時代後期の著名な紀行文「廻国雑記」（長享元年成立、5 巻）に詳しい。これによれば、文明 18 年 9 月 24 日、常陸国に入っていた道興は筑波山に登頂した。その際、熊野本山派修験大先達蓮上院主であった山田慶城の坊に止宿したことが記述されている。このことから、名号は山田慶城宅で道興が 9 月 24 日前後にしたためたと考えられ、山田慶城の子孫宅に今日まで伝わる。

子孫宅では約 70 点の古文書を所蔵しており、この中には、宝永 7 年（1710）2 月や寛政 12 年（1800）9 月の由緒書などが残り、江戸時代の蓮上院（由緒書では上蓮院と表記）は 7 石の朱印地が与えられていたことがわかる。

以上のように、本名号は作者と作成時期が確定できる貴重な中世史料であり、道興の来往を証明する貴重な墨書であると同時に、関東・東北地方への熊野信仰の普及を示唆しているうえでも、きわめて史料的価値が高いといえよう。

（茨城県文化財保護審議会 小野寺 淳 委員）



紙本墨書 聖護院道興筆天神名号

(写真提供 桜川市教育委員会)

2 令和2年度に登録された 登録有形文化財

◇令和3年2月26日登録

登録番号	名称	建築年代	所在地	登録基準
08-0314	立川醤油店店舗及び主屋	江戸末期	常陸太田市西二町字西二西 2117 外	1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
		醤油醸造の店舗。通りに面して店舗を構え、背後に主屋が接している。つし二階建て切妻造り棧瓦葺き、主屋は二階建て切妻造り棧瓦葺きである。間口の広い店舗が通りの景観を形成している。		



(写真提供 常陸太田市教育委員会)

3 国・県指定文化財等一覧

(1) 国・県指定文化財等総数 (令和4年3月31日現在)

国・県指定文化財

区分	種類	国指定				県指定	合計
		国宝	特別	重文	計		
有形文化財	建造物			32	32	78	110
	絵画			7	7	82	89
	彫刻			15	15	162	177
	工芸品	2		15	17	128	145
	書跡					34	34
	古文書					9	9
	考古資料			5	5	28	33
	歴史資料			3	3	11	14
無形文化財				2	2	4	6
民俗文化財	有形民俗文化財			1	1	6	7
	無形民俗文化財			3	3	32	35
記念物	史跡		3	30	33	57	90
	名勝			4	4	5	9
	天然記念物			8	8	58	66
合計		2	3	125	130	694	824

国選定重要伝統的建造物群保存地区

名称	所在地
桜川市真壁伝統的建造物群保存地区	桜川市

選定保存技術の選定・保存団体の認定

選定保存技術	1	茅採取
保存団体	1	日本茅葺き文化協会

記録作成等の措置を講ずべき無形文化財・無形の民俗文化財総数 (国選択)

無形文化財	工芸技術	3
無形の民俗文化財	風俗慣習	10
	民俗芸能	9
	民俗技術	1
合計		23

ユネスコ無形文化遺産

名称	所在地
結城紬	結城市
山・鉾・屋台行事	日立市
伝統建築工匠の技—木造建造物を受け継ぐための伝統技術—	つくば市

国登録有形文化財・国登録有形民俗文化財・国登録記念物

種別	数量	備考	
有形文化財	建築物	255	家屋・公共建築物等
	土木構造物	13	水路・水槽等
	その他工作物	29	門・煙突・橋梁・擁壁等
	小計	297	
有形民俗文化財	2	常陸大子のコンニャク栽培用具及び加工用具ほか	
記念物 (遺跡・名勝地)	2	岡倉天心旧宅・庭園及び大五浦・小五浦 (※)	

(※)「岡倉天心旧宅・庭園及び大五浦・小五浦」の登録基準は、遺跡関係と名勝地関係の両方。

(2) 国指定文化財等一覧

(令和4年3月31日現在)

ア 国宝

No.	種類	名称・数量	所有者	指定年月日	時代等
1	工芸品	直刀 黒漆平文大刀拵 (附 刀唐櫃 1合)	1口 鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭30. 6.22	奈良～平安時代
刀身長さ224.0cm、反り0.7cm。普通の大刀の3振分もある長大な大刀。無銘。「ふつのみたまのつるぎ」と呼ばれる神宝					
2	工芸品	短刀 銘「筑州 住 行弘 観応元年八月日」 (土浦市立博物館保管)	1口 土浦市大和町9-1 土浦市	昭32. 2.19	南北朝時代
師である左文字(さもじ)の作風に近似し、その作風樹立を知る上で観応元年(1350)の年紀は貴重。土浦藩土屋家旧蔵品					

イ 国指定重要文化財

【建造物】

(表中の凡例) 解：解体修理工事、半解：半解体修理工事、部：部分修理、自：県補助事業以外の自費修理工事

No.	名称・数量	所在地・所有者	指定年月日	建築年代
1	鹿島神宮本殿・拝殿・幣殿・石の間 (附棟札2枚) 4棟	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	明34. 3.27	江戸初期
祭神は武甕槌大神。常陸国の一の宮。元和5年(1619)徳川秀忠の造営。屋根・塗装修理(平23～25)				
2	鹿島神宮摂社奥宮本殿 1棟 (附棟札1枚)	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	明34. 3.27	慶長10年(1605)
旧本殿を元和5年(1619)に移築[棟札]。三間社流造、檜皮葺				
3	佐竹寺本堂 1棟	常陸太田市天神林町2404 佐竹寺	明39. 4.14	室町後期
天文15年(1546)造営。寄棟造、茅葺。江戸時代後期に改造				
4	大宝八幡神社本殿 1棟	下妻市大宝667 大宝八幡	明39. 4.14	天正5(1577)[棟札]
多賀谷尊経の造営。三間社流造。解(明42)。屋根現状変更(昭40)				
5	小山寺三重塔 1棟	桜川市富谷2190 小山寺	明39. 4.14	寛正6年(1465)
多賀谷朝経が願主。総高21.5m。関東以北では最古に属する和様建築。防災(昭57)・解(平2)。とち葺				
6	楞嚴寺山門 1棟	笠間市片庭761-4 楞嚴寺	大6. 4. 5	室町中期[建築手法]
四脚門。切妻造、茅葺。禅宗様式。解(大9)。屋根修理(平15)				
7	西蓮寺仁王門 1棟	行方市西蓮寺504 西蓮寺	大6. 4. 5	天文12年(1543)[柱盤墨書]
安政9年移築。三間一戸楼門(二階は寛政頃撤去)。寄棟造。解(昭34)				
8	西蓮寺相輪様 1棟 (附棟札1枚)	行方市西蓮寺504 西蓮寺	大6. 8.13	弘安10年(1287)
元寇の弘安の役を記念して建立。錫杖のような形に特色。解(明36、昭51、平17)				
9	八幡宮本殿 1棟	水戸市八幡町8-54 八幡宮	昭29. 9.17	慶長3年(1598)
和様に禅宗様を混用し地方色濃厚。入母屋造、とち葺(平7～11解体時に柿葺から変更)。解(平7～11)				

No.	名称・数量	所在地・所有者	指定年月日	建築年代
10	旧弘道館（正庁・至善堂・正門附塀）3棟	水戸市三の丸1-6（管）茨城県	昭39. 5.26	天保12年（1841）
正庁・至善堂とも書院造建築の正統をひく大規模な藩校遺構。正庁自・半解（昭37）				
11	薬王院本堂 1棟（附厨子1基、附棟札2枚）	水戸市元吉田町682 薬王院	昭41. 6.11	享禄2年(1529) [墓股墨書]
大型の密教系七間堂。入母屋造、茅葺形銅板葺。解（昭43～45）				
12	鹿島神宮楼門 1棟（附旧雁十字柄 2組）	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭41. 6.11	寛永11年（1634）
三間一戸（二階建）。入母屋造、銅板葺。解（昭16）、塗（昭49・昭62～平元・平4）、部（平6）				
13	坂野家住宅（主屋、表門） 2棟	常総市大生郷町2037 常総市	昭43. 4.25	江戸中～後期
主屋：豪農住宅。茅葺。解（平14～17）。防災設備工事（平17）。屋根葺替（令2～3） 表門及び附塀：江戸後期の薬医門。切妻造、茅葺。屋根葺替（令2）				
14	旧飛田家住宅 1棟	古河市鴻巣1024 古河市	昭43. 4.25	江戸中期
旧金砂郷町の飛田家住宅主屋を古河総合公園に移築復原（昭50）。古い曲屋形式。寄棟造、北面土庇附属、茅葺				
15	中崎家住宅 1棟	水戸市鯉淵町2897 個人	昭43. 4.25	元禄元(1688) [土台墨書]
地侍の系譜をひく農家の直屋。寄棟造、茅葺。解（昭49）				
16	椎名家住宅 1棟	かすみがうら市加茂4148 個人	昭43. 4.25	延宝2年（1674）
現存する東日本最古級の民家、直屋形式。寄棟造、茅葺。解（昭46）。屋根修理（平24）				
17	塙家住宅（主屋・土間） 2棟	笠間市安居2009 個人	昭51. 2. 3	江戸後期
現状は曲屋と同じ外観だが当初は主屋と釜屋が別棟。主屋：寄棟造、茅葺。半解（昭56）				
18	山本家住宅 1棟	神栖市奥野谷4281 個人	昭51. 2. 3	江戸中期
網元名主の家。曲屋形式。寄棟造、茅葺。解（平5）。部（平24）				
19	平井家住宅 1棟	稲敷市柴崎155 個人	昭51. 2. 3	元禄頃 [伝承]
17世紀末の民家建築。せがい造りの軒や二重梁の小屋組に特色。茅葺。解（平11～14）				
20	大塚家住宅 1棟	つくば市栗原835 個人	昭51. 2. 3	江戸中期
平面構成が整形四間取りなど、新しい民家形式への移行段階。寄棟造、茅葺。屋根葺替（平2）				
21	旧茨城県立太田中学校講堂 1棟	常陸太田市栄町58 茨城県	昭51. 2. 3	明治37年 [学校沿革誌]
旧制中学校の講堂、駒杵勤治の設計。木造。建築面積296.7㎡。一階建、棧瓦葺。南面玄関ポーチ、東・西面出入口庇付。各鉄板葺				
22	旧茨城県立土浦中学校本館（附棟札 1枚） 1棟	土浦市真鍋4-4-2 茨城県	昭51. 2. 3	明治37年 [棟札]
本格的洋風学校建築の一部。木造。建築面積987.9㎡。一階建、天然スレート葺。駒杵勤治の設計。 屋根葺替（昭42 カラーアスベストコロニアル葺・平29 天然スレート葺）。現状変更（平29 フィニアル復原等）				
23	鹿島神宮仮殿 1棟	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭51. 5.20	元和5年(1619) [方立墨書]
元和造営時の社殿の一つ。本殿の造営に際して神霊を仮安置するための建物。入母屋造、檜皮葺。解（平9）				
24	竜禅寺三仏堂 1棟	取手市米ノ井467 竜禅寺	昭51. 5.20	永禄12年(1569)以前 [納札]
和様に禅宗様が混じる。向拝部分後補。寄棟造、茅葺。半解（昭61）。茅屋根修理（平18）				

No.	名 称 ・ 数 量	所在地・所有者	指定年月日	建築年代
25	善光寺楼門 1棟	石岡市太田940-1 善光寺	昭58.12.26	室町後期
小田氏の創建。三間一戸。寄棟造、茅葺。解・防災設備工事（平7）。環境整備（止水壁工事、平14）。葺替（令2）				
26	笠間稲荷神社本殿 1棟（附 棟札1枚）	笠間市笠間39 笠間稲荷神社	昭63. 1.13	万延元年(1860) [棟札]
本殿及び旧拝殿よりなる。社殿全体を覆う豊かな彫り物（江戸末期流行の立川流大工の技）				
27	佛性寺本堂 1棟（附 旧露盤1個）	水戸市栗崎町1984 佛性寺	昭63. 1.13	天正13年(1585) [隅木墨書]
側柱・入側柱とも円柱8本を立てた八角円堂。一重、茅葺。現状変更（平26 瓦葺から茅葺に戻す）				
28	横利根閘門 1構	稲敷市西代地先 国土交通省	平12. 5.25	大正10年（1921）
横利根川と利根川の合流点近くにある煉瓦造複閘式閘門。土木技術史上、煉瓦造閘門の一つの到達点を示す。利根川改修工事における代表的土木構造物				
29	来迎院多宝塔 1基	龍ヶ崎市馴馬町 来迎院	平18.12.19	弘治2年(1556) [宝珠銘]
三間多宝塔。柿葺。細部に禅宗様。室町期の北関東における寺院建築の特徴を示す。解（平10～12）				
30	シャトーカミヤ旧醸造場施設 事務室、醗酵室、貯蔵庫 3棟	牛久市中央3-20-4 オエノンホールディングス株式会社 (管理団体牛久市)	平20. 6. 9	明治36年（1903）
明治中期の本格的な煉瓦造ワイン醸造所の主要部がほぼ完存しており、高い歴史的価値がある。災害復旧（平23～27）				
31	石岡第一発電所施設 3所、3基、3棟 取水堰堤、沈砂池、第一号水路橋、 第二号水路橋、水槽余水路、 調圧水槽、本館発電機室 本館旧変圧器室、本館変電室	高萩市大字横川 北茨城市中郷町石岡 東京発電株式会社	平20.12. 2 (平23.10.25 水槽解除)	明治44年（1911） 本館変電室 大正5年（1916） 取水堰堤、沈砂池 大正12年（1923）
施設を構成する本館。橋梁等の類型を異にする構造物全般にわたり鉄筋コンクリート技術を用いたわが国で最初の発電所施設であり、中でも本館はわが国に現存する最古級の鉄筋コンクリート造建築物として貴重である。				
32	内外大神宮内宮・外宮・御遷殿 3棟 (附 内宮御門 1棟、外宮御門 1棟)	筑西市小栗 内外大神宮	平21.12. 8	内宮・外宮：延宝7年 (1679) 御遷殿：天正2年（1574）
両本殿は、本格的な神明造三間社本殿で、内宮、外宮の本殿二棟を並立させる社殿形式の古例として重要である。解（平7～8）。上屋設置（平12）				

【絵画】

	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	制作時代
1	紙本著色 拾遺古徳伝 9巻 (東京国立博物館寄託)	那珂市瓜連1221 常福寺	明36. 4.15	正安3年（1301）
親鸞の遺弟覚如が常陸門徒のために起稿した宗祖親鸞の拾遺				
2	紙本著色 聖徳太子絵伝 1巻	那珂市本米崎2270 上宮寺	大4. 3.26	鎌倉末期（推定）
顕如から賜ったと伝える。詞書1段・絵14段。大和絵の伝統				
3	絹本著色 法然上人像 1幅 (東京国立博物館寄託)	那珂市瓜連1221 常福寺	大5. 3.24	鎌倉後半
法然が曲ろく（僧が用いる椅子）上に座す形式は珍しい。				

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	制作時代
4	絹本著色 十六羅漢像 16幅 (茨城県立歴史館寄託)	龍ヶ崎市若柴町866 金竜寺	大6. 4. 5	鎌倉末期
道元持ち帰りと伝わるが、宋代李竜眠様を学んだわが国の作か。				
5	紙本著色 拾遺古徳伝 (残闕) 1巻	銚田市鳥栖1013 無量寿寺	大6. 4. 5	正安3年 (1301)
覚如によって撰述された拾遺古徳伝の一つ。慶長13年 (1608) 火災に遭遇				
6	絹本著色 高峰和尚像 1幅 庚寅絶岸可湘の讚及甲午王剛中の賛がある 絹本著色 復庵和尚像自賛 1幅 附絹本著色 中峰和尚像 1幅 (土浦市立博物館寄託)	土浦市高岡1890 法雲寺	昭24. 2.18	室町時代
頂相 (肖像画)。法雲寺の開基は中峯。弟子の復庵が道場を建立。高峰は13世紀中国の人。法雲寺は、小田治久が後光厳天皇の命により七堂伽藍を創建する。				
7	絹本著色 聖徳太子絵伝 4幅 (東京国立博物館寄託)	坂東市みむら1793 妙安寺	昭43. 4.25	鎌倉末期
太子の事跡場面を自由に配置した掛幅形式の大和絵系譜の絵伝				

【彫刻】

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	時 代
1	木造 薬師如来及両脇侍像 (附 銅造胎内仏 1軀)	3軀 城里町石塚1423 薬師寺	明44. 8. 9	鎌倉初期
寄木造、漆箔。中尊坐像高137.8cm、日光170.8cm、月光171.2cm				
2	木造 浮彫如意輪観音像 1面	1面 城里町上入野3912 小松寺	明44. 8. 9	平安時代か唐代
木造・一部彩色。共木で浮き彫り精巧。縦8.5cm、横7.3cm				
3	木造 薬師如来坐像 1軀	常陸太田市下利員957 西光寺 (管理団体 常陸太田市)	明44. 8. 9	平安末期 (平17～18修理)
寄木造・漆箔。当初の光背、九重蓮華座あり。定朝様。像高143.7cm				
4	木造 観世音菩薩立像 (寺伝延命観音像) 1軀 (附 前立尊 1軀)	1軀 桜川市本木1 楽法寺	明44. 8. 9	平安前期
一木造、彩色剥落、翻波式衣文。前立像は同形八臂像で鎌倉時代				
5	木造 薬師如来坐像 1軀	1軀 笠間市来栖2696 岩谷寺	大3. 4.17	鎌倉初期
寄木造、漆箔、等身坐像。光背当初。台座鎌倉中期。定朝様。像高84.8cm				
6	木造 薬師如来立像 1軀 建長五年七月藤原時朝ノ銘アリ	1軀 笠間市来栖2696 岩谷寺	大3. 4.17	鎌倉中期
寄木造、漆箔、玉眼、像高185cm。像は大ぶり螺髪を旋毛形に彫出				
7	木造 聖徳太子立像 1軀 (太子堂安置)	1軀 水戸市酒門町2056 善重寺	大4. 8.10	鎌倉末期
上質顔料による盛り上げ彩色。十六歳孝養太子像。像高132.5cm				
8	木造 阿弥陀如来坐像 1軀 胎内ニ応長二年四月十五日修理ノ銘アリ	1軀 茨城町鳥羽田656 円福寺	大4. 8.10	鎌倉初期
寄木造、漆箔、定朝様。胎内に応長2年 (1312) の修理銘、像高84.3cm				
9	木造 不動明王及二童子立像 3軀	3軀 つくばみらい市板橋2370 不動院	大4. 8.10	平安末期
寄木造、古色。3尊とも衣文浅く面相も誇張なく温雅。像高100cm				
10	木造 釈迦如来立像 1軀	1軀 銚田市大蔵113 福泉寺	大5. 8.17	鎌倉末期
寄木造、素地。螺髪を縄状に巻く。平行線状の衣文。像高165.5cm				

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	時 代
11	木造 薬師如来坐像 1軀	土浦市下高津2-10-22 常福寺	大9. 8.16	平安末期
		寄木造、漆箔。量感のある体部などに特色。像高121cm		
12	木造 千手観音立像 1軀	笠間市片庭775 楞嚴寺	大9. 8.16	鎌倉中期
	背面ニ建長四年七月藤原時朝ノ銘アリ	寄木造、漆箔、玉眼。鎌倉地方様式の好例。像高193.9cm		
13	木造 弥勒仏立像 1軀	笠間市石寺429 弥勒教会	大9. 8.16	鎌倉中期
	像内に宝治元年四月、藤原時朝等の銘がある	寄木造、漆箔、玉眼。運慶開始の様式に宋風を加味、像高175.2cm		
14	木造 観音菩薩立像 1軀	筑西市中館522 観音寺	大11. 4.13	鎌倉末期
	(寺伝延命観音像)(観音堂安置) 像内に貞治二年の修理銘がある	寄木造古色彫眼。延命観音として知られる宋風の六臂像。 像高102.2cm。名称変更(昭39. 5.26)		
15	鉄造 阿弥陀如来立像 西念、良覚作 1軀	常陸太田市中染町23 中染町(管理団体常陸太田市)	平26. 8.21	鎌倉時代
	背面に弘長四年四月、大大工権守入道西念、大仏師日向房良覚等の陽鑄銘がある	像高164cm。大きさや鑄上がりの良好さから鉄仏の代表作。原型の像が残り、当時の鑄造技術を知る上でも貴重		

【工芸品】

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	時 代
1	太刀 銘則包作(附糸巻太刀拵) 1口	水戸市宮町2-5-13 東照宮	明44. 4.17	鎌倉中期
	(茨城県立歴史館寄託)	長さ76.6cm、反り3.0cm強。福岡一文字派名工の作		
2	銅鐘 1口	潮来市潮来428 長勝寺	明44. 8. 9	元徳2年(1330)
	元徳庚午十月ノ銘アリ(附 鐘銘拓本 1巻)	銘文刻字の勝れた名鐘。大檀那北条高時。大施主は千葉氏と記載		
3	太刀 銘吉宗(附 糸巻太刀拵) 1口	つくば市筑波1 筑波山神社	大7. 4. 8	鎌倉中期
	(東京国立博物館寄託)	長さ71.2cm、反り2.3cm。作者は福岡一文字派の名工		
4	太刀 銘備州長船家助応永廿一年二月日 1口	つくばみらい市南太田 個人	大9. 4.15	室町時代
		長さ73.6cm、反り3.2cm。応永21年(1414)の作		
5	銅鐘 1口	土浦市大手町4-16 等覚寺	大9. 8.16	鎌倉初期
	建永年中筑後入道尊念ノ銘アリ	八田知家が建永年間につくらせた梵鐘。鐘の銘文では本県最古		
6	銅鐘 1口	土浦市宍塚1461 般若寺	大9. 8.16	建治元年(1275)
	建治元年八月大工丹治久友等ノ銘アリ	有名な鑄物師丹治久友作。鎌倉時代の典型的な鐘の形をもつ。		
7	金銅板両界曼荼羅 2面	利根町布川3004 徳満寺	昭11. 5. 6	建久5年(1194)
	建久五季六月十三日筑後国清楽寺ノ銘アリ (東京国立博物館寄託)	押し出し、毛彫りが施された金銅薄板の両界曼荼羅。修理(平15)		
8	太刀 銘「備州長船住景光」 1口	つくば市小野川 個人	昭13. 7. 4	鎌倉時代
		長さ2尺4寸(約72cm)、反り8分(約2.4cm)		
9	太刀 銘「守家造」 1口	土浦市大和町9-1 土浦市	昭25. 8.29	鎌倉中期
	(土浦市立博物館保管)	華やかな乱れ刃を焼く畠田一派の名匠。土浦藩土屋家旧蔵品		

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	時 代
10	太刀 銘「信房作」 1口 (土浦市立博物館保管)	土浦市大和町9-1 土浦市	昭25. 8.29	鎌倉初期
		古備前と古一文字にみられる信房の作品。土浦藩土屋家旧蔵品		
11	太刀 銘「恒次」 1口 (土浦市立博物館保管)	土浦市大和町9-1 土浦市	昭25. 8.29	鎌倉初期
		古青江派の代表鍛冶で同派中屈指の優品。土浦藩土屋家旧蔵品		
12	短刀 銘「国光」 1口 (土浦市立博物館保管)	土浦市大和町9-1 土浦市	昭28. 3.31	鎌倉後期
		短刀の名手、新藤五国光の作品。土浦藩土屋家旧蔵品		
13	網代笈 1背	桜川市西小埜1677 月山寺	昭32. 2.19	室町時代
		箱形の笈で銅製鍍金の観音開き扉あり。背・側面に竹製網代		
14	梅竹蒔絵鞍 (附 四手蒔絵居木 1双)	1背 鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭34. 6.27	鎌倉末頃か
		現在知られる蒔絵の和鞍の中では最も古い(追加 昭51.6.5)。		
15	朱漆足付盥 4口	水戸市六反田町767-2 六地藏寺	平3. 6.21	室町時代
	六蔵寺二対内、細工根来寺重宗、本願法 印恵範の朱漆銘がある	三足付盥で衆僧が罪を懺悔するために行う布薩盥に浄める盥		

【考古資料】

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	時 代
1	銅印 印文「静神宮印」 1顆 (附 印笥1合 寛文丁未、源光圀在銘) (茨城県那珂郡静村出土)	那珂市静9 静神社	昭29. 3.20	平安時代
		印面は方形で「静神宮印」の文字を刻む。印笥は印を納めるもの。		
2	埴輪男子立像 1軀 (群馬県藤岡市本郷出土) (茨城県立歴史館寄託)	石岡市高浜880 個人	昭34.12.18	古墳後期
		全高139.9cm。つばの広い帽子をかぶった男子像		
3	茨城県武者塚古墳出土品 一括 (上高津貝塚ふるさと歴史の広場保管)	土浦市大和町9-1 土浦市	平26. 8.21	7世紀
		太刀や銀の帯状金具など特異な武器及び装身具96点で構成。みずら状の頭髪や経錦を含む(附指定)。古墳時代終末の葬送儀礼や服飾を復元する上で学術的価値が高い。		
4	茨城県泉坂下遺跡出土品 一括 (常陸大宮市歴史民俗資料館大宮館保管)	常陸大宮市中富町1087-14 常陸大宮市	平29. 9.15	弥生時代
		再葬墓群からの出土遺物が主体。人面付壺形土器1点、壺形土器53点、甕形土器残欠2点、滑石玉5点、総数61点からなる。東日本における弥生時代特有の再葬墓の在り方を理解する上で良好な資料群		
5	茨城県三昧塚古墳出土品 一括 (茨城県立歴史館保管) (明治大学に一部寄託)	水戸市笠原町978-6 茨城県	平30.10.31	古墳時代
		霞ヶ浦に面した沖積低地に築かれた前方後円墳からの出土品一括。金銅製の装飾品や、銅鏡、鉄製の武器・武具、金銅製の馬具など。中でも馬形の立飾りが付く金銅馬形飾付透彫冠は、他に類例がない。東国における首長層の葬送や社会実態を考える上で、学術的価値が高い。		

【歴史資料】

No.	名称・数量	所有者	指定年月日	時代	
1	鷹見泉石関係資料 文書・記録類 絵図・地図類 書籍類 書状類 絵画・器物類 (古河歴史博物館保管)	3,153点 686点 768点 466点 912点 321点	古河市長谷町38-18 古河市	平16. 6. 8 (平24. 9. 6 員数変更)	江戸時代
下総国古河藩家老鷹見泉石（1785～1858）の洋学、地理学をはじめとする科学技術などに関する幅広い学問の事跡と譜代大名の家老としての情報収集のあり方を示す資料群。保存修理（平17～）					
2	一橋徳川家関係資料 文書・記録類 書画・典籍類 器物類 写真 (茨城県立歴史館保管)	4,715点 4,017点 224点 460点 14点	水戸市笠原町978-6 茨城県	令2. 9. 30	江戸時代
各分野の資料が質量ともにまとまって伝存。一橋徳川家の家格、家政、所領経営、または幕政への関与、将軍家や大名家との交際、家の内外における儀礼の実際を窺うことができ、江戸時代の政治史、文化史、古文書学を研究する上で貴重					
3	長久保赤水関係資料 地図・絵図類 文書・記録類 典籍類 書画・器物類 (高萩市歴史民俗資料館保管)	693点 84点 279点 274点 56点	高萩市本町1-100-1 高萩市	令2. 9. 30	江戸時代
長久保赤水手沢の一括資料で4家の子孫宅が継承していた資料を中心とする。赤水の学問の内容、交友関係、生涯の事績を考える上で最もまとまった資料群で、江戸時代中後期の文化史、地図史等の研究において学術価値が高い。					

ウ 国指定重要無形文化財

No.	名称	所在地	保持団体・保持者	指定年月日
1	結城紬（平織）	結城市結城13-2	本場結城紬技術保持会	昭31. 4. 24
真綿から指で紬ぎ出した撚りのない糸をそのまま使用した織物				
2	髹漆 (各個認定)	筑西市玉戸1596-8	大西 勲（いわゆる人間国宝）	平14. 7. 8
装飾を施さず漆を塗ることだけで仕上げる技法				

エ 国指定重要有形民俗文化財

No.	名称・数量	所有者	指定年月日
1	日立風流物（山車） 1基	日立市宮田町 神峰神社（管理団体 日立市）	昭34. 5. 6
高さ15m、幅3m、長さ8m、重さ5t。全国的にも著名な山車。修理（平9～12、平17）			

オ 国指定重要無形民俗文化財

No.	名 称	所在地・保護団体	指定年月日
1	綱火	つくばみらい市 綱火保存連合会	昭51. 5. 4
		空中に縦横十文字に張りめぐらした麻綱の上を花火を仕掛けた人形を自在に操りながら演技する。小張松下流と高岡流がある。	
2	日立風流物	日立市宮田町 日立郷土芸能保存会	昭52. 5. 17
		神峰神社の大祭のとき、4つの町内から1台ずつ出す山車において、操り人形芝居を繰り広げる。	
3	常陸大津の御船祭	北茨城市大津町 常陸大津の御船祭保存会	平29. 3. 3
		豊漁や海上安全を祈願して、巨大な木造船に神輿を載せて陸上を曳行する。	

カ 国指定特別史跡及び史跡

No.	種類	名称・数量	所在地	所有者	指定年月日
1	特別史跡	旧弘道館	水戸市三の丸1-6 管理団体（大11.11. 7）茨城県	鹿島神社ほか	大11. 3. 8（史） 昭27. 3. 29（特史）
		9代藩主斉昭が天保12（1841）に創立した水戸藩の藩校			
2	特別史跡	常陸国分寺跡	石岡市府中5-1 管理団体（大12.12.13）石岡市	国分寺	大11.10.12（史） 昭27. 3. 29（特史）
		奈良時代の常陸国の国分寺（僧寺）跡。金堂・講堂の基壇や礎石など残る。			
3	特別史跡	常陸国分尼寺跡	石岡市若松3-1 管理団体（大12. 12. 13）石岡市	石岡市	大11.10.12（史） 昭27. 3. 29（特史） 昭47. 6. 28（追）
		国分寺の北西500mにある尼寺（法華滅罪之寺）跡			
4	史跡	舟塚山古墳 1基	石岡市北根本597ほか 管理団体（大11. 5. 23）石岡市	文部科学省ほか	大10. 3. 3
		県下第一の大型前方後円墳（全長186m）。5世紀後半（推定）			
5	史跡	常磐公園	水戸市常磐町及び見川町 管理団体（大11.11. 7）茨城県	茨城県ほか	大11. 3. 8
		天保13年（1842）斉昭が開設した偕楽園を中心に桜山、丸山を含む庭園			
6	史跡	吉田古墳 1基	水戸市元吉田町345、347 管理団体（大11.11. 7）水戸市	明利酒類株式会社	大11. 3. 8 平22. 8. 5（追）
		横穴式石室の奥壁に線刻によって武器・武具などが描かれている。			
7	史跡	愛宕山古墳 1基	水戸市愛宕町2132～2134 管理団体（昭9. 7. 25）水戸市	愛宕神社ほか	昭9. 5. 1
		那珂川流域中最大の前方後円墳（全長136.5m）			
8	史跡	<small>だいほうじょう</small> 大宝城跡	下妻市大宝、筑西市関館・中村新田 管理団体（昭9. 7. 25）下妻市・筑西市	八幡神社ほか	昭9. 5. 1
		南北朝時代の城。南朝方の拠点（下妻氏の居城）			

No.	種類	名称・数量	所在地	所有者	指定年月日
9	史跡	関城跡	筑西市関館1-99	文部科学省ほか	昭9. 5. 1
			管理団体 (昭9. 7.25) 筑西市		
南北朝時代の城。南朝方の拠点 (関氏の居城)					
10	史跡	小田城跡	つくば市小田2377ほか	つくば市ほか	昭10. 6. 7
			管理団体 (昭10. 7.26) つくば市		
小田氏の居城。北畠親房が「神皇正統記」を著した地					
11	史跡	新治廃寺跡附上野原瓦窯跡	筑西市及び桜川市	筑西市ほか	昭17. 7.21
			管理団体 筑西市、桜川市		昭52. 2. 3 (追)
新治郡衙の北の寺院跡、及び寺院の瓦を供給した窯跡					
12	史跡	佐久良東雄旧宅	石岡市浦須314-1	個人	昭19. 3. 7
国学普及に努めた幕末の志士佐久良東雄が9歳まで生活した家					
13	史跡	新治郡衙跡	筑西市古郡180ほか	筑西市ほか	昭43. 5.20
古代の郡役所跡。多数の建物群が検出された。					
14	史跡	馬渡埴輪製作遺跡	ひたちなか市馬渡2881-3ほか	ひたちなか市	昭44. 8. 5
			古墳時代後期の埴輪製作遺跡		昭60. 8.12 (追)
15	史跡	大串貝塚	水戸市塩崎町1015-2	水戸市	昭45. 5.11
縄文時代前期。シジミを主体の貝塚が3か所に点在					
16	史跡	虎塚古墳	ひたちなか市中根3494-1	ひたちなか市	昭49. 1.23
			7世紀前半の前方後円墳。横穴式石室に本県随一の彩色壁画		
17	史跡	上高津貝塚	土浦市上高津・中高津・宍塚	土浦市	昭52.10. 4
			管理団体 (昭53. 5. 6) 土浦市		
縄文時代中期～晩期。5か所の貝層が環状に並ぶシジミ主体の貝塚					
18	史跡	平沢官衙遺跡	つくば市平沢353ほか	つくば市	昭55.12. 4
			官衙 (役所) 跡。規格性をもって多くの掘立柱建物が並ぶ。		
19	史跡	広畑貝塚	稲敷市飯出広畑635-1ほか	稲敷市	昭57. 2.27
			縄文時代後期～晩期。貝層はハマグリなどの貝塚で製塩土器を出土		
20	史跡	鹿島神宮境内附郡家跡	鹿嶋市宮中2306-1ほか	鹿嶋市、鹿島神宮	昭61. 8. 4
			(追 平元. 9.22、平11. 1.14、平13. 1.15、平17. 3. 2、平20. 7.20)		
21	史跡	小幡北山埴輪製作遺跡	茨城町小幡2735-45ほか	茨城町	平4. 1.21
			古墳時代後期の埴輪製作遺跡		
22	史跡	真壁城跡	桜川市真壁町古城・山尾	桜川市	平6.10.28
			中世から戦国末期までの真壁氏の居城		
23	史跡	陸平貝塚	美浦村馬見山字貝売391-2ほか	美浦村	平10. 9.11
			縄文中～後期。明治12年に初めて日本人による本格的な発掘調査		
24	史跡	結城廃寺跡 附 結城八幡瓦窯跡	結城市大字上山川字古屋敷31ほか	結城市	平14. 9.20
			奈良～室町中期の大寺院跡、及びこの寺院の創建時の瓦を供給した窯跡		平29.10.13 (追)

No.	種類	名称・数量	所在地	所有者	指定年月日
25	史跡	<small>こんだかんが</small> 金田官衙遺跡	つくば市金田字吹上1473-1ほか	つくば市	平16. 2.27 令2.10. 6 (追)
奈良～平安時代（8世紀前葉～9世紀中葉）に営まれた古代官衙関連遺跡					
26	史跡	台渡里官衙遺跡群（台渡里官衙遺跡・台渡里廃寺跡）	水戸市渡里町字前原ほか	水戸市ほか	平17. 7.14 平23. 9.21 (追)
奈良・平安時代に営まれた那賀郡衙に関連する正倉院跡及び寺院跡					
27	史跡	水戸徳川家墓所	常陸太田市瑞龍町字瑞龍山2845ほか	公益財団法人 徳川ミュージアムほか	平19. 7.26
管理団体（平23.12. 6）（公財）徳川ミュージアム					
2代藩主徳川光圀が定めた儒教葬の形式で営まれた大規模な大名家墓所					
28	史跡	常陸国府跡	石岡市総社1-278ほか	石岡市	平22. 8. 5
古代常陸国の役所跡。7世紀末から11世紀にかけての高い計画性をもつ建物群の変遷が判明					
29	史跡	<small>にしやまごてんあと</small> 西山御殿跡（西山荘）	常陸太田市新宿町字西山590ほか	公益財団法人 徳川ミュージアム	平28. 3. 1
徳川光圀が元禄4年（1691）に隠居した邸宅跡。光圀が理想郷とした景観が残されている。					
30	史跡	泉坂下遺跡	常陸大宮市泉字坂下894ほか	常陸大宮市	平29.10.13
弥生時代中期前葉の再葬墓遺跡。墓域の全貌が判明した貴重な事例。人面付壺形土器をはじめとする出土品61点が国指定文化財に指定されている。					
31	史跡	瓦塚窯跡	石岡市部原字高芝604-1の一部ほか	管理団体 石岡市	平29.10.13
古代常陸国の窯跡（35基）。操業は7世紀前葉から10世紀前葉。常陸国における瓦生産の導入過程から常陸国府・国分寺の造瓦体制を知ることができる。					
32	史跡	<small>ちやうじゃやまかんが</small> 長者山官衙遺跡及び常陸国 <small>かいどうあと</small> 海道跡	日立市十王町伊師字愛宕脇3586ほか	管理団体 日立市	平30.10.15
奈良・平安時代の官衙遺跡。古代官道と思われる道路跡に東接する8世紀中葉から10世紀の掘立柱建物群と礎石建物群					
33	史跡	磯浜古墳群	東茨城郡大洗町磯浜町字日下ヶ塚 2865- 8ほか	管理団体 大洗町	令2. 3.10
古墳時代前期から中期初頭の古墳群。前方後円墳2基、前方後方墳1基、円墳1基ほか6基から構成され、関東における古墳の展開を考える上で重要					

キ 国指定名勝

No.	種類	名称	所在地	所有者	指定年月日
1	名勝	常磐公園	水戸市常磐町・見川町	茨城県	大11. 3. 8
岡山市の後楽園、金沢市の兼六園と並ぶ日本三名園の一つ。					
2	名勝	桜川（サクラ）	桜川市磯部135ほか	管理団体（大14.8.13） 桜川市	大13.12. 9 昭49. 6.25 (追)
磯部稲村神社の参道をはさんで、約1kmに及ぶ桜並木。古くは磯部の百色桜					

No.	種類	名 称	所 在 地	所有者	指定年月日
3	名勝	袋田の滝及び生瀬滝	大子町袋田	管理団体 大子町	平27. 3.10
			約1,500万年前の火山角礫岩層の断崖を流れ落ちる風致の優れた2つの滝。 袋田の滝は「四度の滝」の異称をもつ。空海の命名伝説に始まり、近世の水戸藩主、近代の文人墨客等が訪れた風致の優秀な滝		
4	名勝	西山御殿跡（西山荘）	常陸太田市新宿町字西山590 ほか	公益財団法人 徳川ミュージアム	平28. 3. 1
			徳川光圀が元禄4年（1691）に隠居した邸宅跡。光圀が理想郷とした景観		

ク 国指定天然記念物

No.	名 称 ・ 数 量	所 在 地	管理者	指定年月日	樹勢回復事業等
1	ハマナス自生南限地帯	鹿嶋市大小志崎527ほか	鹿嶋市	大11. 3. 8	
2	いぶき山イブキ樹叢	日立市十王町伊師2204	日立市	大11.10.12	平13
3	安良川の爺スギ 1株	高萩市安良川1173	八幡宮	大13.12. 9	平14・15
4	白旗山八幡宮のオハツキイチョウ	水戸市八幡町8-54	白旗山八幡宮	昭4. 4. 2	
5	大戸のサクラ 1株	茨城町大戸1539	茨城町	昭7. 7.23	平9
6	片庭ヒメハルゼミ発生地	笠間市片庭773、2078	楞厳寺	昭9.12.28	
7	軍鶏（シヤモ）	東京都、茨城県、秋田県、 高知県、千葉県、青森県		昭16. 8. 1	
8	桜川のサクラ	桜川市磯部135ほか	桜川市	昭49. 7.16	

ケ 国選定重要伝統的建造物群保存地区

No.	名 称	所在地	区 域	面積	選定年月日
1	桜川市真壁伝統的建造物群保存地区	桜川市	桜川市真壁町真壁字下宿町、字高上町及び字大和町の全域並びに字上宿町及び字仲町の各一部	約17.6ha	平22. 6.29

コ 記録作成等の措置を講ずべき無形文化財（国選択）

工芸技術

No.	名 称	所在地・保持者	概 要	選択年月日
1	<small>あわのしゅんげい</small> 栗野春慶	東茨城郡城里町栗 稲川 義良（昭58.11. 5死亡） 稲川 昌三（平10. 1. 8死亡）	城里町栗に伝わる、透明な漆を塗って器物の木地の木目を透かしてみせる春慶塗の技法を保持	昭51. 4.20
2	<small>にしのうちがみ</small> 西の内紙	常陸大宮市諸沢 菊池 五介（平3. 2.14死亡） 菊池 一男（平16. 3.31死亡） 小野瀬角次（平27.10.15死亡）	地元で生産される那須楮を原料とした手漉き和紙の技術を保持	昭52. 6. 1
3	<small>ししゅう</small> 刺繍	龍ヶ崎市 相沢吉太郎（昭58.12. 6死亡）	高度な刺繍の技術で、旧武家華族や神官の装束などを手がけた。	昭53. 3.25

サ 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（国選択）

（ア）風俗慣習

No.	名 称	所在地	概 要	選択年月日
1	田植に関する風俗	茨城県内	田植え唄・田植え踊り・田の神祭をはじめ、田植に係る風俗（昭和42年記録保存）	昭30. 3. 2
2	狩猟風俗	茨城県内	野生の鳥獣を捕らえる狩猟に際し受け継がれてきた風俗（昭和48年記録保存）	昭30. 3. 2
3	日立風流物 <small>ふりゆうもの</small>	日立市宮田町	日立郷土芸能保存会（昭和51年記録保存）	昭49.12. 4
4	盆行事	茨城県内	旧暦7月13日に祖霊を迎え、16日に祖霊を送るまでの盆中に行われる行事（平成12年記録保存）	昭52. 5.19
5	常陸大津の御船祭	北茨城市大津町	常陸大津の御船祭保存会（昭和59年・平成27年記録保存） 5年毎の佐波波地祇神社の祭礼	昭54.12. 7
6	おおぼたけ <small>おおぼたけ</small> のからかさ万灯 <small>まんとう</small>	土浦市大字大畑	からかさ万灯保存会（平成29年記録保存）	昭57.12.21
7	ごしよこまがたき <small>ごしよこまがたき</small> 神社の祭事	桜川市	五所駒滝神社祭事保存会（平成28年記録保存） 世話人制度で運営される夏祭りを中心とした年間の祭礼習俗	昭61.12.17
8	北関東のササガミ習俗	茨城県、栃木県	2月8日と12月8日のコトヨウカ、あるいは片方に、庭にササガミサマを祭る習俗（平成16年調査）	平12.12.25
9	お枡廻しの習俗	福島県、茨城県	枡そのものや粃を入れた枡を神体にして複数の集落が祭祀を引き継いでいく特色ある習俗（平成27年記録保存）	平21. 3.11
10	東関東の盆綱	茨城県、千葉県	盆行事の一つで、墓地と家々の間を子どもたちが藁で作った綱を曳いて歩き、先祖の霊を送迎する行事	平27. 3. 2

（イ）民俗芸能

No.	名 称	所在地	保護団体	選択年月日
1	かなさでんがく <small>かなさでんがく</small> 金砂田楽	常陸太田市	金砂田楽保存会（昭和51年記録保存）	昭46. 4.12
2	綱火	つくばみらい市	綱火保存連合会（昭和51年、同61年記録保存）	昭46.11.11
3	真家のみたま踊	石岡市真家	真家みたま踊保存会（昭和52年記録保存）	昭47. 8. 5
4	大串のささらと大野のみろく	水戸市	大串のささらと大野のみろく保存団体連合会	昭48.11. 5
5	鹿島の祭頭祭 <small>さいとうさい</small>	鹿嶋市、神栖市	祭頭囃保存会（昭和55年記録保存） 鹿島神宮で毎年3月9日に行われる春を告げる勇壮な祭り	昭51.12.25
6	あんば囃子	稲敷市	あんば囃子保存会 航海・漁撈の神として信仰を集めた大杉神社に伝わる囃子	昭53. 1.31
7	那珂湊の獅子とみろく	ひたちなか市	六町目の獅子保存会、元町のみろく保存会（昭和57年、58年記録保存） 毎年8月末に行われる天満宮祭礼の御神幸行列に供奉する。	昭55.12.12

No.	名 称	所在地	保護団体	選択年月日
8	龍ヶ崎の撞舞 ^{つくまい}	龍ヶ崎市	撞舞保存会（平成24年記録保存） ----- 八坂神社祇園祭最終日、高い柱に登り様々な曲芸を演じる。	平11.12. 3
9	鹿島みろく	鹿嶋市	保護団体なし（平成25年記録保存） ----- 太鼓を伴奏に鹿島信仰にかかわる歌を歌ったり、歌に合わせて踊ったりする民俗芸能	平21. 3.11

（ウ）民俗技術

No.	名 称	所在地	保護団体	選択年月日
1	霞ヶ浦の帆引網漁の技術	土浦市、かすみ がうら市、行方市	土浦帆曳船保存会、霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保 存会、行方市帆引き船保存会 ----- 折本良平が明治初期に考案。複数の布をつないだ大きな一枚帆で風を受け、 風力を利用して船体を横滑りさせながら、袋状の網を曳いて漁獲する漁撈技 術	平30. 3. 8

シ 選定保存技術の選定・保存団体の認定

No.	選定保存技術	保 存 団 体			選定・認定 年月日
	名 称	団体名	代表者	所在地	
1	茅採取	一般社団法人日本茅葺き文化協会	代表理事 安藤 邦廣	つくば市北条	平30. 9.25
	茅採取は、茅葺きに用いるためのススキやヨシなどを育成し、採取する技術。茅刈り、茅立て、茅選りという一連の作業を手際よく行う。同協会は、「ふるさと文化財の森」に設定されている高エネルギー加速器研究機構茅場において、同技術の保存・伝承に尽力している。				

（3）ユネスコ無形文化遺産一覧

No.	名 称 等	概 要	登録年月日
1	結城紬（茨城・栃木）	結城紬は、結城市及び栃木県小山市を中心に製織されている。糸はすべて真綿から手つむぎしたもののみを使用し、緋模様は手くびりにより、織りには経糸を腰で吊る織機を用いるなど、伝統的な技法を継承している。古代より受け継がれてきた技術と文化が世界に認められた。	平22.11.16
2	山・鉾・屋台行事 〔日立風流物〕	地域社会の安泰や災厄防除を願い、地域の人々が一体となって執り行う「山・鉾・屋台」の巡行を中心とする祭礼行事。平成21年に無形文化遺産に登録された日立風流物（茨城）、京都祇園祭の山鉾行事（京都）に、国指定重要無形民俗文化財31件を追加し、計33件の行事として平成28年に拡張登録された。	平21. 9.30 平28.11.30
3	伝統建築工匠の技—木造建造物を受け継ぐための伝統技術— 〔茅採取〕	古代以来途絶えることなく伝統を受け継ぎながら、工夫を重ねて発展してきた17件の国選定保存技術。自然素材を建築空間に生かす知恵、周期的な保存修理を見据えた材料の採取や再利用、建築当初部材と取り替える新材との調和や一体化を実現する高度な技術が含まれている。	令 2.12.17

(4) 県指定文化財一覧

ア 有形文化財

【建造物】

(表中の凡例) 解：解体修理工事、半解：半解体修理工事、部：部分修理、自：県補助事業以外の自費修理工事

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
1	三重塔 1棟	桜川市真壁町椎尾3178 薬王院	昭30. 6.25	宝永元年(1704) 再建。棟梁桜井瀬左衛門
2	<small>ほうぜんじ</small> 逢善寺仁王門 1棟	稲敷市小野318 逢善寺	昭32. 6.26	万治年間。東京日枝神社より移築(明2)。解(昭50)
3	<small>おおう</small> 大生神社本殿 1棟	潮来市大生814 大生神社	昭32. 6.26	江戸中期。銅板葺。解(昭48～49)
4	<small>ずし</small> 厨子 1基	稲敷市神宮寺146 神宮寺	昭33. 3.12	室町末期。本瓦型板葺。解(平2)
5	長勝寺本堂 1棟	潮来市潮来428 長勝寺	昭33. 3.12	元禄年間。禅宗建築。入母屋造、茅葺。内部土間。解(昭56～60)
6	長勝寺楼門 1棟	潮来市潮来428 長勝寺	昭33. 3.12	桃山期に建立し、移築か。二重二階門。解(昭56～60、銅板葺に変更)
7	水海道小学校玄関 1棟	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	昭33. 3.12	明治14年(1881) 建築。移築復原(昭48)
8	八坂神社本殿 1棟	つくば市玉取2617 八坂神社	昭34. 5.22	宝永年間。流造
9	鹿島神社本殿 1棟	桜川市真壁町上谷貝1390 鹿島神社	昭34. 5.22	江戸中期。茅葺。茅屋根修理(平19)
10	薬王院仁王門 1棟	水戸市元吉田町682 薬王院	昭34. 5.22	貞享期の八脚門。解(平元～3) 自屋根葺替(平25)
11	<small>しょうこうじ</small> 石造祥光寺多宝塔 1棟	桜川市本木78 祥光寺	昭35. 3.28	建仁2年(1202)。石造
12	不動院三重塔 1棟	つくばみらい市板橋 不動院	昭35.12.21	安永5年(1776)。瓦棒銅板葺。解(平7)
13	石造五輪塔 1棟	つくば市小田 小田中部区	昭37.10.24	天文7年(1538) [刻銘]
14	石造五輪塔 1棟	かすみがうら市山本 かすみがうら市	昭39. 7.31	天文14年(1545) [銘]
15	不動院本堂 1棟	つくばみらい市板橋 不動院	昭40. 2.24	安永年間。重層の密教本堂
16	国王神社本殿 1棟	坂東市岩井951 国王神社	昭41. 3. 7	天和3年(1683) の流造。茅葺。屋根(平19)
17	巖島神社本殿 1棟	銚田市子生877 巖島神社	昭43. 3.28	元禄年間の禅宗様系
18	石岡の陣屋門 1棟	石岡市総社1 石岡市	昭43. 9.26	文政11年(1828)。府中藩陣屋門 解(平15)
19	<small>かんのんじ</small> 観音寺本堂 1棟	<small>うわど</small> 潮来市上戸624 観音寺	昭44. 3.20	室町中～末期。寄棟造、茅葺 解(平10)
20	阿弥陀堂本堂 1棟	常陸太田市大里町3708 来迎院、(管) 大里町区	昭44. 3.20	享保3年(1718)。方形造、茅葺 屋根(平29)
21	楼門 1棟	常陸太田市大里町3708 来迎院、(管) 大里町区	昭44. 3.20	宝暦10年(1760)。入母屋造、茅葺 屋根部(平25)

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
22	笠間城櫓 1棟	笠間市笠間323 真浄寺	昭44.12.1	江戸末期。笠間藩物見櫓。廃城の際に移築（明10）
23	旧茂木家住宅 1棟	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	昭45.5.28	江戸中期。旧牛堀町から移築復原（昭48）。茅葺。屋根（平11）
24	旧所家住宅 1棟	潮来市日の出4-7 潮来市	昭45.5.28	18世紀後半。桂村から移築復原（昭47）。茅葺。銅板葺覆屋
25	阿弥陀堂 1棟	行方市羽生745 万福寺	昭45.9.28	貞享4年（1687）。茅葺。屋根（平25）
26	仁王門 1棟	行方市羽生745 万福寺	昭45.9.28	天正年間。八脚門。茅葺。逢善寺から享保9年（1724）に移築〔伝承〕。屋根（平25）
27	西光院本堂 1棟	石岡市吉生2734 個人	昭45.9.28	寛政3年（1791）。懸造、銅板葺。半解（昭47）
28	大洗磯前神社本殿・拝殿 2棟	大洗町磯浜町6890 大洗磯前神社	昭45.9.28	本殿：元禄期、拝殿：江戸中期 塗装（平18～19）
29	堀江家書院 1棟	常陸太田市大方町 個人	昭45.9.28	江戸末期。御殿風書院、茅葺
30	長勝寺（方丈・書院・玄関・庫裡・隠寮） 1棟	潮来市潮来428 長勝寺	昭46.3.29	元禄年間。瓦葺
31	小山寺本堂・仁王門・鐘楼 3棟	桜川市富谷2190 小山寺	昭46.10.28	本堂：元禄10年（1697）。大修理（平4～5） 仁王門：享保16年（1731）。解（平23～24） 鐘楼：享保16年
32	四脚門 1棟	水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭46.12.2	室町末期。茅葺。屋根（平18）。解（平29～30）
33	前野家住宅 1棟	土浦市永井694 個人	昭47.12.18	直屋。文化3年（1806）〔棟札〕
34	八柱神社本殿 1棟	桜川市真壁町塙世968 八柱神社	昭47.12.18	天明期建立。大聖天（歓喜天）を祀る。
35	鈴木家住宅 1棟	那珂市額田南郷 個人	昭47.12.18	貞享4年（1687）改築。御殿と呼称。茅葺
36	旧中山家住宅 1棟	古河市鴻巣1045 古河市	昭48.8.27	17世紀末。坂東市から移築復元（昭49）
37	富岡家住宅 1棟	土浦市白鳥町602 個人	昭49.3.31	江戸前期。茅葺。屋根修理（平22）
38	二十三夜尊堂（旧延方学校聖堂） 1棟	潮来市辻197-7 月読神社	昭49.3.31	文化4年（1807）。唐様、銅板葺。内田山から移築（明11）。塗装（平18）
39	無量寿寺鐘楼 1棟	鉾田市鳥栖1013 無量寿寺	昭49.3.31	享保12年（1727）。茅葺。避雷（昭57）・屋根自（平15）・部自（平15）
40	無量寿寺山門 1棟	鉾田市鳥栖1013 無量寿寺	昭49.3.31	元禄頃。銅板葺（当初は茅葺）
41	小野家住宅 1棟	日立市諏訪町2-18-11 個人	昭49.11.25	18世紀前半。曲屋形式。山横目住宅。茅葺
42	木村家住宅（旧水戸街道旅籠皆川屋） 1棟	かすみがうら市下稻吉1393 個人	昭49.11.25	安政4年（1857）。水戸街道稲吉宿。解体（昭51）
43	不動院楼門 1棟	つくばみらい市板橋 不動院	昭49.11.25	元禄年間。瓦棒銅板葺。解（平20～23）
44	雨引観音本堂 1棟	桜川市本木1 楽法寺	昭50.3.25	宝永7年（1710）。棟梁桜井瀬左衛門。密教本堂

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
45	雨引観音仁王門 1棟	桜川市本木1 楽法寺	昭50.3.25	宝永年間。本瓦葺(明23変更。当初茅葺)
46	旧宍戸城表門 (附宍戸氏家紋) 1棟	笠間市土師622 個人	昭51.7.5	天保15年(1845)。長屋門形式。棧瓦葺。 明治初移築。大規模修理(昭60～61)
47	雨引観音 ^{らくほうじ} 東照山王 社殿(附棟札2枚) 1棟	桜川市本木1 楽法寺	昭51.7.5	享保12年(1727)。解(平元)。 現状変更(平元。鉄板葺から柿葺へ)
48	雨引観音楽法寺多宝塔 (附棟札1枚) 1棟	桜川市本木1 楽法寺	昭51.7.5	嘉永6年(1853)[棟札]。大規模多宝塔。 部(昭56～58)・解(昭63)
49	香取神社本殿 1棟	坂東市 ^{くつかげ} 沓掛4124 香取神社	昭52.5.2	18世紀前期。木羽葺。塗(平3)・部(平4)
50	鹿島神社本殿 (附棟札1枚) 1棟	つくば市大形 鹿島神社	昭52.5.2	延享2年(1745)。柿葺。覆屋は瓦棒トタン葺。部自(平15・浜床)
51	国王神社拝殿 1棟	坂東市岩井951 国王神社	昭52.7.18	文化14年(社伝延宝3年)。茅葺。現状変更(昭63、銅製グシ)。屋根(平15)
52	筑波山神社神橋 1棟	つくば市筑波1 筑波山神社	昭54.11.1	寛永10年(1633)。柿葺。元禄15(1702) 改修。塗(昭63)。部(令元)
53	筑波山神社境内社春日神社本殿・日枝神社本殿及 両社拝殿 3棟	つくば市筑波1 筑波山神社	昭54.11.1	寛永10年(1633)[小屋裏墨書銘]。もとは柿葺。現状は3棟とも瓦棒銅板葺
54	筑波山神社境内社巖島神社本殿 1棟	つくば市筑波1 筑波山神社	昭54.11.1	寛永10年(1633)。春日造、柿葺。 塗装自(平8)
55	^{ほうぜんじ} 逢善寺本堂 1棟	稲敷市小野318 逢善寺	昭55.2.28	天保年間。密教本堂様式。銅板葺。 解(昭56～61)
56	逢善寺書院・庫裡 1棟	稲敷市小野318 逢善寺	昭55.2.28	文久2年(1862)。豪壯。茅葺。屋根(平17)。 庫裏屋根(平19～20)
57	矢口家住宅 (附家相図7枚) 3棟	土浦市中央1-6-13 個人	昭55.12.25	天保末年。土蔵造、棧瓦葺。部(昭55、台所・ 食堂など)。屋根部(平3)。解(平27)
58	旧水戸城薬医門 1棟	水戸市三の丸3-10-1 茨城県教育委員会	昭58.3.18	桃山末期。茅葺風銅板葺。移築復原(昭56)
59	^{ほづみ} 穂積家住宅 (主屋1棟・長屋門1棟・ 前蔵1棟・衣裳蔵1棟、 敷地4,172.71㎡、 附屋敷図屏風1雙) 4棟	高萩市上手綱2337 高萩市	平元.1.25	主屋：寛政元年(1789)。茅葺。 自解(平12～15)。自屋根(平22)
60	大場家住宅 (主屋1棟・表門1棟・ 通用門1棟、敷地2,485.29㎡、 附家相図等2枚) 3棟	行方市玉造甲4533 公益財団法人 大山守大場家保存協会	平元.4.6	江戸中～後期。大山守住宅。茅葺。解(平16～20)。 主屋：部(平2)・屋根(平4)。 長屋門：屋根(平5・平30)。通用門：屋根(平5・平30)。 現状変更(平8、主屋 役宅部脇・厠解体保存)

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
61	^{とりのこ} 鷺子山上神社本殿（附棟札2枚）・随神門（附棟札1枚） 2棟	常陸大宮市鷺子3627 鷺子山上神社	平2. 1.25	本殿：天明8年（1788） 随神門：文化12年（1815） ともに大修理（明治24）
62	吉沼八幡神社本殿・本殿 覆屋 2棟	つくば市吉沼1456 吉沼八幡神社	平2. 1.25	本殿：貞享2年（1685）[墨書]。茅葺 覆屋：慶応3年（1867）。棧瓦葺
63	観音寺本堂・仁王門 2棟 （附宮殿1基・須弥壇1基・ 棟札14枚・銘板1枚）	牛久市久野町2976 観音寺	平3. 1.25	本堂：宝永4年（1707）大修理。茅葺形 銅板葺（本堂）。鉄板葺（仁王門）。半解 （平元）
64	^{かなむら} 金村別雷神社本殿・本殿 覆屋（附棟札1枚） 2棟	つくば市上郷8319-1 金村別雷神社	平3. 1.25	正徳元年（1711）
65	綿引家住宅主屋・倉 2棟	水戸市元吉田町 個人	平3. 1.25	江戸後期。ともに茅葺
66	^{かもとり} 鴨鳥五所神社本殿 1棟 （附棟札2枚・銘札1枚）	桜川市大泉1480 鴨鳥五所神社	平5. 1.25	室町中期。銅板葺（昭32、茅葺から変更）
67	熊野神社本殿 1棟 （附棟札8枚）	行方市島並1298 熊野神社	平7. 1.23	万治年間。銅板葺
68	旧取手宿本陣染野家住宅 主屋・土蔵 2棟 （附表門1棟）	取手市取手2-16-41 取手市教育委員会	平8. 1.25	寛政7年（1795）。茅葺。土蔵（昭62・63）、 主屋（平4～6）解。附追加指定表門（平 26. 1.27）
69	^{がっさんじ} 月山寺書院 1棟	桜川市西小埜1677 月山寺	平10. 1.21	江戸初期。茅葺。自差茅（平10・平13）。 解（平27）
70	羽黒神社本殿 1棟 （附棟札1枚）	筑西市甲37 宗教法人羽黒神社	平14. 1.25	寛永年間。享保年間に大修理。 自屋根修理（平11）
71	上羽黒神社本殿及び拝殿 2棟	筑西市岡芹968-1 宗教法人上羽黒神社	平14. 1.25	本殿・拝殿とも寛永期。 本殿屋根トタン塗装（平18）
72	長禅寺三世堂 1棟	取手市取手2-9-1 宗教法人長禅寺	平16. 1. 8	宝暦13年（1763）再建。 享和元年（1801）再営 [ともに棟札]。 寛政12年（1800）修理 [擬宝珠刻銘]
73	旧畑家住宅（麻生藩家老 屋敷記念館） 1棟 （附表門1棟）	行方市麻生1153-1 行方市	平20.11.17	安政4年（1857）再建 [棟札]。 屋根葺替、部分修理（平3～5）。 自屋根葺替（平22～23）
74	木村家住宅 1棟	茨城町長岡229-1 個人	平26. 1.27	江戸末期（安政5、6年頃（1858-1859頃））。 自・半解（平17～19）
75	東漸寺観音堂・山門 2棟 （附宮殿1基、棟札1枚）	取手市本郷3-9-19 宗教法人東漸寺	平27. 1.22	観音堂：寛文7年（1667）。茅葺型銅板葺。 自・解（平18～20）。 山門：元禄3年（1690）。茅葺

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
76	佛性寺観音堂・仁王門2棟 (附観音堂宮殿1基・棟札1枚)	八千代町大字栗山476 佛性寺	平29.12.25	観音堂：延宝8年（1680）。鉄板葺（昭38） 仁王門：安永3年（1774）。棧瓦葺（昭38） いずれれもと茅葺
77	旧土肥家住宅 2棟	ひたちなか市阿字ヶ浦町字千駄切552-13 国営ひたち海浜公園「みはらしの里」 国土交通省関東地方整備局 国営常陸海浜公園事務所	平30.12.27	主屋：17世紀中期頃 隠居屋：宝永3年（1706） 旧新利根村太田から移築復原（平22）。 茅葺
78	旧小松家住宅 1棟	小美玉市下玉里1831 小美玉市	令元.12.26	18世紀後期 上玉里から移築復原（平9）。 茅葺。曲屋「二つ曲がり」

【絵画】

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	時代・備考
1	梵字曼陀羅 1幅	桜川市西小墾1677 月山寺	昭28. 7. 9	室町初期。刺繍曼茶羅
2	ごだいそんえぞう 五大尊絵像 2幅	常陸太田市玉造町495 愛宕神社	昭30. 1.25	鎌倉末期。表装（昭55）
3	絹本曼茶羅 1幅	坂東市生子 ^{おいご} 1617 萬蔵院	昭30. 6.25	鎌倉時代。金剛界曼茶羅
4	ふげんぼさつ 絹本普賢菩薩像 1幅	土浦市文京町1-27 神龍寺	昭30. 6.25	室町時代。修理（平9）
5	絹本当麻曼茶羅 1幅	結城市結城1591 弘経寺 ^{ぐぎょうじ}	昭32. 1.25	鎌倉末期
6	襖絵（紙本） 10幅	結城市結城1591 弘経寺	昭32. 1.25	江戸時代宝暦頃。与謝蕪村筆
7	武者肖像画 1幅	結城市結城461 孝顕寺	昭32. 1.25	桃山時代。結城政朝 ^{まさとも} 像
8	両部曼茶羅 2幅	桜川市西小墾1677 月山寺	昭32. 6.26	文亀2年（1502）[箱書]
9	はるとも 結城晴朝肖像画 1幅	結城市結城461 孝顕寺	昭32. 6.26	慶長年間
10	まさとも 結城政朝夫人肖像画 1幅	結城市結城461 孝顕寺	昭32. 6.26	天文年間。比丘尼姿
11	むそうこくし ちんぞう 夢窓国師頂相 1幅	常陸太田市増井町1514 正宗寺	昭32. 6.26	室町時代。修理（昭59）
12	がっさん ちんぞう 月山和尚頂相 1幅	常陸太田市増井町1514 正宗寺	昭32. 6.26	応永12年（1405）
13	十六羅漢像 16幅	常陸太田市増井町1514 正宗寺	昭32. 6.26	りりゅうみん 李竜珉様。修理（昭61～62）
14	と きよりふさ 土岐頼英夫人肖像画 1幅	稲敷市下太田79 智心院	昭33. 3.12	万治3年（1660）
15	だいがく 太嶽大和尚頂相 1幅	潮来市潮来428 長勝寺	昭33. 3.12	元禄年間
16	絹本着色 愛染明王画像 1幅	桜川市本木1 楽法寺	昭34. 5.22	鎌倉時代
17	絹本着色 弁財天画像 1幅	桜川市本木1 楽法寺	昭34. 5.22	鎌倉末期。八臂 ^{はっぴ} 像
18	絹本着色 十一面観音画像 1幅	桜川市本木1 楽法寺	昭34. 5.22	鎌倉末期
19	絹本着色 釈迦十六善神画像 1幅	つくば市栗原1129 北斗寺	昭35.12.13	南北朝時代

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	時代・備考
20	絹本着色 興教大師画像 1幅	つくば市栗原1129 北斗寺	昭35.12.13	鎌倉末期～南北朝初期
21	絹本着色 黄不動明王画像 1幅	つくば市栗原1129 北斗寺	昭35.12.13	鎌倉時代
22	絹本着色 御廟天神画 1幅	常総市大生郷町1234 大生郷天満宮	昭35.12.13	室町時代
23	絹本着色 神酒天神画 1幅	常総市大生郷町1234 大生郷天満宮	昭35.12.13	室町時代
24	紙本着色 北野天神縁起絵巻 2巻	常総市大生郷町1234 大生郷天満宮	昭35.12.13	応永22年(1415) [銘]
25	紙本着色 三十六歌仙絵 36幅	常総市大生郷町1234 大生郷天満宮	昭35.12.13	室町時代
26	紙本著色 三十六歌仙 (紙本歌帳を含む) 35枚(36枚)	那珂市静9 静神社	昭37.10.24	松月軒等善筆
27	絹本著色 八景の図 3幅	筑西市中館522 観音寺	昭37.10.24	延宝元年(1673)。 狩野探幽筆
28	絹本著色 十三仏 1幅	境町西泉田1326-1 境町教育委員会	昭37.10.24	室町時代か。
29	絹本著色 阿弥陀如来像 1幅	茨城町鳥羽田656 円福寺	昭37.10.24	鎌倉末期
30	絹本著色 両界曼荼羅 2幅	古河市小堤1405 円満寺	昭38. 8.23	鎌倉時代
31	絹本著色 来迎弥陀三尊像 1幅	坂東市岩井1111 延命寺	昭38. 8.23	鎌倉末期
32	絵馬 1枚	筑西市甲37 羽黒神社	昭38. 8.23	寛永15年(1638)。軍馬絵
33	絹本著色 土井利勝肖像画 1幅	古河市大手町7-1 正定寺	昭39. 7.31	江戸時代
34	絵馬 1枚	筑西市岡芹968-1 上羽黒神社	昭39. 7.31	羽黒神社の絵馬と一対
35	絹本著色 弁財天画像 1幅	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	昭39. 7.31	室町時代。修理(平16)
36	絹本著色 涅槃像 1幅	かすみがうら市中志筑1353 長興寺 (茨城県立歴史館寄託)	昭41. 3. 7	室町初期
37	絹本着色 釈迦涅槃像 1幅	土浦市高岡1890 法雲寺	昭43. 3.28	宋画の影響。修理(平3)
38	紙本着色 小田政治肖像画 1幅	土浦市高岡1890 法雲寺	昭43. 3.28	大永2年(1522) [賛]
39	紙本着色 小田氏治肖像画 1幅	土浦市高岡1890 法雲寺	昭43. 3.28	天正16年(1588) [賛]
40	絹本色糸 蓮糸織出六字名号 1幅	つくば市若栗498 念向寺	昭44. 3.20	室町時代。刺繍
41	絹本着色 愛染明王像 1幅	つくば市中根530 慈恩寺	昭44. 3.20	室町時代
42	絹本着色 阿弥陀如来画像 1幅	小美玉市与沢776 個人	昭44. 3.20	鎌倉時代か。修理(平8)
43	絹本着色 善導大師画像 1幅	小美玉市与沢776 個人	昭44. 3.20	鎌倉時代か。
44	絹本着色 聖徳太子勝鬘經 御講讚図 1幅	小美玉市与沢776 個人	昭44. 3.20	鎌倉時代か。

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	時代・備考
45	絹本着色 金剛界大日如来画像 1幅	大洗町大貫町802 西光院	昭44. 3.20	室町時代
46	絹本着色 両界曼荼羅	2幅 常陸太田市玉造町495 愛宕神社	昭44. 3.20	廃寺明王山弥勒寺伝来のもの。
47	絹本着色 阿弥陀三尊来迎仏	3幅 かすみがうら市宍倉787 最勝寺	昭44.12. 1	鎌倉末期。修理（平16）
48	来迎の弥陀	1軸 筑西市大字森添島1107-1 観音院	昭45. 9.28	鎌倉中期
49	華山潮来明月舟遊の図	1枚 潮来市辻1 個人	昭46.10.28	渡辺崋山が榊原家滞在中に描く。
50	涅槃図	1幅 那珂市瓜連1221 常福寺	昭47.12.18	鎌倉末期。釈迦八相を描く。
51	智光曼荼羅	1幅 那珂市瓜連1221 常福寺	昭47.12.18	著色金泥画
52	清海曼荼羅	1幅 那珂市瓜連1221 常福寺	昭47.12.18	紺地金泥画
53	親鸞聖人画像	1幅 大洗町磯浜町7920 願入寺	昭47.12.18	真向御影。修理（平16）
54	絹本著色 阿弥陀如来来迎図	1幅 日立市宮田町5-2-22 日立市郷土博物館	昭49. 3.31	鎌倉末期か。
55	絹本着色 両界曼荼羅	2幅 水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50. 3.25	修理（昭62～63）
56	絹本着色 弘法大師像	1幅 水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50. 3.25	修理（昭63）
57	絹本着色 真言八祖像	8幅 水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50. 3.25	修理（昭56、57、59）
58	絹本着色 十二天立像	12幅 水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50. 3.25	修理（昭60、61）
59	絹本着色 六字経曼荼羅	1幅 水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50. 3.25	室町後期
60	絹本着色 十三仏図	1幅 水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50. 3.25	室町末期
61	絹本着色 釈迦十六善神図	1幅 水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50. 3.25	南北朝～室町初期
62	紙本着色 制吒迦童子像	1幅 水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50. 3.25	室町末期
63	紙本着色 両界曼荼羅	2幅 鹿嶋市浜津賀378 慈眼寺	昭52. 5. 2	室町時代
64	絹本著色 両界曼荼羅図	2幅 筑西市桑山1696-1 神宮寺	昭57. 3. 4	室町前半
65	扁額三十六歌仙絵	14面 石岡市総社2-8-1 常陸国総社宮	昭58. 3.18	文亀2（1502）～3年
66	紙本著色 滝見観音図 雪村筆	1幅 常陸太田市増井町1514 正宗寺	昭62. 1.26	天文11年（1542）前後か。
67	絹本著色 如意輪観音像	1幅 常陸太田市増井町1514 正宗寺	昭62. 1.26	14世紀前半頃
68	絹本著色 滝見観音図	1幅 那珂市下大賀1145 弘願寺 (茨城県立歴史館寄託)	昭63. 1.25	雪村が正宗寺蔵「滝見観音図」を描いた際に参考にした作品
69	紙本著色 伝真壁道無	1幅 桜川市真壁町真壁57-1 桜川市	平11.11.25	16世紀後半。真壁久幹を描く。

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	時代・備考
70	絹本墨画 芦雁図 立原杏所筆 1幅 <small>ろがんす たちばらきょうしよ</small>	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	平14. 1.25	江戸後期。関東文人画の一人
71	絹本著色 観経十六観变相図 1幅 <small>かんぎょう</small>	高萩市本町1-128 大高寺	平14. 1.25	高麗14世紀初頭
72	絹本著色 流燈 横山大観筆 1幅 <small>りゅうとう</small>	水戸市千波町666-1 茨城県近代美術館	平16. 1. 8	明治42年。五浦海岸で制作
73	絹本著色 源頼朝像 狩野洞雲筆 1幅 <small>とうらうん</small>	潮来市潮来428 宗教法人長勝寺	平16.11.25	元禄年間。太嶽の自賛あり
74	紙本著色 釈迦羅漢像 雪村周継筆 3幅 <small>せつそんしゅうけい</small>	石岡市柿岡2136 宗教法人善慶寺	平17.11.25	中幅に釈迦と阿難・迦葉、左右幅に五人ずつ羅漢。晩年の作
75	紙本墨書 維摩居士像（附徳川光圀書状4通 松平頼救跋） 1枚 <small>ゆいま こじ</small>	鉾田市大蔵113 宗教法人福泉寺	平17.11.25	維摩は在家の釈迦の弟子。中世の本格的な水墨画
76	絹本著色 聖徳太子絵伝 1幅	東海村石神外宿 宗教法人願船寺	平18.11.16	室町初期。略絵伝様式初期の作
77	カルピスの包み紙のある静物 中村彝筆 油絵 麻布 1923年 1面 <small>つね</small>	水戸市千波町666-1 茨城県近代美術館	平18.11.16	本県出身の洋画家中村彝晩年の代表作
78	紙本淡彩 海島秋来 小川芋銭筆 1幅 <small>かいとうしゅうらい うせん</small>	水戸市千波町666-1 茨城県近代美術館	平22.11.18	本県出身の画家小川芋銭晩年の代表作
79	絹本彩色 阿房劫火 木村武山筆 1幅 <small>あぼうごうか</small>	水戸市千波町666-1 茨城県近代美術館	平22.11.18	本県出身の画家木村武山の代表作
80	絹本著色 毘沙門天像 1幅	筑西市黒子214-1 宗教法人東睿山千妙寺	平28. 1.21	鎌倉後期。東国における有力な天台宗寺院の千妙寺の寺宝
81	絹本著色 日吉山王本地仏曼荼羅図 1幅 <small>ひ えさんのうほんじぶつ</small>	筑西市黒子214-1 宗教法人東睿山千妙寺 (茨城県立歴史館寄託)	平29. 1.26	鎌倉後期。東国における有力な天台宗寺院の千妙寺の寺宝
82	紙本著色 金山寺図屏風 雪村周継筆 6曲1隻 <small>せき</small>	笠間市笠間39 笠間稲荷神社	平29.12.25	室町末期。雄大な景観と繊細な建物等を幻想的に描く

【彫刻】

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
1	薬師如来木像 1軀	桜川市西小埜1677 月山寺 <small>がつさんじ</small>	昭28. 7. 9	鎌倉後期
2	鍍金仏 1軀 <small>とくきんぶつ</small>	水戸市緑町1-2-1 信願寺	昭29. 8.18	鎌倉時代。善光寺式像
3	薬師瑠璃光如来像 1軀 <small>るりこう</small>	桜川市真壁町椎尾3178 薬王院	昭30. 1.25	鎌倉後期
4	聖徳太子木像 1軀	坂東市みむら1793 妙安寺	昭30. 1.25	14世紀後半

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
5	阿弥陀如来像 1軀	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	昭30. 1.25	鎌倉末期。安阿弥様
6	金剛力士像 2体	坂東市生子1617 萬蔵院	昭30. 6.25	鎌倉時代か。
7	御神像 1軀	つくば市上境328 体見神社	昭30.11.25	天文年間の修理銘文
8	木造佐白観音坐像 1体	笠間市笠間1056-1 正福寺	昭32. 1.25	鎌倉半ば。千手観音
9	菩薩像 2体	桜川市西小塙1677 月山寺	昭32. 1.25	平安後期
10	薬師如来像 1体	桜川市西小塙1677 月山寺	昭32. 1.25	鎌倉時代。定朝様踏襲
11	十一面観世音菩薩像 1軀	常陸太田市増井町1514 正宗寺	昭32. 6.26	鎌倉末期頃
12	阿弥陀如来坐像及両脇侍像 3軀	潮来市潮来428 長勝寺	昭33. 3.12	鎌倉前期
13	阿弥陀如来立像及両脇侍像 3軀	行方市羽生745 万福寺	昭33. 3.12	14世紀前半
14	地藏菩薩立像 1軀	かすみがうら市戸崎1300 松学寺	昭33. 3.12	平安風の鎌倉時代作か。
15	阿弥陀如来坐像 1軀	牛久市奥原町2412 願名寺 <small>がんみょうじ</small>	昭33. 3.12	13世紀前半～半ば
16	毘沙門天立像 1軀	美浦村布佐1080 美浦村	昭33. 3.12	鎌倉時代。修理（昭62）
17	薬師如来立像 1軀	美浦村土浦2060 妙香寺	昭33. 3.12	鎌倉時代。480cm
18	釈迦如来立像 1軀	稲敷市阿波崎177 満願寺	昭33. 3.12	7世紀後半。金銅仏
19	寝釈迦像 1軀	稲敷市上根本3063 阿弥陀寺	昭33. 3.12	江戸時代
20	不動明王坐像 1軀	結城市山川新宿311-1 大栄寺 <small>だいえい</small>	昭33. 3.12	室町時代。修理（平18）
21	薬師如来坐像 1軀	行方市西蓮寺504 西蓮寺	昭33. 3.12	平安後期（11世紀末）
22	観音菩薩立像 1軀	潮来市大生750 延命院	昭33. 3.12	平安中期
23	増長天立像 1軀	北茨城市磯原町大塚135 長福寺	昭33. 7.23	平安末期
24	聖徳太子立像 1軀	常陸大宮市鷲子2236-1 照願寺	昭33. 7.23	十六歳孝養太子像
25	十一面観音菩薩坐像 1軀	桜川市富谷2190 小山寺	昭33. 7.23	11世紀。鉦彫像
26	木造狛犬 <small>こまいぬ</small> 2軀	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭33. 7.23	江戸初期
27	懸仏 <small>かたぼとけ</small> 1軀	稲敷市高田3548-15 個人	昭33. 7.23	銅板製鍍金
28	木造薬師如来坐像 1軀	水戸市元吉田町682 薬王院	昭34. 5.22	13世紀後半
29	木造神像 1軀	常陸太田市西河内中町239 天満神社	昭34. 5.22	鎌倉後期。男神坐像
30	金銅造阿弥陀如来立像 1軀	土浦市立田町3-28 浄真寺	昭34. 5.22	弘長元年（1261）[銘]。善光寺式像
31	木造阿弥陀如来座像 1軀	桜川市本木78 祥光寺 <small>しょうこうじ</small>	昭35. 3.28	平安末期
32	銅板十一面観音御正体 <small>みしょうたい</small> 1面	土浦市真鍋1-15-5 個人	昭35. 3.28	線刻
33	木造阿弥陀如来坐像 1軀	坂東市辺田355 西念寺	昭35.12.21	鎌倉初期。修理（平18）。定朝様踏襲
34	木造釈迦如来座像 1軀	水戸市飯島町512 福性院	昭35.12.21	13世紀後半。在地仏師の作
35	木造立木観音菩薩像 <small>たちき かんのおん ぼさつぞう</small> 1軀	石岡市吉生2734 個人	昭36. 7.21	12世紀 [1574年修理銘]
36	木造弘法大師像 1軀	城里町徳蔵874 徳蔵寺	昭37. 2.26	室町時代

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
37	両界曼荼羅版木 1面	城里町徳蔵874 徳蔵寺	昭37. 2.26	室町時代
38	金銅阿弥陀三尊像 3軀	下妻市高道祖4429 常願寺	昭37. 2.26	14世紀。善光寺式三尊
39	浅川獅子頭 3頭	大子町浅川3903 浅川ささら保存会	昭37. 2.26	寛永7年（1630）
40	木造持国天立像 1軀	北茨城市磯原町大塚135 長福寺	昭37.10.24	平安末期
41	木造阿弥陀如来三尊像 3軀	茨城町鳥羽田656 円福寺	昭37.10.24	徳治2年（1307）[銘札]
42	石造地藏菩薩立像(石造龕を含む) 1軀	つくば市小田4003 小田中部区	昭37.10.24	正応2年（1289）[刻銘]
43	木造釈迦如来三尊像 3軀	日立市宮田町5-6-15 大雄院	昭37.10.24	文明6年（1474）[銘]
44	木造大黒天像 1軀	水戸市河和田町887 報仏寺	昭37.10.24	室町末期か。
45	木造愛宕明神立像 1軀	筑西市甲37 羽黒神社	昭38. 8.23	鎌倉末期。修理（昭37）
46	木造十一面千手観音像 1軀	かすみがうら市中志筑 須賀神社氏子	昭38. 8.23	13世紀後半
47	石造阿弥陀如来立像 1軀	かすみがうら市高倉1387 高倉区	昭38. 8.23	元享4年（1324）造立
48	百体磨崖仏	かすみがうら市上志筑634 願成寺	昭38. 8.23	室町～江戸時代
49	木造大日如来坐像 1軀	坂東市岩井1111 延命寺	昭38. 8.23	室町時代
50	木造親鸞上人像 1軀	古河市中央町2-8-30 宗願寺	昭39. 7.31	室町時代
51	木造阿弥陀如来立像 1軀	つくばみらい市小張2623 善空寺	昭40. 2.24	貞和2年（1346）[銘]
52	木造狛犬 2軀	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭40. 2.24	鎌倉時代
53	木造不動明王立像 1軀	桜川市本木1 楽法寺	昭40. 2.24	永享12年（1440）[銘]
54	木造十一面観音立像 1軀	石岡市若松1-8-23 東耀寺	昭40. 2.24	鎌倉末期。修理（平14）
55	銅造阿弥陀如来三尊像 3軀	石岡市茨城1-12-21 万福寺	昭40. 2.24	永仁3年（1295）[銘]。 善光寺式像
56	木造阿弥陀如来坐像 1軀	常陸太田市大里町3708 来迎院	昭40. 2.24	修理（昭40）
57	木造毘沙門天立像 1軀	常陸太田市上宮河内町3600 菊蓮寺	昭40. 2.24	平安末期
58	木造女神像 1軀	常陸太田市上宮河内町3600 菊蓮寺	昭40. 2.24	平安末期
59	木造地藏菩薩坐像 1軀	古河市鴻巣396-6 個人	昭41. 3. 7	室町時代。左目半眼
60	木造不動明王坐像 1軀	行方市芹沢505 法眼寺	昭41. 3. 7	永禄13年（1570）[銘]
61	金銅仏多聞天 1軀	かすみがうら市東野寺763-11 地福院	昭42. 3.30	鎌倉中期。像高15.5cm
62	木造阿弥陀如来立像 1軀	かすみがうら市新治981-3 中郷谷区	昭42. 3.30	鎌倉時代。在地仏師の作
63	寄木造平将門の木像 1軀	坂東市岩井951 国王神社	昭42. 3.30	室町時代か。男神坐像
64	寄木造十一面観音立像 1軀	笠間市手越195 東性寺	昭42. 3.30	室町時代
65	木造阿弥陀如来立像(像内寛文十三年修理奥書阿弥陀経一卷等アリ) 1軀	茨城町下座628 下座区	昭42.11.24	修理（昭57）
66	鑄造十一面千手観音菩薩像 1軀	城里町塩子1736 岩谷山仏国寺	昭42.11.24	室町末期。焼損修理(平7)
67	銅造阿弥陀如来立像 1体	土浦市高岡1890 法雲寺 (土浦市立博物館寄託)	昭43. 3.28	鎌倉末期。善光寺式像

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
68	木造中峯 <small>ちゅうほうぜんじざう</small> 禅師坐像 1体	土浦市高岡1890 法雲寺	昭43. 3.28	室町時代。中国元代(寺伝)
69	金銅化仏 <small>けぶつ</small> 1体	水戸市泉町2-1-2 個人	昭44. 3.20	懸仏の文殊菩薩
70	木造阿弥陀如来立像 1軀	大洗町大貫町802 西光院	昭44. 3.20	鎌倉末期
71	木造阿弥陀如来坐像 1軀	大洗町磯浜町5298 西福寺	昭44. 3.20	室町末期
72	木造阿弥陀如来坐像 1軀	大洗町磯浜町5298 西福寺	昭44. 3.20	鎌倉時代。胎内仏
73	木造観世音菩薩立像 1軀	大洗町磯浜町5298 西福寺	昭44. 3.20	鎌倉時代。前掲胎内仏の脇侍
74	木造勢至 <small>せいし</small> 菩薩立像 1軀	大洗町磯浜町5298 西福寺	昭44. 3.20	鎌倉時代。前掲胎内仏の脇侍
75	木造十一面観世音菩薩像 1体	笠間市大田町324 養福寺	昭44.12. 1	鎌倉末期。修理(平19～20)
76	木造阿弥陀如来坐像 1体	かすみがうら市栄倉787 最勝寺	昭44.12. 1	元禄11年(1698)[光圀寄進銘]
77	木造弘法大師像 1体	かすみがうら市牛渡1953 八田集落	昭44.12. 1	延徳元年(1489)[銘]
78	木造十一面観世音菩薩像 1体	かすみがうら市深谷1399 法蔵寺	昭44.12. 1	鎌倉末期。四臂 <small>よんぴ</small> 像
79	木造不動明王・毘沙門天立像 2軀	桜川市富谷2190 小山寺	昭44.12. 1	不動明王追加(平10.1.21)
80	木造大日如来坐像 1軀	日立市入四間町752 御岩 <small>おいわ</small> 神社	昭44.12. 1	室町時代
81	木造観世音菩薩坐像 1軀	日立市東河内町899 玉簾 <small>ぎょくれん</small> 寺	昭44.12. 1	南北朝。宝冠阿弥陀
82	木造阿弥陀如来坐像 1軀	笠間市上加賀田916 阿弥陀講世話人会	昭44.12. 1	室町末期頃
83	直牒洞 <small>じまてつどう</small> の石仏 3体	常陸太田市松栄町615 香仙寺	昭45. 9.28	阿弥陀三尊(平安か)
84	木造不動明王像及び両童子 3軀	笠間市箱田861 (管)下箱田総代会	昭46. 1.28	室町末期
85	木造如意輪観世音菩薩像(附胎内仏) 2軀	潮来市水原1121 愛染院	昭46. 1.28	室町時代
86	木造仁王像 2体	常陸太田市下利員町 西光寺	昭46. 1.28	(管責)下利員区。修理(平17～18)
87	木造如意輪観世音菩薩坐像 1軀	鉾田市汲上1731 華徳院	昭46. 3.29	平安後期。修理(平10)
88	木造阿弥陀如来立像 1体	那珂市額田南郷375 阿弥陀寺	昭46.10.28	鎌倉末期。修理(昭63)
89	木造阿弥陀如来及両脇侍立像 3軀	那珂市額田南郷429 引接寺	昭46.10.28 (追平6.1.26)	元禄9年(1696)[光圀寄進銘] 鎌倉末期
90	木造如意輪観世音菩薩坐像 1体	桜川市坂本452 坂本区	昭46.10.28	鎌倉時代
91	木造狛犬 1対	桜川市磯部779 磯部稲村神社 (茨城県立歴史館寄託)	昭46.10.28	室町末期
92	木造薬師如来坐像 1体	桜川市磯部779 磯部稲村神社 (茨城県立歴史館寄託)	昭46.10.28	貞和2年(1346)[銘]
93	木造阿弥陀如来立像 1体	常陸太田市東連地町200 宗教法人青蓮寺	昭46.10.28	鎌倉時代
94	木造大日如来坐像 1体	神栖市波崎3355 神善寺	昭46.12. 2	元和8年(1622)[銘]
95	木造釈迦涅槃像 1体	神栖市波崎3355 神善寺	昭46.12. 2	室町時代。修理(平19～21)

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
96	木造狛犬 1対	桜川市西小嶋462 二所神社	昭46.12.2	室町時代
97	木造薬師如来坐像 1体	那珂市飯田1085 一乗院	昭47.12.18	室町中期
98	木造毘沙門天像 1体	那珂市飯田1085 一乗院	昭47.12.18	鎌倉中期。修理(平5)
99	木造吉祥天像 1体	那珂市飯田1085 一乗院	昭47.12.18	毘沙門天の脇侍
100	木造善尼童子像 1体	那珂市飯田1085 一乗院	昭47.12.18	毘沙門天の脇侍
101	木造阿弥陀如来脇侍三尊像 3体	常陸大宮市国長853 阿弥陀院	昭47.12.18	鎌倉中～末期
102	銅造阿弥陀如来立像 1体	那珂市瓜連1221 常福寺	昭47.12.18	法量43.2cm
103	木造阿弥陀如来立像 1体	大洗町磯浜町7920 願入寺	昭47.12.18	鎌倉中期
104	木造阿弥陀如来立像 1体	常陸大宮市石沢1467 常弘寺	昭47.12.18	室町時代か。
105	木造聖徳太子立像 1体	常陸大宮市石沢1467 常弘寺	昭47.12.18	永禄6年(1563)[銘]
106	木造阿弥陀如来脇侍三尊像 3体	水戸市大塚町 満福寺代表 (茨城県立歴史館寄託)	昭47.12.18	3体とも鎌倉中期
107	金銅如意輪観音坐像 1体	行方市小幡1038 観音寺	昭49.3.31	鎌倉後半。忍性関連か。
108	木造薬師如来脇侍三尊像 3体	土浦市大岩田町1616 法泉寺	昭49.3.31	鎌倉末期
109	木造薬師如来立像 1体	土浦市神立町1215 観音寺	昭49.3.31	鎌倉末期
110	木造万年大夫夫婦坐像(胎内像含) 4体	日立市諏訪町3-11-13 諏訪神社	昭49.3.31	元禄3年(1690) [光圀造立刻銘]
111	十二神将像 12体	水戸市元吉田町682 薬王院	昭49.11.25	鎌倉末期。修理(昭49)
112	木造釈迦如来立像 1体	土浦市宍塚町1461 般若寺	昭50.3.25	鎌倉末期。修理(平13)
113	木造金剛力士立像 2体 (附命禄三年修理銘木札1枚、元禄十年 修理銘木札4枚、般若理趣経折本1冊)	稲敷市小野318 逢善寺	昭51.7.5	応永9年(1402)銘が造立 年か。命禄は私年号で天 文11年(1542)に相当
114	木造十一面観音坐像 1体	鹿嶋市棚木371 大福寺	昭52.5.2	延元5年(1340)[銘]
115	木造阿弥陀如来坐像 1体	小美玉市上玉里1700 円妙寺	昭52.5.2	平安末期～鎌倉初期。 修理(平2)
116	木造千手観音立像1体(附伝千手観音 焼損像1体、伝胎内納入供養札1枚)	常陸太田市上宮河内町3600 菊蓮寺	昭54.3.8	寛元2年(1244)[銘札]。 修理(昭62)
117	木造不動明王立像 1体	常陸太田市上宮河内町3600 菊蓮寺	昭54.3.8	平安後期
118	木造天部形立像(寺伝毘沙門天像) 1軀	かすみがうら市東野寺763-11 地福院	昭54.11.1	12世紀後半
119	木造薬師如来坐像 1軀	日立市久慈町3-18-5 久慈町薬師堂保存会	昭54.11.1	11世紀後半～12世紀初
120	木造聖徳太子坐像 1軀	日立市金沢町 毘沙門組太子像保存会	昭57.3.4	室町末期。講讃太子像
121	木心乾漆如来形坐像 (附乾漆断片64片)	八千代町栗山476-1 佛性寺	昭57.3.4	9世紀前半。修理(平12)

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
122	木造阿弥陀如来坐像 1軀	筑西市下星谷233 個人	昭57. 3. 4	鎌倉中期（13世紀半ば）。修理（昭59）
123	木造観世音菩薩立像 1軀	下妻市肘谷203 <small>ひじや</small> 肘谷区	昭59. 3. 8	12世紀。修理（昭62）
124	木造聖徳太子立像(摂政太子像) 1軀	下妻市下妻乙350 光明寺	昭59. 3. 8	南北朝時代
125	木造阿弥陀如来立像 1軀	笠間市笠間2591 光照寺	昭60. 3.25	鎌倉時代半ば
126	木造大日如来坐像 1軀	笠間市加賀田1773-口 大日如来奉賛会	昭60. 3.25	文永12年（1275）[銘]。修理（昭62）
127	木造十一面観音坐像 1軀	牛久市久野町2976 観音寺	昭60.12.16	15世紀。宋風。修理(平元)
128	木造阿弥陀如来坐像 1軀	土浦市沖宿町1483 海蔵寺	昭63. 1.25	13世紀後半。修理（昭63）
129	木造十一面観音坐像 1軀	古河市横山町1-1-11 神宮寺	昭63. 1.25	室町時代。院派
130	木造聖徳太子立像(松葉太子像) 1軀	古河市中田町1334-2 光了寺	昭63. 1.25	南北朝時代。院派
131	木造虚空蔵菩薩坐像 1軀	桜川市真壁町田913 山口地区	平元. 1.25	11世紀
132	木造菩薩立像(伝准胝観音) 1軀	桜川市真壁町羽鳥1038 羽鳥地区	平元. 1.25	鎌倉時代
133	木造広智上人坐像 1軀	土浦市東城寺650 東城寺地区	平2. 1.25	嘉禎3年（1237）[墨書銘]
134	木造不動明王立像・毘沙門天立像 2軀	桜川市本木78 祥光寺	平3. 1.25	祥光寺阿弥陀如来脇侍像
135	木造天部立像 2軀	桜川市真壁町白井582 清浄院	平4. 1.24	平安時代（12世紀）
136	木造天部立像 1軀	桜川市真壁町白井582 清浄院	平4. 1.24	平安時代（12世紀）
137	木造薬師如来坐像 1軀	阿見町吉原2289 西光寺	平5. 1.25	平安後期。修理（平15）
138	木造阿弥陀如来立像 (附木造両脇侍像2軀)	阿見町追原633 蔵福寺	平6. 1.26	中尊：14～15世紀初め 修理（平17～18）
139	銅造薬師如来立像 1軀	下妻市皆葉891 薬樹山無量院	平7. 1.23	鎌倉時代（13世紀）
140	木造観音菩薩立像 1軀	結城市結城1139 大輪寺	平7. 1.23	延文元年（1356）
141	木造如意輪観音坐像 (附紙本墨書書状2通)	常総市豊岡町乙2002 法性寺	平7. 1.23	応安5年（1372）
142	木造阿弥陀如来坐像 1軀	河内町生板4947 妙行寺	平8. 1.25	鎌倉時代（13世紀）
143	木造薬師如来坐像 (附木造両脇侍像2軀)	潮来市堀之内1230 二本松寺	平9. 1.27	鎌倉後期（14世紀）
144	銅造薬師如来立像 1軀	鉾田市梶山846 光福寺	平9. 1.27	平安後期（12世紀）
145	木造千手観音坐像 1軀	下妻市下妻乙498 小野子区	平11. 1.25	鎌倉後期（13世紀）
146	木造大迦葉立像 1軀	潮来市潮来428 長勝寺	平11.11.25	南北朝時代
147	銅造大日如来及三十日仏坐像 21軀	水戸市栗崎町1985 宗教法人仏性寺	平12.11.27	室町時代
148	木造阿弥陀如来及脇侍像 2軀	つくばみらい市福岡台入会地 大楽寺	平12.11.27	13世紀初め

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
149	銅造如来坐像及び菩薩立像 2軀	鹿嶋市神向寺125 神向寺 (茨城県立歴史館寄託)	平14.12.25	9世紀前半
150	木造狛犬 1対	筑西市甲37 宗教法人羽黒神社	平16.11.25	鎌倉後期
151	木造聖観音菩薩立像 1軀	稲敷市神宮寺146 宗教法人神宮寺	平17.11.25	平安末期 (12世紀後半)
152	木造如意輪観音立像 1軀	那珂市福田279-2 仲福田区	平18.11.16	平安後期 (12世紀)
153	木造十一面観音坐像 1軀	石岡市田島1-2-30 田島区	平18.11.16	鎌倉中期 (13世紀)
154	木造聖徳太子立像 1軀 (附修理銘札3枚、彩色奉加帳2冊)	常総市菅生町5028 宗教法人無量寺	平19.11.16	鎌倉後期 (14世紀初め)
155	木造金剛力士立像 2軀	笠間市大田町324 宗教法人養福寺	平19.11.16	室町中期 (15世紀中頃)
156	銅造誕生釈迦仏立像 1軀	筑西市小栗2762 宗教法人西光寺 (茨城県立歴史館寄託)	平19.11.16	奈良後半 (8世紀末頃)
157	木造十一面観音立像 1軀	八千代町八町149 太光山結城院新長谷寺	平20.11.17	貞和6年 (1350)。大仏師 院祥制作
158	木造阿弥陀如来坐像及菩薩立像(伝 観音菩薩)・天部立像 (伝虚空蔵菩 薩)、木造四天王立像 7軀	桜川市本郷13 宗教法人妙法寺	平21.11.19	平安前期 (9世紀末)。四 天王像は10世紀初め頃
159	木造千手観音立像及二天立 像 (附板光背残欠1枚) 3軀	北茨城市華川町下小津田197 宗教法人長照寺	平22.11.18	平安末期 (12世紀)
160	木造五大力菩薩像 5軀	桜川市池亀394 吉祥院	平25. 1.24	平安末期 (12世紀)
161	木造釈迦如来坐像 1軀	守谷市大木676 宗教法人大円寺	平26. 1.27	平安時代 (12世紀)。元禄 2年 (1689) の修理銘あり。
162	銅造阿弥陀如来立像 1軀 (附旧支柱1本)	笠間市平町291 浄乗寺	平30.12.27	13世紀後半。旧支柱に元禄 11年 (1698) の修理銘あり。

【工芸品】

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
1	青銅鈴 1口	桜川市西小壩1677 月山寺	昭28. 7. 9	平安時代。五鈷鈴。総高 28.5cm
2	木製のたらい 1口	桜川市西小壩1677 月山寺	昭28. 7. 9	江戸時代。桐唐草菊花文 蒔絵角盥
3	呉須皿 1枚	桜川市西小壩1677 月山寺	昭28. 7. 9	中国明末期。呉須は黒褐 色土
4	螺鈿蒔絵香盆 1面	常陸太田市金井町3690 常陸太田市	昭28. 8.20	江戸時代
5	護摩壇 1基	坂東市生子1617 萬蔵院	昭30. 6.25	徳川家光寄進銘
6	礼盤 2基	坂東市生子1617 萬蔵院	昭30. 6.25	寛永10年 (1633) [銘]
7	脇机 5机	坂東市生子1617 萬蔵院	昭30. 6.25	寛永10年 (1633)
8	払子 1振	結城市結城1725 安穩寺	昭32. 1.25	煩悩を払う荘厳具

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
9	珠数 ^{じゆず} 1連	結城市結城1725 安穩寺	昭32. 1.25	伝源翁心昭所持
10	古鏡 ^{こきよう} 1面	日立市弁天町1-21-12 個人	昭32. 1.25	鎌倉末期。愛染明王蓬莱鏡
11	厨子 1基	桜川市西小塙1677 月山寺	昭32. 1.25	康正2年(1456) [銘]。 春日厨子
12	古鏡 1面	結城市結城1281 個人	昭32. 6.26	瑞花双鳳鏡
13	五鈷鈴 ^{ごこれい} 1箇	稲敷市小野318 逢善寺	昭32. 6.26	平安後期。密教法具
14	五鈷杵 ^{ごこしよ} 1箇	稲敷市小野318 逢善寺	昭32. 6.26	鎌倉初期。密教法具
15	黒韋肩浅葱筋兜 ^{くろかわかたあさぎすじかぶと} 1具	水戸市八幡町8-54 水戸八幡宮	昭32. 6.26	室町時代。佐竹義宣奉納
16	鰐口 ^{わにぐち} 1個	龍ヶ崎市川原代町1050 安楽寺	昭33. 3.12	文和2年(1353) [銘]
17	鰐口 1個	潮来市上戸624 観音寺	昭33. 3.12	観応3年(1352) [銘]
18	虎の刺繍 1枚	美浦村木原1941 永巖寺	昭33. 3.12	天文23年(1554)
19	弥陀名号 1枚	石岡市大増3220 大覚寺	昭33. 3.12	室町時代。刺繍
20	蒔絵櫃 ^{まきえびつ} 1合	水戸市西原2-12-25 個人	昭33. 3.12	桃山時代。小型唐櫃
21	百万塔 1基	結城市結城1404 個人	昭33. 3.12	木製彩色。奈良十大寺寄進
22	つのたらい 1口	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	昭33. 7.23	江戸時代。橋竹鶴蒔絵角盥
23	黒漆螺鈿蒔絵台 1基	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭33. 7.23	鎌倉末期。牡丹竹鳥蝶蒔絵
24	銅印 1顆	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭33. 7.23	平安時代。朱文方印。 鶏頭紐
25	陶造狛犬 3軀	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭33. 7.23	室町時代後期、瀬戸鉄釉
26	石灯籠 1基	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭33. 7.23	元和5年(1619) [銘]
27	鏡 ^{によう} 1口	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭33. 7.23	平安時代。三鈷鏡
28	軍配 1口	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭33. 7.23	室町時代
29	軍陣鞍 ^{ぐんじんくら} 1背	水戸市新莊3-4-16 個人	昭35. 3.28	鎌倉時代。黒漆鞍
30	銅板懸仏 1口	常総市諏訪町3005 個人	昭35.12.21	室町初期
31	銅鐘 1口	行方市乙69 宝幢院	昭35.12.21	永享3年(1431) [銘] 防修理(昭63)
32	太刀(銘国貞) 1口	土浦市桜町1丁目 個人 (東京国立博物館寄託)	昭36. 3.24	鎌倉中期。備前の刀工
33	太刀(銘来橋光定) 1口	土浦市桜町1丁目 個人	昭36. 3.24	嘉慶2年(1388) [銘]
34	太刀(銘景安) ^{かげやす} 1口	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭36. 3.24	平安末期。備前刀工景安
35	太刀(備前国長船住長光作永仁二年月日銘) 1口	牛久市牛久町90 個人	昭36. 3.24	永仁2年(1294) 年紀
36	太刀(銘大和国当麻友 以下切) ^{たいまとも きれ} 1口	牛久市牛久町90 個人	昭36. 3.24	南北朝時代。友清作と伝える。 ^{ともきよ}
37	礼盤 ^{らいばん} 1基	城里町徳蔵874 徳蔵寺	昭37. 2.26	天正6年(1578) [寄進銘]
38	太刀(無銘伝大村加卜) 白鞆 ^{おむらかぼく しらさや} 1口	ひたちなか市市毛 個人	昭37. 8.27	貞享2年(1685) [銘]

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
39	螺鈿硯箱 1合	筑西市中館522 観音寺	昭37.10.24	楼閣人物螺鈿硯箱
40	六地藏石幢 ^{せきどう} 1基	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	昭37.10.24	もとはつくば市個人蔵
41	石造燈籠 1基	つくば市小田2716 長久寺	昭37.10.24	高さ211cm
42	鎧（兜、大袖付） 1具	水戸市東台695 個人	昭37.10.24	紺糸威の胴丸具足
43	鎧（兜、大袖付） 1具	水戸市泉町2-1-21 個人	昭37.10.24	安土桃山。胴丸具足
44	あぶみ 鑑 1具	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	昭37.10.24	鉄製。加賀銀象眼
45	鞍 1背	水戸市五軒町1-4-28 個人 (水戸市立博物館寄託)	昭37.10.24	水干鞍。黒漆地金蒔絵
46	おおなぎなた 大薙刀 1口	水戸市宮町 東照宮 (茨城県立歴史館寄託)	昭37.10.24	南北朝時代。備前長船元重
47	きょうづつ 銅製経筒 1口	水戸市天王町8-17 神崎寺	昭37.10.24	長承2年（1133）[銘]
48	礼盤 1基	境町974 吉祥院	昭37.10.24	寛永10年（1633）[銘]
49	銅鐘 1口	筑西市岡芹957 じょうりん 定林寺	昭38. 8.23	永禄10年（1567）[銘]
50	五鈷鈴 1口	古河市小堤 円満寺 (茨城県立歴史館寄託)	昭38. 8.23	平安時代か中国唐代
51	三鈷杵 1口	古河市小堤 円満寺 (茨城県立歴史館寄託)	昭38. 8.23	中国唐代説あり。
52	石造五輪塔 2基	かすみがうら市上佐谷 個人	昭38. 8.23	2基とも慶長16年（1611） [銘]
53	鑑 1具	水戸市五軒町1-4-28 個人 (水戸市立博物館寄託)	昭38. 8.23	昭37指定の鞍と1具
54	太刀（葵くずし紋） 1口	結城市結城800-2 個人	昭38. 8.23	斉昭の作。将軍家慶が佩用。 名称変更（平30）
55	太刀（銘吉房） ^{よしふさ} 1口	水戸市宮町 東照宮 (茨城県立歴史館寄託)	昭38. 8.23	備前国福岡一文字派
56	板碑 1基	筑西市岡芹957 定林寺	昭39. 7.31	高さ155cm
57	つのあか 角赤文庫 1合	かすみがうら市下志筑 個人 (茨城県立歴史館寄託)	昭39. 7.31	蒔絵手箱
58	だいそでよろい 大袖鎧 1具	筑西市下中山732-1 八幡神社 (管)筑西市教育委員会	昭39. 7.31	にまいどうぐそく 二枚胴具足
59	大袖鎧 1具	水戸市泉町2-1-21 個人	昭39. 7.31	五枚胴具足
60	鑑 1具	水戸市泉町2-1-21 個人	昭39. 7.31	鉄製、加賀銀象嵌
61	ずいかそうちようはちりきょう 瑞花雙鳥八稜鏡 1面	下妻市大宝667 大宝八幡宮	昭40. 2.24	平安時代か。
62	宝塔鈴 1基	石岡市若宮2-4-24 不動院	昭40. 2.24	銅鑄製。柄の上に塔形
63	そうかそうちようえんきょう 草花双鳥円鏡 1面	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭40. 2.24	白銅製。盗難（昭45）
64	みしょうたい 十一面観音御正体 1面	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭40. 2.24	銅板製、線刻。盗難（昭45）
65	宝珠杵 1口	かすみがうら市深谷1399 法蔵寺	昭40. 2.24	鎌倉末期。銅鑄製

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
66	瑞花雙鳥八稜鏡 1面	つくば市玉取2617 八坂神社	昭40.2.24	南北朝時代。白銅製
67	<small>きんなしじ</small> 金梨地蒔絵鞍 1背	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	昭41.3.7	安土桃山時代
68	六地藏石幢 1基	土浦市東城寺650 東城寺地区	昭41.3.7	室町末期か。
69	石造五輪塔 1基	土浦市小高212 小高地区	昭41.3.7	永正12年(1515)。頭白上人逆修塔
70	石造五輪塔 1基	筑西市村田1736 村田仲町集落	昭41.3.7	倒壊防止(平7)
71	石造五輪塔 1基	つくば市玉取1959 個人	昭41.3.7	高さ136cm
72	石造五輪塔 1基	かすみがうら市上佐谷719 個人	昭41.3.7	文禄2年(1593)[刻]
73	六地藏石幢 1基	土浦市永井694 個人	昭42.3.30	室町末期～桃山時代
74	銅鐘 1口	城里町塩子1736 岩谷山仏国寺	昭42.3.30	貞享元年(1684)寄進
75	石造九重層塔 1基	つくば市神郡970 個人	昭42.11.24	慶長年間。総高253cm
76	<small>そうもうほつす</small> 棕毛拵子 1振	土浦市高岡1890 法雲寺	昭43.3.28	中国元代の作
77	梵鐘 1基	五霞町山王山827-1 <small>とうしょうじ</small> 東昌寺	昭43.3.28	文明8年(1476)[銘]
78	石造五輪塔 1基	土浦市宍塚町1461 <small>ほんにやじ</small> 般若寺	昭43.3.28	建治元年(1275)[刻銘]
79	<small>ふすべかひわおとしどうまるよろい</small> 熏草威胴丸鎧 1領	ひたちなか市南神敷台 個人	昭43.3.28	室町末期。銅丸式の鎧
80	<small>よろいびつ</small> 鎧櫃 1領	ひたちなか市南神敷台 個人	昭43.3.28	ケヤキ材。笈形鎧櫃
81	<small>こめん</small> 古面 5面	潮来市島須530 御札神社	昭44.3.20	<small>ぼとう</small> 抜頭など5舞楽面
82	<small>せいじさんかいとう</small> 青磁三階塔 1基	土浦市高岡1890 法雲寺	昭44.3.20	青磁の三重塔形
83	<small>まきえさげたんす</small> 蒔絵提単笥 1箱	石岡市国府6-4-2 個人	昭44.12.1	江戸時代か桃山期
84	石造九重層塔 1基	かすみがうら市牛渡3902 個人	昭44.12.1	伝小田孝朝供養塔
85	鰐口 1個	かすみがうら市安食1754 大宮神社	昭44.12.1	応永10年(1403)[銘]
86	石造五輪塔 1基	土浦市本郷1093 個人	昭45.5.28	室町時代。高さ170cm
87	二枚胴具足 1具	石岡市山崎635 個人	昭45.9.28	江戸時代
88	五鈷杵 1口	桜川市本木1 楽法寺	昭45.9.28	平安末期頃。出土品
89	六地藏石幢 1基	つくば市平沢582 平沢区	昭46.1.28	
90	石造宝篋印塔 1基	つくば市小田 つくば市	昭46.1.28	鎌倉時代。解体組合せ(平17)
91	石造五輪塔 1基	つくば市北条102-1 八坂神社氏子総代	昭46.1.28	天文年間[銘(経筒)]
92	<small>と きんはつかくつりとうろう</small> 鍍金八角釣燈籠 1基	潮来市水原1121 愛染院	昭46.1.28	元禄14年(1701)[銘]
93	高麗焼茶碗 1個	潮来市潮来428 長勝寺	昭46.10.28	元禄8年(1695)[光圀寄進銘]
94	<small>おうぎちらしまきえしよだな</small> 扇散蒔絵書棚 1架	大洗町磯浜町8231 大洗町	昭46.12.2	明治時代
95	短刀 1振	大洗町磯浜町8231 大洗町	昭47.12.18	<small>しんとうごくにみつ</small> 初代新藤五国光の作
96	説相箱 1個	那珂市瓜連1221 常福寺	昭47.12.18	江戸初期
97	<small>しちかんせいじこうろだい</small> 七官青磁香炉台 1個	那珂市瓜連1221 常福寺	昭47.12.18	中国明代。円筒形
98	<small>はちりょうきやう</small> 八稜鏡 1個	那珂市瓜連1221 常福寺	昭47.12.18	鎌倉時代

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
99	香合 2個	大洗町磯浜町7920 願入寺	昭47.12.18	くりついでくこうごう ししぼたん 屈輪堆黒香合、獅子牡丹 堆朱香合
100	朱漆塗蔦葛模様椀 5個	大洗町磯浜町7920 願入寺	昭47.12.18	漆絵椀
101	和鏡 1面	潮来市牛堀17 潮来市教育委員会	昭49.3.31	すはましようきくかちらしそうじやくきょう 州浜松菊花散双雀鏡
102	蒔絵鏡箱 1合	日立市弁天町1-21-12 個人	昭49.3.31	室町時代。円形
103	華蔵院の梵鐘 1個	ひたちなか市栄町1-1-33 華蔵院	昭49.3.31	暦応2年(1339) [銘]
104	宝篋印塔 1基	石岡市半田1330 個人	昭49.3.31	江戸時代。高さ150cm
105	金銅割五鈷杵 1個	土浦市大岩田町1616 法泉寺	昭49.3.31	鎌倉末期。鍍金。15.2cm
106	五鈷鈴 1個	土浦市神立町1215 観音寺 (土浦市立博物館寄託)	昭49.3.31	平安末～鎌倉初
107	銅製丸鏡 1面	土浦市大和町9-1 土浦市 (土浦市立博物館保管)	昭49.3.31	草花双鳥鏡。面径11cm
108	灌頂用具 15点	水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50.3.25	明鏡は平安時代
109	密教法具 23点	水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50.3.25	鎌倉～江戸時代まで。
110	銅装龍輪宝羯磨文戒体箱 1合	水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50.3.25	室町末期
111	銅装龍輪宝羯磨文説相箱 2合	水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50.3.25	室町末期
112	銅板貼山伏笈 1背	水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50.3.25	天正18年(1590) [墨書銘]
113	漆塗経櫃 1合	水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50.3.25	室町後期
114	瀬戸緑釉狛犬 2体	ひたちなか市富士ノ上2-1 天満宮	昭51.7.5	室町後期
115	鰐口 1口	小美玉市上玉里 大宮神社 (小美玉市玉里史料館寄託)	昭52.5.2	正嘉元年(1257) [銘]
116	鰐口 1口	常陸太田市小中町592 個人	昭52.5.2	永和5年(1379) [銘]
117	竹織拵子 1振	土浦市高岡1890 法雲寺	昭56.12.24	中国元代
118	石造燈籠 1基	土浦市小野126-7 日枝神社	昭56.12.24	永正8年(1511) [銘]
119	漆皮軍配(伝太田道灌奉納) 1柄 寛文八年ノ太田資宗、資次寄進ノ 箱アリ	石岡市総社2-8-1 常陸国総社宮	昭58.3.18	寛文8年(1668) [銘]
120	漆皮軍配(伝佐竹義宣奉納) 1柄	石岡市総社2-8-1 常陸国総社宮	昭58.3.18	天正18年(1590) [銘]
121	銅鐘 1口 (「嘉慶元年」の銘と「享徳五年」の追銘あり)	下妻市大宝667 大宝八幡宮	昭59.3.8	嘉慶元年(1387) [銘]
122	太刀(銘常州水戸住藤原近則) 1口	大洗町磯浜町6890 大洗磯前神社	平2.1.25	嘉永5年(1852) [銘]
123	能面 6面	常陸大宮市下町221 甲神社	平4.1.24	16世紀
124	総毛引紅糸威胴丸具足 1領	水戸市宮町 東照宮 (茨城県立歴史館寄託)	平10.1.21	徳川家康着用遺品
125	鰐口 如意寺、嘉暦三年在銘 1口	笠間市上市原942 宗教法人如意輪寺	平16.1.8	江戸時代
126	鰐口 如意寺、嘉暦三年在銘 1口	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	平16.1.8	鎌倉時代

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
127	藻光彩磁葡萄紋様花瓶 板谷波山作 1口	笠間市笠間2345 茨城県陶芸美術館	平16.11.25	大正11年
128	氷華磁仙桃文花瓶 板谷波山作 1口	笠間市笠間2345 茨城県陶芸美術館	平16.11.25	大正15年頃

【書跡】

	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
1	紺紙金字法華経 8巻	桜川市西小埜1677 月山寺	昭28. 7. 9	鎌倉時代
2	往生要集 1冊	結城市結城152 称名寺	昭33. 3.12	往生要集延書 <small>のべがき</small>
3	大般若波羅蜜多経 391巻	土浦市沖宿町1483 海蔵寺	昭33. 3.12	承安5年（1175）〔奥書〕
4	妙法蓮華経 10巻	稲敷市小野318 逢善寺	昭33. 3.12	木版刷りの春日版
5	宋版一切経 5400巻	桜川市真壁町東山田1644 最勝王寺	昭33. 3.12	中国宋代。天海版
6	妙法蓮華経 1巻	石岡市大增3220 大覚寺	昭33. 3.12	紺紙金泥の写本
7	唐本一切経 <small>とうほんいっさいきょう</small>	笠間市笠間39 笠間稲荷神社	昭33. 7.23	建長7年（1255）〔識語〕
8	北斗寺仏儀次第 <small>ほくとじぶつぎしだい</small>	つくば市栗原1129 北斗寺	昭35.12.21	室町時代の写本
9	阿弥陀寺御文 <small>おふみ</small>	坂東市長須4359 阿弥陀寺	昭35.12.21	室町時代
10	無量寿寺御文書	鉾田市鳥栖1013 無量寿寺	昭35.12.21	蓮如の書簡19通
11	大般若波羅蜜多経 15巻	日立市神峰町4-11-12 個人	昭37. 2.26	承安3年(1173)校の奥書あり。
12	大般若波羅蜜多経 1巻	水戸市堀町2249 個人	昭38. 8.23	鎌倉時代末の春日版か。
13	一遍上人名号 1幅	石岡市国府3-1-13 個人	昭39. 7.31	
14	大般若波羅蜜多経 336巻	桜川市加茂部694 鴨大神御子神主玉神社 <small>かもおおかみこかみぬしたまじんじや</small>	昭41. 3. 7	正安・元応奥書（13～14世紀初）
15	大般若経 490巻	桜川市本木1 楽法寺	昭42. 3.30	天文10年（1541）・15年〔寄進銘〕
16	唐本一切経（抜藤原時朝） 2巻	水戸市西原2-12-25 個人	昭42.11.24	宋版一切経の一部
17	後奈良天皇歌切 <small>うたぎれ</small>	つくば市栗原1129 北斗寺	昭42.11.24	後奈良天皇宸筆、4首の歌
18	神号天照皇太神 <small>しんごうあまてらすこうたいじん</small>	小美玉市羽鳥2703 個人	昭42.11.24	後陽成天皇御宸筆
19	紺紙金泥大般若波羅蜜多経（巻506） 1巻	土浦市高岡1890 法雲寺 （土浦市立博物館寄託）	昭43. 3.28	鎌倉末期。1巻のみ残る。
20	法雲寺文書 一括	土浦市高岡1890 法雲寺 （土浦市立博物館寄託）	昭43. 3.28	中世寺領寄進状、禁制書状
21	芹沢文書一括 62点	石岡市国府6-4-2 個人	昭44.12. 1	室町～江戸初期
22	六地藏寺所蔵典籍・文書 典籍892部・文書407点	水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭46. 3.29	戦国時代。恵範が筆写・著述 <small>えはん</small>

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
23	了誉筆別当職譲状 1幅	那珂市瓜連1221 常福寺	昭47.12.18	応永22年(1415)。[了誉の書筆]
24	日本書紀私鈔並二人王百代具名記 3冊	那珂市瓜連1221 常福寺	昭47.12.18	了誉著作の写本(応永15年(1408)写)
25	阿弥陀経	那珂市瓜連1221 常福寺	昭47.12.18	斉昭25歳の真蹟
26	唯信鈔断片	大洗町磯浜町7920 願入寺	昭47.12.18	親鸞が書写した断片の1枚
27	蓮如筆消息大根田御坊宛	大洗町磯浜町7920 願入寺	昭47.12.18	
28	正宗寺所蔵文書	常陸太田市増井町1514 正宗寺	昭49. 3.31	円覚寺及び黄梅院文書
29	後光厳天皇御消息	ひたちなか市殿山町1-2-8 個人	昭49. 3.31	北朝4代天皇宸筆
30	日蓮書状(文永11年7月26日南條七次郎時光あて) 1通	常陸太田市新宿町239 久昌寺	昭56.12.24	鎌倉時代
31	日乗日記	常陸太田市新宿町239 久昌寺	昭56.12.24	修理(平2~4)
32	唐本一切経	笠間市稲田562 西念寺	昭63. 1.25	平安時代末
33	金剛般若波羅蜜経	笠間市石井1747 高乾院	平5. 1.25	弘安4年(1281)。修理(平10)
34	紙本墨書 神皇正統記六地藏寺本 3冊	水戸市六反田町767-2 宗教法人六地藏寺	平16. 1. 8	神皇正統記の写本(明德5年(1394)を恵潤が筆写)

【古文書】

	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	成立年代・備考
1	常陸総社文書 安政二年修理ノ奉納箱アリ 50通	石岡市総社2-8-1 常陸国総社宮	昭58. 3.18	総社の神主家に伝わる50通の文書
2	鳥名木家文書 41点	行方市手賀 個人 (茨城県立歴史館寄託)	平6. 1.26	手賀氏の分流鳥名木家に伝わる。
3	健田須賀神社文書 19点(2巻)	結城市結城195 健田須賀神社	平8. 1.25	文和元(1352)~天正8(1580)年
4	真壁長岡古宇田文書 35点	桜川市真壁町真壁57-1 真壁伝承館歴史資料館	平11.11.25	真壁氏庶流古宇田氏
5	親鸞門侶交名 1巻	下妻市下妻乙350 光明寺	平19.11.16	三河妙源寺本と共に貴重
6	鹿島神宮文書 250点(18巻)	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	平22.11.18	鹿島神宮に伝わる古文書群
7	税所文書 19点(1帖)	石岡市国府 個人 (茨城県立歴史館寄託)	平27. 1.22	常陸国衙の在庁官人関係文書
8	白田文書 1巻1帖	稲敷市羽賀1156 個人	平29. 1.26	白田家に伝わる中世から戦国期の文書群
9	岡澤文書 8帖	稲敷市福田1444 個人	令3.12.27	地方の刀鍛冶家に伝わる文書群

【考古資料】

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	成立年代・備考
1	板碑 1基	つくば市金田1658-1 つくば市	昭30.11.25	文永9年(1272) [刻銘]
2	東城寺結界石 1基	土浦市東城寺650 東城寺地区	昭41. 3. 7	建長5年(1253) [年刻銘]
3	下坂田の板碑 1基	土浦市下坂田1116-2 個人	昭41. 3. 7	永仁6年(1298) [年刻銘]
4	丸山古墳出土遺物 212点	石岡市柿岡5680 石岡市	昭42.11.24	4世紀末～5世紀初
5	経筒・石櫃付 1組	石岡市柿岡5680 石岡市	昭42.11.24	大永3年(1523) [陰刻銘]
6	結界石 1基	土浦市宍塚1461 般若寺 (土浦市立博物館寄託)	昭43. 3.28	建長5年(1253) [刻銘]
7	鹿(埴輪) 1対	石岡市柿岡5680 石岡市	昭44. 3.20	雄・雌1対
8	狐塚古墳出土遺物一括 24点	桜川市岩瀬 桜川市教育委員会	昭44.12. 1	短甲・銅鏃など出土
9	丸木舟 1艘	龍ヶ崎市馴馬町2488 龍ヶ崎市	昭50. 3.25	マツ材、残存部全長約6.3m
10	板碑 1基	筑西市辻1269-1 個人	昭50. 6.25	弘安元年(1278) [銘]
11	鏡 <small>にょう</small> の鑄型 <small>いがたようぼん</small> 1面	土浦市大和町9-1 土浦市 (土浦市立博物館保管)	昭55. 2.28	鎌倉期か。密教法具
12	丸木舟 1艘	下妻市大宝667 大宝八幡宮	昭59. 3. 8	クロマツ、長さ6.05m
13	銅印 1顆	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	平4. 1.24	「丈永私印」
14	人物埴輪 1軀	東海村村松768-38 東海村	平6. 1.26	舟塚1号墳出土。正装男子像
15	乳飲み児を抱く埴輪 (大平古墳群黄金塚出土) 1軀	ひたちなか市中根 ひたちなか市教育委員会	平9. 1.27	高さ27.5cm。腹部より下を欠失
16	巴形銅器(宮平遺跡出土) 1箇	石岡市染谷1646 石岡市教育委員会	平10. 1.21	全径5.0cm
17	後野遺跡出土石器及土器 <small>うしろの</small> 160点	ひたちなか市中根 ひたちなか市教育委員会	平12.11.27	細石刃文化、大型石刃文化の新旧関係が判明
18	十王台遺跡出土十王台式土器 3点	日立市十王町友部東2-1-15 個人 (十王公民館、東京国立博物館寄託)	平14.12.25	弥生後期
19	海後遺跡出土人面付土器 <small>かいご</small> 1点	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	平14.12.25	弥生中期
20	小野天神前遺跡出土土器 19点	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	平16.11.25	弥生時代中期の再葬墓 <small>さいそうぼ</small> 一括
21	風返稻荷山古墳出土遺物 74点	かすみがうら市坂1029 かすみがうら市	平18.11.16	6世紀後半～7世紀中頃
22	富士見塚1号墳・2号墳・3号墳出土遺物 一括	かすみがうら市柏崎358-1 かすみがうら市	平20.11.17	5世紀末～6世紀初頭。埴輪、鉄鏃など一括
23	東中根遺跡群出土遺物 18点	ひたちなか市中根3499 ひたちなか市	平21.11.19	弥生時代後期前半の土器及び紡錘車
24	一本松遺跡出土遺物 13点	大洗町磯浜町6881-88 大洗町	平23.11.17	弥生時代後期の巴形銅器を含む土器、紡錘車等
25	神岡上古墳群第3号墳出土遺物 <small>かみおかがみ</small> 345点	北茨城市磯原町磯原130-1 北茨城市教育委員会	平25. 1.24	七鈴鏡1点、鉄鏃32点、直刀4点、土製模造品266点など。

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	成立年代・備考
26	舟塚古墳出土遺物 39点	水戸市笠原町978-6 茨城県 (茨城県立歴史館保管)	平27. 1.22	埴輪39点(円筒埴輪16点・朝顔形埴輪5点・人物埴輪17点・家形埴輪1点) 小美玉市上玉里出土
27	信太入子ノ台遺跡出土蔵骨器 3点	美浦村大字土浦2359 (美浦村文化財センター保管) 美浦村教育委員会	平30.12.27	8世紀末～9世紀。2点が完形。蓋1点に「大伴」の墨書あり。
28	坪井上遺跡出土硬玉製大珠 7点	常陸大宮市中富町1087-14 (常陸大宮市歴史民俗資料館大宮館保管) 常陸大宮市教育委員会	令元.12.26	縄文時代中期 一つの遺跡からの出土数としては異例

【歴史資料】

	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
1	紙本墨書大般若経(附唐櫃3合) 569帖	那珂市額田北郷542 毘盧遮那寺	昭52. 5. 2	明応4(1495)～8年
2	訂正常陸国風土記版木 (附箱板2枚) 20枚のうち19枚	日立市諏訪町4-28-11 個人 (茨城県立歴史館寄託)	昭60. 3.25	天保10年(1839)出版の版木
	訂正常陸国風土記版木 20枚のうち1枚	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	昭60.12.16 (追加)	
3	四神旗 附祝文(写) 4旒	笠間市稲田763-1 稲田神社 (茨城県立歴史館寄託)	昭63. 1.25	
4	佐竹義昭奉加帳 1巻	常陸大宮市下町221 甲神社	平8. 1.25	弘治3年(1557)。修理(平17)
5	鹿の子遺跡出土漆紙文書 一括	石岡市柿岡5680 石岡市教育委員会	平14. 1.25	国庁作成帳簿類
6	5馬力誘導電動機 (附設計図1枚) 1台	日立市幸町3-1-1 日立製作所日立事業所	平14. 1.25	日立製作所第1号モーター
7	河口家医学等関係資料 896点	古河市錦町8-15 個人	平19.11.16	旧古河藩医の河口家に伝わる医学資料群
8	徳川光圀書翰集 7巻(54通)	水戸市三の丸1-5-38 茨城県立図書館	平23.11.17	光圀自筆書翰53通及び右筆書き1通。修理(平24)
9	色川三中関係史料 522点	土浦市大和町9-1 土浦市 (土浦市立博物館保管)	平28. 1.21 令2. 12. 28(追) 同日(名称変更)	城下町土浦の庶民生活や文化の様相を知る上で貴重。「色川三中草稿」(22点)を追加指定(令2)
10	長久保赤水関係資料 107点	高萩市高萩8-1 高萩市 (高萩市歴史民俗資料館保管)	平29. 1.26 令2. 9.30 (員数変更)	天文学者・農政学者長久保赤水の業績を伝える。ほかに国指定693点(令2)
11	紙本墨書 聖護院道興筆天神名号 1幅	桜川市真壁町東山田1457 個人	令3.12.27	聖護院道興が山田慶城坊に止宿した際にしたための書

イ 無形文化財

No.	名 称	所在地 及び 保持者・保持団体	指定年月日	備 考
1	結城紬 <small>ちぢみおり</small> （縮織）	結城市結城13-2 （財）重要無形文化財結城紬技術 保存会	昭28.11.14	強い撚りを加え、縮んで表面がちりめん状になる織り方
2	西の内紙（手漉和紙）	常陸大宮市舟生 本西の内紙保存会 （平28.1.21追加認定）	昭46.12. 2	昭46.12.1認定保持者 菊池五介（2代 平3.2.14死亡） 菊池一男（平16.3.31死亡） 小野瀬角次（平27.10.15死亡） 平3.2.27 追加認定保持者 菊池五介（3代 平19.5.19死亡） 平19.11.16 追加認定保持者 菊池正氣（令2.2.17死亡）
3	<small>あわのしゅんけいぬり</small> 栗野春慶塗	城里町栗458 稲川武男	平元. 1.25	木地の木目を透かしてみせる。
4	鹿島新當流 （附起請文1巻・傳法書1巻）	鹿嶋市宮中 鹿島新當流彰古会	平元. 9.27	塚原ト伝の編み出した剣の流派

ウ 有形民俗文化財

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	備 考
1	日立風流物人形頭 122頭	日立市神峰町4-11-12 個人	昭39. 7.31	操り人形頭
2	浮島所在の田下駄一括 45足	稲敷市八千石18- 1 稲敷市	昭46.12. 2	
3	獅子頭 1頭	石岡市府中2-4-5 土橋町区	平4. 1.24	江戸時代。重量約17kg
4	潮来祇園祭礼山車（附唐獅子1対） 3台	潮来市潮来 潮来祇園祭礼山車保存会	平5. 1.25	素鷲熊野神社祭礼の山車
5	西塩子の回り舞台 一式	常陸大宮市西塩子150-3 西塩子の回り舞台保存会	平11.11.25	文政年間。農村歌舞伎舞台
6	ささら獅子頭 3点	常陸大宮市中富町1087-14 第6区 （常陸大宮市歴史民俗資料館寄託）	平16.11.25	永正14年（1517）[墨書銘]

エ 無形民俗文化財

No.	名 称	所在地 及び 保存団体	指定年月日	公開場所・公開日等
1	浅川のささら	大子町浅川3903 浅川ささら保存会	昭30. 6.25	熊野神社。3月27日・28日
2	火消行列	常陸太田市町田町1 火消行列保存会	昭30. 6.25	6年毎の3月下旬
3	真家みたまおどり	石岡市真家273 真家みたまおどり保存会	昭33. 3.12	福寿院及び真家地内。8月15日
4	<small>かなさ</small> 西金砂神社田楽舞	常陸太田市上宮河内町1915 西金砂神社田楽舞保存会	昭35. 3.28	金砂大祭礼（72年）、小祭礼（6年）
5	東金砂神社田楽舞	常陸太田市天下野町9740 東金砂神社田楽舞保存会	昭35. 3.28	金砂大祭礼（72年）、嵐除祭（毎年）
6	塚崎の獅子舞	境町塚崎 塚崎獅子舞保存会	昭35. 3.28	香取神社。4月・7月・11月の15日
7	猿島ばやし	坂東市生子1465 猿島ばやし保存会	昭36. 3.24	<small>おいご</small> 生子八坂神社。7月15日～22日

No.	名 称	所在地 及び 保存団体	指定年月日	公開場所・公開日等
8	からかさ万灯	土浦市大畑 大畑からかさ万灯保存会	昭37.10.24	鷲神社。8月15日
9	はいか 排禍ばやし	石岡市片野620 排禍ばやし保存会	昭37.10.24	片野八幡神社。7月第3日曜
10	おおう みこまい 大生神社巫子舞神事	潮来市大生814 大生神社	昭38. 8.23	11月14日前夜祭、11月15日本祭
11	柿岡からくり人形	石岡市柿岡1857 からくり人形保存会	昭38. 8.23	柿岡八幡神社及び町内。7月24日
12	西丸山祈禱ばやし	つくばみらい市西丸山 西丸山祈禱囃子保存会	昭38. 8.23	鹿島神社。1月中旬・5月
13	日立のささら	日立市宮田・助川・会瀬・大久保・諏訪・ 水木・成沢 日立郷土芸能保存会	昭38. 8.23 追昭45.9.28 追昭46.7.19	泉神社ほか
14	潮来ばやし (獅子舞を含む)	潮来市潮来 潮来ばやし保存会	昭39. 7.31	そがくまの 素鷲熊野神社。8月7日～9日
15	のぶかたすもう 延方相撲	潮来市延方乙1885 鹿嶋吉田神社	昭39. 7.31	鹿嶋吉田神社。7月27日
16	おぐりないげ 小栗内外大神宮太々神楽	筑西市小栗1 太々神楽保存会	昭41. 3. 7	4月21日、11月10日の直近の日曜日
17	大串のささらばやし	水戸市大串町 ささらばやし保存会	昭41. 3. 7	稲荷神社。11月23日
18	大野のみろくばやし	水戸市下大野町 みろくばやし保存会	昭41. 3. 7	稲荷神社。11月23日
19	うわど 上戸の獅子舞	潮来市上戸1551 獅子舞保存会	昭43. 3.28	国神社。11月23日
20	神田ばやし	坂東市神田山3108 神田ばやし保存会	昭49.11.25	7月16日・17日、11月第2日曜日
21	田宮ばやし	土浦市田宮 田宮ばやし保存会	昭52. 5. 2	7月末の日曜日を中心に3日間
22	三和祇園ばやし	古河市東山田24 三和郷土芸能保存会	昭53. 1.26	7月中旬各地区の夏祭り
23	ほんぶね 大津の盆船流し	北茨城市大津町 常陸大津の御船祭保存会	昭54. 3. 8	大津漁港。8月13日～16日
24	石岡ばやし	石岡市石岡2812-3 石岡囃子連合保存会	昭55. 2.28	常陸国総社宮。9月14日～16日
25	磐戸神楽	古河市大和田 大和田磐戸神楽保存会	平元. 1.25	鷲神社。4月4日
26	だいかぐら 水戸大神楽	水戸市元山町1-3-43 柳貴家正楽社中 水戸市常磐町2-13-23 柳貴家勝蔵社中	平3. 1.25 平20.11.17	不定期
27	日枝神社流鏝馬祭	土浦市沢辺小野入会地 日枝神社流鏝馬祭保存会	平6. 1.26	日枝神社。4月第1日曜日
28	富田のささら	石岡市国府5-9 富田町ささら保存会	平8. 1.25	常陸国総社宮。9月14日～16日
29	おおつかど 大塚戸の綱火	常総市大塚戸町875 大塚戸芸能保存会	平11.11.25	一言主神社。9月13日
30	利根地固め唄	利根町中谷967 利根地固め唄保存会	平14.12.25	利根川築堤補修工事に係る作業唄
31	上山川諏訪神社太々神楽	結城市大字上山川160 上山川諏訪神社太々神楽保存会	平17.11.25	安永9年(1780) [舞台衣裳墨書] 4月
32	龍ヶ崎の撞舞	龍ヶ崎市3428地先 龍ヶ崎市撞舞保存会	平22.11.18	7月下旬の八坂神社最終日に実施

オ 史跡

	名 称	所在地 及び 所有者（管理者）	指定年月日	備 考
1	伝内大臣平重盛墳墓	城里町上入野3912 小松寺	昭6.12.4	伝重盛・重盛夫人・平貞能の墓
2	船玉古墳	筑西市船玉247 (管) 筑西市	昭8.7.4	方墳。石室内に壁画
3	古河公方足利成氏館跡・同足利義氏墓所	古河市鴻巣1045、409 個人	昭8.7.18	初代古河公方館跡
4	^{なんだいさん} 難台山城址	笠間市上郷3646の一部ほか (管) 笠間市	昭9.5.18	1387年小田某五郎が挙兵した跡
5	本多作左衛門重次墳墓	取手市台宿2-3167 本願寺	昭9.8.3	鬼作左といわれた家康の家臣の墓所
6	^{なかさい} 那珂西城址	城里町那珂西1958 ^{ほうどういん} 宝幢院	昭9.12.18	久安5年(1149)。那珂通泰が築城
7	瓜連城址	那珂市瓜連1221 常福寺	昭9.12.18	^{うりづらさだくに} 瓜連貞国、 ^{くすのきまさいえ} のち楠木正家が入城
8	^{しづく} 志筑城址	かすみがうら市中志筑 かすみがうら市	昭10.11.26	鎌倉期に下河辺政義が築城
9	^{あばさき} 阿波崎城址	稲敷市阿波崎2316 (所) 天満神社 (管) 阿波崎城跡保存会	昭10.11.26	南朝勢力回復のため北畠親房が入城
10	伊佐城址	筑西市中館522 観音寺	昭10.11.26	結城合戦で城主伊佐 ^{まさくに} 政国が討死
11	駒城址	下妻市黒駒147-1 個人	昭10.11.26	^{なみかど} 中御門少将藤原 ^{さねひろ} 実寛を擁した城
12	神宮寺城址	稲敷市神宮寺830・831 (管) 個人	昭10.11.26	北畠親房らが参集して拠点とした城
13	^{やまがただいに} 山県大貳の墓	石岡市根小屋779 (管) ^{たいねいじ} 泰寧寺	昭10.11.26	明和事件で処刑された大貳の墓
14	八幡塚	つくば市沼田374-1、374-2 つくば市	昭12.3.9 追昭47.12.18	前方後円墳。葺石、埴輪が確認
15	笠原水道	水戸市千波町・笠原町・本町1丁目～ 本町7丁目・元吉田町 (管) 水戸市	昭13.3.11	寛文3年(1663)完成。笠原不動谷から下市まで。
16	大日山古墳	取手市岡1179 (管) 取手市	昭14.2.1	方墳(東西18m、南北20m、高さ3m)
17	^{ふじふき} 藤原藤房卿遺跡	土浦市藤沢1797 (管) 土浦市	昭14.3.6	藤原藤房が2年間ここに配流
18	^{なれうま} 馴馬城址	龍ヶ崎市馴馬町2507 個人	昭14.4.5	南北朝時代。 ^{かすがあきくに} 春日顕国が旗揚げ
19	^{じゅうごろうあな} 十五郎穴	ひたちなか市中根3490-イ (管) ひたちなか市・個人	昭15.3.11	東中根台地南側崖面に造られた横穴墓群
20	^{くげだ} 久下田城址	筑西市樋口字城山221ほか 福聚寺ほか	昭15.9.4	下館6代城主水谷 ^{みずのやまさむら} 正村が築城
21	^{だいわたり} 台渡里廃寺址	水戸市渡里町字長者山 個人	昭20.7.16	古代那賀郡衙の正倉と推測される。
22	土浦市内西町 土浦城跡および櫓門	土浦市中央1丁目 土浦市	昭27.11.18	^{みずじろ} 水城。室町中期から江戸時代(指定時は「土浦市内西町亀城公園及び亀城楼門」。昭42.7.20名称変更)
23	丸山古墳	石岡市柿岡4123 (管) 石岡市	昭27.12.18	墳丘長約56mの前方後方墳
24	^{ぼんでんやま} 梵天山古墳群	常陸太田市島町 (管) 常陸太田市	昭28.7.9	本県第2位の前方後円墳ほか、13基の円墳と横穴群
25	^{ながつかたかし} 長塚節生家	常総市 ^{こっしょう} 国生1147-1 個人	昭30.6.25	茅葺の主屋・書院

No.	名 称	所在地 及び 保存団体	指定年月日	公開場所・公開日等
26	佛ヶ浜 <small>ほとけがはま</small>	日立市田尻町4-39 (管) 日立市教育委員会	昭30. 6.25	海岸の石壁に観世音菩薩像を刻む。
27	間宮林蔵の生家	つくばみらい市上平柳64 つくばみらい市	昭30.11.25	茅葺
28	間宮林蔵の墓	つくばみらい市上平柳5 個人	昭30.11.25	樺太探検出発前に菩提寺に建立
29	山寺水道	常陸太田市天神林 (管) 常陸太田市	昭32. 6.26	光圀 <small>ききゅうしょうじ</small> が久昌寺まで導水
30	石岡の一里塚	石岡市泉町2108、12805 (管) 石岡市	昭33. 3.12	石岡 <small>なめりがわ</small> の行里川にある一里塚
31	水野越前守忠邦の墓	結城市山川新宿1653-1 (管) 結城市教育委員会	昭33. 3.12	天保の改革を実施した老中の墓
32	結城御朱印堀(附地図2帖・証文1・由来帖1)	結城市結城 (管) 結城市・個人	昭33. 3.12	戦国末期から江戸時代の堀跡
33	五角堂と和時計	つくば市谷田部1945 (管) つくば市	昭33. 3.12	からくり伊賀七 <small>いがしち</small> による発明
34	堀の内古窯跡群 <small>うちこやうあとぐん</small>	桜川市大泉1548 個人	昭35.12.21	須恵器・瓦等の窯跡
35	熊沢蕃山の墓	古河市大堤1030-1 鯉延寺 <small>けいえんじ</small>	昭36. 7.21	熊沢蕃山は古河で禁固刑。元禄4年(1691)没
36	板谷波山生家	筑西市甲864-6ほか 財団法人波山先生記念会	昭40. 5.21	木造。平屋、瓦葺。1760年代の建造といわれる。部(平20)
37	野口雨情生家	北茨城市磯原町磯原73 (管) 個人	昭42. 3.30	明治10年。木造。2階建、瓦葺
38	水戸城跡(塁及び濠)	水戸市三の丸 茨城県・茨城大学・水戸市	昭42.11.24	佐竹・徳川による築城
39	助川海防城跡	日立市助川町5-10-4 (管) 日立市教育委員会	昭42.11.24	天保7年(1836)、斉昭 <small>やまのべよし</small> が山野辺義観に命じて築城。天保9年(1838)完成
40	泉が森	日立市水木町1525 泉神社	昭44.12. 1	清泉。古代の庶民遊楽の地
41	旧久原本部 <small>くほら</small>	日立市宮田町3585 日鉱記念館	昭45. 9.28	日立鉱山久原房之助が明治38年建設
42	穴薬師古墳	五霞町川妻249 (管) 個人	昭46. 3.29	古墳時代後期の円墳。石室が特異な構造をもつ。
43	鹿見塚古墳	潮来市大生890-2 (管) 潮来市教育委員会	昭46.10.28	大生古墳群中の主要古墳
44	府中愛宕山古墳	石岡市北根本694ほか 石岡市	昭46.12. 2	墳丘長約90mの前方後円墳
45	真壁氏累代地及び墓碑群 30基	桜川市真壁町山尾525-1 (管) 桜川市教育委員会	昭46.12. 2	遍照院墓域にある五輪塔群
46	大生古墳群 <small>おおう</small>	潮来市大生890-1ほか (管) 風土記の里保存会	昭50. 3.25	本県最大級の古墳群で約100基
47	太子古墳	かすみがうら市安食734-1 個人 <small>あんじき</small>	昭52. 5. 2	石室に赤い塗料による壁画が残る。
48	千代田の一里塚	かすみがうら市西野寺848 個人	昭52. 5. 2	水戸街道稻吉と府中の間にある一里塚
49	熊野古墳	かすみがうら市市川40、40-1 個人	昭52. 5. 2	墳丘長約63mの前方後円墳
50	小菅郷校跡 <small>こすげごうこう</small>	常陸太田市小菅町 個人	昭53. 1.26	矢場、土塁、表門石垣が残る。

No.	名 称	所在地 及び 所有者（管理者）	指定年月日	備 考
51	<small>みなみこうや</small> 南高野貝塚	日立市南高野町1-19 (管) 日立市教育委員会	昭54. 3. 8	縄文時代中～晩期の貝塚
52	<small>さかさい</small> 逆井城跡	坂東市逆井1234 (管) 坂東市	昭60. 3.25	戦国末期の後北条氏の有力支城か。
53	東城寺経塚群 12基	土浦市東城寺 (管)土浦市教育委員会	平3. 1.25	平安後期。経筒・経文など出土
54	那珂湊反射炉跡（附那珂湊反射炉資料25点）	ひたちなか市栄町1-10 ひたちなか市	平16.11.25	安政年間。鉄製大砲鑄造の施設
55	星神社古墳 1基	常陸太田市小島町757-1ほか 個人	平18.11.16	墳丘長100m、県内最古級の前方後円墳
56	富士見塚1号墳・2号墳・3号墳 3基	かすみがうら市柏崎1546-71、1555-3、1555-4、1555-15、1572-1 かすみがうら市	平20.11.17	1号墳：墳丘長約80mの前方後円墳 2号墳：墳丘径約25mの円墳 3号墳：墳丘径約17mの円墳
57	石神城跡	東海村大字石神内宿字本城1244他53筆 東海村	平29.12.25	佐竹氏家臣の石神小野崎氏が在城。惣構えの中核

カ 名勝

No.	名 称	所在地 及び 管理者	指定年月日	備 考
1	<small>あゆみさき</small> 歩崎	かすみがうら市坂921 かすみがうら市	昭8.10. 6	霞ヶ浦の土浦入りと高浜入りに挟まれた岬一帯
2	広浦	茨城町下石崎1651 茨城町	昭9.11.30	潤沼に突き出た米洲岬 <small>こめず</small> 。水戸八景、「広浦秋月」の碑あり。
3	親沢	茨城町上石崎4144-1 茨城町	昭9.11.30	潤沼の親沢鼻をいう。岸より突き出た砂州
4	袋田瀧	大子町袋田 大子町	昭15. 3.27	高さ121m、幅76m、4段に落ちる。 よどのたき 「四度瀧」
5	花園溪谷「七ツ瀧」	北茨城市華川町花園591 花園神社	昭27.12.18	花園川が7段にわたって落瀑

キ 天然記念物

No.	名 称 ・ 数 量	所在地 及び 所有者	指定年月日	補助事業
1	銚スギ 1株	大子町下野宮1626 近津神社	昭6.10.13	避雷針（昭59） 避雷針更新（平12）
2	三浦杉 2株	常陸大宮市小田野172 吉田八幡神社	昭6.12. 4	
3	<small>くつかけ</small> 沓掛ノ大櫨 1株	坂東市沓掛843-1 神明社	昭7. 6.24	保存修理（昭62） 樹勢回復（平14～16）
4	<small>やしろ</small> 八代の大椎 1株	潮来市上戸1558 神明神社	昭8.10. 6	保存修理（平13）
5	金砂山ノ大柊 5株	ひたちなか市堀口1 金砂神社	昭10.12.27	
6	花園山石南群落	北茨城市華川町花園587ほか 花園神社	昭11. 4.17	

No.	名 称 ・ 数 量	所在地 及び 所有者		指定年月日	補助事業	
7	鏡岩	常陸大宮市照山1587	常陸大宮市	昭11. 4.17		
8	球状花崗岩	石岡市吉生2716	石岡市	昭12. 2. 5		
9	地蔵櫨	1株	取手市下高井1306	高源寺	昭14. 3. 6	樹勢回復 (昭63) 保存修理 (平8)
10	静のムクノキ	1株	那珂市静455	那珂市	昭14. 3.31	
11	佐久の大杉	1株	石岡市佐久622	佐久区	昭16. 3.31	樹勢回復 (平10～12)
12	龍ヶ崎の垂枝桜	1株	龍ヶ崎市3341	般若院	昭28. 7. 9	樹勢回復 (平元)
13	真鍋の桜	5株	土浦市真鍋4-3-1	土浦市	昭31. 5.25	樹勢回復 (平8～9)
14	亀城の椎	1株	土浦市中央1丁目	土浦市	昭31. 5.25	
15	海鷲渡来地		日立市川尻町2-7	日立市	昭31. 5.25	
16	平磯白亜紀層		ひたちなか市平磯海岸	ひたちなか市	昭32. 6.26	
17	<small>おだか</small> 小高の榎	1株	行方市小高925	行方市	昭33. 3.12	樹勢回復 (平18～20)
18	出島の椎	1株	かすみがうら市下軽部289	かすみがうら市	昭33. 3.12	樹勢回復 (平12～14)
19	花園の大杉	1株	北茨城市華川町花園567	花園神社	昭35.12.21	
20	花園のコウヤマキ	2株	北茨城市華川町花園567	花園神社	昭35.12.21	
21	波崎の大タブ	1株	神栖市波崎3355	神善寺	昭35.12.21	保存修理 (昭61)
22	無量寿寺のボダイジュ	1株	銚田市鳥栖1013	無量寿寺	昭36. 3.24	
23	お葉付イチヨウ	1株	大洗町大貫町802	西光院	昭37. 2.26	自費環境整備 (平14)
24	大穂のウメ	1株	つくば市吉沼2376	個人	昭37. 8.27	
25	鹿島神宮樹叢		鹿嶋市宮中2306-1ほか	鹿島神宮	昭38. 8.23	防虫(昭55)。保護増殖・ 防災 (平8～9)
26	下横場の大グミ	1株	つくば市高野台3-6-1	つくば市	昭39. 7.31	
27	西蓮寺の大イチヨウ	2株	行方市西蓮寺504	西蓮寺	昭39. 7.31	
28	潮来の大ケヤキ	1株	潮来市潮来1338-2	素鷲熊野神社	昭39. 7.31	
29	大生神社の樹叢		潮来市大生814	大生神社	昭39. 7.31	保護増殖 (平6)
30	お葉付イチヨウ	1株	銚田市中居685-1	照明院	昭42. 3.30	樹勢回復 (平13)
31	八重の藤	1株	笠間市笠間39	笠間稲荷神社	昭42.11.24	
32	御岩山の三本スギ	1株	日立市入四間町752	茨城森林管理署	昭43. 9.26	
33	西金砂のイチヨウ	1株	常陸太田市上宮河内町1915	西金砂神社	昭44. 3.20	保存修理 (平15)
34	西金砂のサワラ	1株	常陸太田市上宮河内町1915	西金砂神社	昭44. 3.20	保存修理 (平15)
35	駒つなぎのイチヨウ	1株	日立市大久保町2-2-11	鹿島神社	昭44.12. 1	
36	香仙寺のシイ	1株	常陸太田市松栄町615	香仙寺	昭46. 1.28	保存修理 (平12)
37	若宮八幡宮のケヤキ	1株	常陸太田市宮本町2344	若宮八幡宮	昭46.12. 2	保存修理 (平8)
38	真弓神社の爺杉	1株	常陸太田市真弓町陣ヶ峰2766	真弓神社	昭46.12. 2	

No.	名 称 ・ 数 量	所在地 及び 所有者	指定年月日	補助事業
39	ウチワサボテン群生地	神栖市太田2070-8 神栖市教育委員会	昭47.12.18	
40	モチノキ 1株	常陸太田市天下野町9740 東金砂神社	昭47.12.18	保護管理（昭57）
41	大塚神社のスギ 1株	高萩市下君田1377 大塚神社	昭49. 3.31	
42	大塚神社のモミ 1株	高萩市下君田1377 大塚神社	昭49. 3.31	
43	不動院のカヤ 1株	那珂市菅谷3021 不動院	昭49. 3.31	
44	菅谷のカヤ 1株	那珂市菅谷756 個人	昭50. 3.25	
45	菅谷のモチノキ 1株	那珂市菅谷841 個人	昭50. 3.25	
46	曙のグミ 1株	阿見町曙151-106 阿見町	昭52. 7.18	
47	泉福寺のシダレザクラ 1株	常陸太田市大中町1265 泉福寺	昭52. 7.18	
48	ボダイジュ 1株	古河市仁連126 東漸寺	平4. 1.24	
49	イチイガシ 1株	古河市恩名2347 個人	平4. 1.24	
50	椎尾山薬王院の樹叢	桜川市真壁町椎尾3196 薬王院	平6. 1.26	
51	七反のシダレザクラ 1株	常陸太田市里川町484-6 常陸太田市	平7. 1.23	
52	猿喰のケヤキ 1株	常陸太田市徳田町1744-2 徳田共有地管理委員会	平9. 1.27	
53	鷲子山上神社のカヤ 1株	常陸大宮市鷲子3614-2 鷲子山上神社	平10. 1.21	
54	松岩寺のヤマザクラ 1株	高萩市下君田1569 松岩寺	平11. 1.25	支柱付替（平30）
55	稲田禅房のお葉付イチョウ 1株	笠間市稲田469 宗教法人西念寺	平12.11.27	
56	文武館跡のケヤキ 2株	大子町大字大子554 大子町	平14.12.25	
57	酒列磯前神社の樹叢 38,837㎡	ひたちなか市磯崎町4607-2 宗教法人酒列磯前神社	平17.11.25	参道整備（令元）
58	外大野のシダレザクラ 1株	大子町大字外大野1312 個人	平17.11.25	

(5) 国登録文化財一覧

ア 国登録有形文化財（建造物）

No.	名称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
1	茨城県立水戸商業高等学校旧本館玄関	水戸市新荘3-7-2	茨城県	平成8年12月20日
2	水戸市水道低区配水塔	水戸市北見町126-14	水戸市	平成8年12月20日
3	祐月本店雛蔵	水戸市末広町2-2282-21	個人	平成27年11月17日
4	和田家住宅延年楼	水戸市自由が丘4610-29	個人	平成27年11月17日
5	笠間市立歴史民俗資料館(旧宍戸町役場庁舎)	笠間市平町29	笠間市	平成16年2月17日
6	間宮家住宅主屋	常陸大宮市高部3991	個人	平成15年7月1日
7	島家住宅主屋	城里町上古内480-1	城里町	平成14年8月21日
8	武石家住宅主屋	大洗町磯浜町1107-1	個人	平成17年2月9日
9	幕末と明治の博物館別館	大洗町磯浜町字見付久保8231番地4	大洗町	平成17年2月9日
10	大貫家住宅主屋	大洗町磯浜町字道祖神脇1130-3	個人	平成18年3月2日
11	旧おかめ旅館本館	大洗町磯浜町2315-4他	個人	平成19年10月2日
12	潮田家住宅見世蔵	桜川市真壁町真壁189	個人	平成11年11月18日
13	潮田家住宅袖蔵	〃	〃	〃
14	潮田家住宅脇蔵	〃	〃	〃
15	潮田家住宅別荘(離れ)	〃	〃	〃
16	谷口家住宅店舗	桜川市真壁町桜井373	個人	平成12年4月28日
17	谷口家住宅北袖蔵	〃	〃	〃
18	谷口家住宅南袖蔵	〃	〃	〃
19	谷口家住宅門	〃	〃	〃
20	川島書店見世蔵	桜川市真壁町真壁335	個人	平成12年10月18日
21	三輪家住宅見世蔵	桜川市真壁町真壁229	個人	平成12年10月18日
22	三輪家住宅主屋	〃	〃	〃
23	木村家住宅(小田部生花店)見世蔵	桜川市真壁町真壁217-1	個人	平成12年10月18日
24	木村家住宅(小田部生花店)主屋	〃	〃	〃
25	旧真壁郵便局	桜川市真壁町真壁297	桜川市	平成12年10月18日
26	谷田部家住宅長屋門	桜川市真壁町古城198-1	個人	平成12年10月18日
27	猪瀬家住宅薬医門	桜川市真壁町真壁1	個人	平成12年10月18日
28	村井醸造脇蔵	桜川市真壁町真壁72	個人	平成12年12月4日
29	村井醸造石蔵	桜川市真壁町真壁200-1	個人	平成12年12月4日
30	塚本茶舗脇蔵	桜川市真壁町真壁213-1	個人	平成12年12月4日
31	伊勢屋旅館主屋	桜川市真壁町真壁193	個人	平成12年12月4日
32	伊勢屋旅館土蔵	〃	〃	〃
33	鈴木醸造主屋	桜川市真壁町古城191	個人	平成12年12月4日
34	鈴木醸造長屋門	〃	〃	〃
35	西岡本店店舗	桜川市真壁町田6-1	個人	平成13年8月28日

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
36	西岡本店脇蔵	桜川市真壁町田6-1	個 人	平成13年 8 月28日
37	西岡本店米蔵	〃	〃	〃
38	小田部鑄造主屋	桜川市真壁町田45	個 人	平成13年 8 月28日
39	小田部鑄造北土蔵	〃	〃	〃
40	小田部鑄造南土蔵	〃	〃	〃
41	小田部鑄造門	〃	〃	〃
42	関根家住宅店舗	桜川市真壁町真壁390	個 人	平成14年 6 月25日
43	関根家住宅主屋	〃	〃	〃
44	中村家住宅主屋	桜川市真壁町真壁391-1	個 人	平成14年 6 月25日
45	中村家住宅文庫蔵	〃	〃	〃
46	中村家住宅薬医門及び塀	〃	〃	〃
47	橋本旅館主屋	桜川市真壁町真壁410	個 人	平成14年 6 月25日
48	橋本旅館土蔵	〃	〃	〃
49	入江家住宅主屋	桜川市真壁町真壁220	個 人	平成14年 8 月21日
50	高久家住宅店舗	桜川市真壁町真壁191	個 人	平成14年 8 月21日
51	川島洋品店土蔵	桜川市真壁町真壁302	個 人	平成14年 8 月21日
52	星野家住宅店舗及び主屋	桜川市真壁町真壁288	個 人	平成14年 8 月21日
53	木村家住宅門	桜川市真壁町真壁217-1	個 人	平成14年 8 月21日
54	市塚紀夫家住宅店舗及び主屋	桜川市真壁町真壁236-1	個 人	平成15年 7 月 1 日
55	土谷家住宅土蔵	桜川市真壁町真壁272-1	個 人	平成15年 7 月 1 日
56	山中家住宅長屋門	桜川市真壁町真壁308	個 人	平成15年 7 月 1 日
57	山中家住宅土蔵	〃	〃	〃
58	中村家住宅見世蔵	桜川市真壁町真壁433	個 人	平成15年 7 月 1 日
59	中村家住宅主屋	〃	〃	〃
60	細谷家住宅主屋	桜川市真壁町飯塚44	個 人	平成15年 7 月 1 日
61	細谷家住宅長屋門	〃	〃	〃
62	市塚章一家住宅長屋門	桜川市真壁町飯塚74	個 人	平成15年 7 月 1 日
63	市塚昌宏家住宅表門	桜川市真壁町飯塚85	個 人	平成15年 7 月 1 日
64	小林商店店舗	桜川市真壁町飯塚171-2	個 人	平成15年 7 月 1 日
65	小林商店米蔵	〃	〃	〃
66	増淵家住宅店舗	桜川市真壁町真壁396	個 人	平成15年 9 月19日
67	増淵家住宅主屋	〃	〃	〃
68	増淵家住宅長屋門	〃	〃	〃
69	佐藤家住宅表門	桜川市真壁町真壁397	個 人	平成15年 9 月19日
70	市塚政一家住宅長屋門	桜川市真壁町飯塚26	個 人	平成15年 9 月19日
71	桜井家住宅店舗	桜川市真壁町真壁409	個 人	平成16年 2 月17日
72	桜井家住宅主屋	〃	〃	〃
73	桜井家住宅西蔵	桜川市真壁町真壁409	個 人	平成16年 2 月17日
74	桜井家住宅新蔵	〃	〃	〃

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
75	北岡家住宅店舗及び主屋	桜川市真壁町飯塚104	個 人	平成16年 2 月17日
76	大森家住宅主屋	桜川市真壁町桜井169-1	個 人	平成16年 3 月 2 日
77	大森家住宅長屋門	〃	〃	〃
78	大森家住宅土蔵	〃	〃	〃
79	密弘寺不動堂	桜川市真壁町真壁184	密弘寺	平成16年 3 月 2 日
80	西岡家住宅店舗	桜川市真壁町真壁56-1	個 人	平成16年 6 月 9 日
81	西岡家住宅主屋	〃	〃	〃
82	西岡家住宅土蔵	〃	〃	〃
83	平井家住宅店舗及び主屋	桜川市真壁町真壁264	個 人	平成16年 6 月 9 日
84	平井家住宅土蔵	〃	〃	〃
85	旧樺穂小学校校舎	桜川市真壁町真壁351	個 人	平成16年 6 月 9 日
86	塚本家住宅見世蔵	桜川市真壁町真壁60	個 人	平成16年11月 8 日
87	塚本家住宅主屋	〃	〃	〃
88	塚本家住宅土蔵	〃	〃	〃
89	塚本家住宅門	〃	〃	〃
90	村井醸造店舗	桜川市真壁町真壁72	個 人	平成16年11月 8 日
91	村井醸造煙突	〃	〃	〃
92	土生都家住宅主屋	桜川市真壁町真壁75-2	個 人	平成16年11月 8 日
93	土生都家住宅門	〃	〃	〃
94	根本医院門	桜川市真壁町真壁202	個 人	平成16年11月 8 日
95	鈴木家住宅表門	桜川市真壁町真壁34	個 人	平成17年 7 月12日
96	村上家住宅主屋	桜川市真壁町真壁232	個 人	平成17年 7 月12日
97	村上家住宅離れ	〃	〃	〃
98	村上家住宅土蔵	〃	〃	〃
99	村上家住宅表門	〃	〃	〃
100	出川家住宅主屋	桜川市真壁町真壁347	個 人	平成17年 7 月12日
101	出川家住宅土蔵	〃	〃	〃
102	増淵宥市家住宅表門	桜川市真壁町真壁412	個 人	平成17年 7 月12日
103	増淵宥市家住宅土蔵	〃	〃	〃
104	谷口義衛家住宅長屋門及び主屋	桜川市真壁町桜井1	個 人	平成17年 7 月12日
105	谷口義衛家住宅土蔵	〃	〃	〃
106	谷口家住宅主屋	桜川市真壁町桜井373	個 人	平成17年 7 月12日
107	谷口家住宅離れ	〃	〃	〃
108	谷口家住宅土蔵	〃	〃	〃
109	谷口家住宅奥蔵	〃	〃	〃
110	谷口家住宅穀蔵	〃	〃	〃
111	安達家住宅見世蔵及び主屋	桜川市真壁町真壁字新宿町424-1	個 人	平成29年10月27日
112	安達家住宅座敷	〃	〃	〃
113	安達家住宅薬医門	〃	〃	〃

No.	名称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
114	照沼家住宅主屋	東海村大字照沼字寺沼23	個人	平成19年7月31日
115	旧共楽館（日立武道館）	日立市白銀町2-21-15	日立市	平成11年7月8日
116	梅津会館（旧太田町役場）	常陸太田市西二町2186	常陸太田市	平成11年8月23日
117	旧町屋変電所	常陸太田市西河内下町1382-1	〃	〃
118	央橋	常陸太田市春友町〓町屋町	常陸太田市	平成15年9月19日
119	花貫川第一発電所第三号水路橋（めがね橋）	高萩市大字秋山板木2989	東京発電株式会社	平成11年11月18日
120	賀美発電所本館	常陸太田市上深荻町320	東京発電株式会社	平成16年11月8日
121	賀美発電所放水路及び余水路	常陸太田市上深荻町	〃	〃
122	賀美発電所取水所	常陸太田市小菅町	〃	〃
123	小里川発電所本館	常陸太田市徳田町1284-2	東京発電株式会社	平成16年11月8日
124	小里川発電所放水路	常陸太田市徳田町	〃	〃
125	小里川発電所余水路	〃	〃	〃
126	小里川発電所取水所	〃	〃	〃
127	徳田発電所本館	常陸太田市徳田町	東京発電株式会社	平成16年11月8日
128	徳田発電所放水路	〃	〃	〃
129	徳田発電所余水路	〃	〃	〃
130	徳田発電所取水所	〃	〃	〃
131	駿河屋宮田書店店舗兼主屋	常陸太田市内堀町2357	個人	平成26年10月7日
132	駿河屋宮田書店土蔵	〃	〃	〃
133	旧稲田家住宅赤煉瓦蔵	常陸太田市東一町2295-2	〃	〃
134	立川醤油店店舗及び主屋	常陸太田市西二町字西二西2177他	個人	令和3年2月26日
135	茨城大学五浦美術文化研究所岡倉天心旧居（研究室）	北茨城市大津町五浦727-2	国立大学法人茨城大学	平成15年7月1日
136	茨城大学五浦美術文化研究所長屋門（管理舎・陳列館）	〃	〃	〃
137	石岡第二発電所取水堰堤	北茨城市中郷町石岡	東京発電株式会社	平成18年3月2日
138	石岡第二発電所沈砂池	〃	〃	〃
139	石岡第二発電所余水路	〃	〃	〃
140	石岡第二発電所水槽	〃	〃	〃
141	石岡第二発電所鉄管路擁壁	〃	〃	〃
142	石岡第二発電所本館	北茨城市中郷町石岡69-1	〃	平成18年3月2日
143	旧上岡小学校第一棟	大子町上岡914他	大子町	平成26年12月19日
144	旧上岡小学校第二棟	〃	〃	〃
145	旧上岡小学校第三棟	〃	〃	〃
146	旧黒沢中学校本館	大子町上郷2604他	大子町	平成26年12月19日
147	旧黒沢中学校技術教室	〃	〃	〃
148	旧黒沢中学校調理室及び図書館	〃	〃	〃
149	旧黒沢中学校屋内運動場	〃	〃	〃
150	旧黒沢中学校音楽教室	〃	〃	〃
151	旧外池呉服店店舗	大子町大字大子字金町東側624・625合併	個人	平成28年2月25日
152	旧樋口病院入院棟	大子町大字大子字泉町北側705	個人	平成28年2月25日

No.	名称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
153	太子カフェ店舗兼主屋	太子町大字太子字本町南側689	個人	平成28年2月25日
154	太子カフェ土蔵	太子町大字太子字本町南側687-2	個人	平成28年2月25日
155	旧太子銀行本店	太子町大字太子字金町西側642-2	個人	平成29年5月2日
156	旧初原小学校一号棟	太子町初原960	太子町	平成30年5月10日
157	旧初原小学校二号棟	〃	〃	〃
158	旧初原小学校講堂	〃	〃	〃
159	旧西金小学校校舎	太子町西金250	太子町	平成30年5月10日
160	旧西金小学校理科室及び音楽室	〃	〃	〃
161	旧西金小学校調理室	〃	〃	〃
162	旧浅川小学校一号棟	太子町浅川1253	太子町	平成30年5月10日
163	旧浅川小学校二号棟	〃	〃	〃
164	旧槇野地小学校校舎	太子町槇野地2469	太子町	平成30年5月10日
165	一色家住宅主屋	土浦市西真鍋町1918-1, 3	個人	平成13年8月28日
166	岩瀬家住宅主屋	土浦市小山崎字道知411-1他	個人	平成21年1月8日
167	岩瀬家住宅屋敷蔵	〃	個人	平成22年4月28日
168	岩瀬家住宅米蔵	〃	〃	〃
169	岩瀬家住宅味噌倉	〃	〃	〃
170	岩瀬家住宅表門	〃	〃	〃
171	岩瀬家住宅中ノ門	〃	〃	〃
172	岩瀬家住宅東門	〃	〃	〃
173	岩瀬家住宅塀	〃	〃	〃
174	旧大徳呉服店蔵北棟	土浦市中央1-914-4	土浦市	平成28年8月1日
175	旧大徳呉服店蔵南棟	〃	〃	〃
176	旧大徳呉服店袖蔵	〃	〃	〃
177	旧大徳呉服店元蔵	土浦市中央1-914-5	土浦市	〃
178	旧大徳呉服店向蔵	〃	〃	〃
179	旧野村さとう店店舗兼主屋	土浦市中央1-950・952合併	土浦市	平成28年8月1日
180	旧野村さとう店袖蔵	〃	〃	〃
181	旧野村さとう店文庫蔵	〃	〃	〃
182	旧野村さとう店煉瓦蔵	〃	〃	〃
183	きそば東京庵店舗兼住宅	石岡市国府3-3-16	個人	平成15年7月1日
184	福島屋砂糖店店舗兼住宅	石岡市国府3-4-20	個人	平成15年7月1日
185	丁子屋店舗兼住宅	石岡市国府3-5-6	個人	平成15年7月1日
186	森戸文四郎商店店舗兼住宅	石岡市国府3-695-1	株式会社マエノ	平成15年9月19日
187	大和田家貸店舗	石岡市国府3-3-24	個人	平成15年9月19日
188	十七屋履物店店舗兼住宅	石岡市国府3-4-22	個人	平成15年9月19日
189	平松理容店店舗兼住宅	石岡市府中2-7-20	個人	平成16年7月23日
190	久松商店店舗兼住宅	石岡市国府3-4-21	個人	平成16年7月23日
191	府中誉主屋	石岡市国府5-9-32	府中誉株式会社	平成16年7月23日

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
192	府中誉長屋門	石岡市国府5-9-32	府中誉株式会社	平成16年7月23日
193	府中誉文庫蔵	〃	〃	〃
194	府中誉穀蔵	〃	〃	〃
195	すがや化粧品店店舗兼住宅	石岡市国府3-5-1	個 人	平成17年11月10日
196	府中誉仕込蔵	石岡市国府5-9-32	府中誉株式会社	平成17年11月10日
197	府中誉釜場	〃	〃	〃
198	府中誉春屋	〃	〃	〃
199	大場家住宅主屋	石岡市佐久258-2	個 人	平成17年12月26日
200	栗山呉服店店舗兼住宅	石岡市国府3-4-25	個 人	平成18年3月2日
201	坂入家住宅主屋	石岡市辻字山下179	個 人	平成22年4月28日
202	旧小野瀬家住宅店舗	龍ヶ崎市4252	有限会社東洋不動産	平成16年2月17日
203	旧小野瀬家住宅主屋	〃	〃	〃
204	旧諸岡家住宅煉瓦門及び塀	龍ヶ崎市上町4274-1	龍ヶ崎市	平成30年5月10日
205	旧岡田小学校女化分校校舎	牛久市女化町391-1	牛久市	平成30年5月10日
206	宮本家住宅店蔵	つくば市北条188	個 人	平成15年7月1日
207	宮本家住宅居室	〃	〃	〃
208	宮本家住宅離れ	〃	〃	〃
209	宮本家住宅炊事場	〃	〃	〃
210	宮本家住宅門	〃	〃	〃
211	宮本家住宅炭・味噌小屋及び車庫	〃	〃	〃
212	宮本家住宅新蔵	〃	〃	〃
213	宮本家住宅大蔵	〃	〃	〃
214	沼尻家住宅主屋	つくば市金田38-1	個 人	平成17年7月12日
215	沼尻家住宅米蔵	〃	〃	〃
216	沼尻家住宅蔵	〃	〃	〃
217	沼尻家住宅長屋	〃	〃	〃
218	旧矢中家住宅主屋	つくば市北条字古城94-1他	個 人	平成23年7月25日
219	旧矢中家住宅離れ	〃	〃	〃
220	旧矢中家住宅石蔵及び石塀	〃	〃	〃
221	旧矢中家住宅擁壁及び横井戸	〃	〃	〃
222	旧田村呉服店ミセ蔵兼主屋	つくば市北条字日向39-1	個 人	平成27年11月17日
223	旧田村呉服店店蔵	〃	〃	〃
224	旧田村呉服店穀蔵及び浴室	〃	〃	〃
225	旧田村呉服店炊事場	〃	〃	〃
226	旧常陸北条郵便局	つくば市北条字中町裏183-3	個 人	平成27年11月17日
227	旧根本家住宅主屋	つくば市吉瀬字清水1680	個 人	平成27年11月17日
228	旧根本家住宅長屋門	〃	〃	〃
229	旧植竹庄兵衛家住宅洋館	稲敷市江戸崎字大日久保甲2354	個 人	平成19年10月2日
230	旧植竹庄兵衛家住宅和館	〃	〃	〃

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
231	旧植竹庄兵衛家住宅土蔵	稲敷市江戸崎大日久保甲2354	個 人	平成19年10月 2 日
232	鈴木家住宅養蚕小屋	かすみがうら市加茂2291-13	個 人	平成15年 9 月19日
233	小澤家住宅主屋	美浦村大字大谷字向1620	個 人	平成21年 1 月 8 日
234	小澤家住宅米蔵	〃	〃	〃
235	小澤家住宅表門	〃	〃	〃
236	篆刻美術館表蔵棟（旧平野家表蔵棟）	古河市中心街2-4-18	古河市	平成10年10月 9 日
237	篆刻美術館裏蔵棟（旧平野家裏蔵棟）	〃	〃	〃
238	坂長本店店蔵	古河市中心街3-5742・5743他	古河市	平成12年 9 月26日
239	坂長本店袖蔵	古河市中心街3-5742・5743他	古河市	平成12年 9 月26日
240	坂長本店主屋	〃	〃	〃
241	坂長本店文庫蔵	〃	〃	〃
242	坂長本店中蔵	〃	〃	〃
243	坂長本店石蔵	〃	〃	〃
244	亀屋商事（旧飯島家住宅）本館	古河市雷電町1-78	亀屋商事株式会社	平成16年 6 月 9 日
245	亀屋商事（旧飯島家住宅）本館土蔵	〃	〃	〃
246	亀屋商事（旧飯島家住宅）本館旧食堂及び旧浴室	〃	〃	〃
247	亀屋商事（旧飯島家住宅）煉瓦倉庫	古河市東1-15-11	〃	〃
248	武蔵屋店舗	古河市横山町1-5535-2	株式会社武蔵屋	平成25年 6 月21日
249	荒川家住宅主屋	筑西市甲868	個 人	平成11年 8 月23日
250	荒川家住宅店蔵	〃	〃	〃
251	荒川家住宅付属屋	〃	〃	〃
252	荒川家住宅内蔵	〃	〃	〃
253	荒川家住宅石蔵	〃	〃	〃
254	一木歯科医院	筑西市甲12	個 人	平成11年 8 月23日
255	荒川家住宅主屋	筑西市字田町甲929-1他	個 人	平成23年 7 月25日
256	荒川家住宅旧店蔵	〃	〃	〃
257	荒川家住宅旧土蔵	〃	〃	〃
258	旧尾見家住宅主屋	筑西市村田字下町1624	個 人	平成28年11月29日
259	旧尾見家住宅神輿蔵	〃	〃	〃
260	旧尾見家住宅薬医門	〃	〃	〃
261	江連用水旧溝宮裏両樋	下妻市本宗道	下妻市	平成27年 3 月26日
262	結城酒造株式会社安政蔵	結城市大字結城1589	個 人	平成12年 4 月28日
263	結城酒造株式会社新蔵	〃	〃	〃
264	結城酒造株式会社煉瓦煙突	〃	〃	〃
265	奥順見世蔵	結城市大字結城字大町9-2	個 人	平成17年 2 月 9 日
266	奥順店舗	結城市大字結城字大町9-2, 12-2	〃	〃
267	奥順離れ	〃	〃	〃
268	奥順土蔵	結城市大字結城字大町9-2, 字西の宮町1336-2	〃	〃
269	結真袖見世蔵	結城市大字結城字大町68-1	個 人	平成17年 2 月 9 日

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
270	結真紬主屋	結城市大字結城字大町68-1	個 人	平成17年2月9日
271	小西見世蔵	結城市大字結城字浦町114	個 人	平成17年2月9日
272	赤荻本店見世蔵	結城市大字結城字浦町122	個 人	平成17年2月9日
273	秋葉糰味噌醸造見世蔵	結城市大字結城字浦町174-1	個 人	平成17年2月9日
274	鈴木紡績見世蔵	結城市大字結城字西の宮町1355	個 人	平成17年2月9日
275	鈴木紡績主屋	〃	〃	〃
276	中澤商店見世蔵及び主屋	結城市大字結城字穀町1538	個 人	平成17年2月9日
277	旧黒川米穀店店舗	結城市大字結城字西の宮町1319-2	個 人	平成18年10月18日
278	キヌヤ菓舗店舗	結城市大字結城字大町9	個 人	平成18年10月18日
279	奥順壺の蔵	結城市大字結城大町82	奥順株式会社	平成18年10月18日
280	小倉商店店舗兼主屋	結城市大字結城字浦町116	個 人	平成20年3月7日
281	奥庄店舗兼主屋	結城市大字結城字大町24他	個 人	平成21年1月8日
282	保坂家住宅主屋	結城市大字結城字浦町135他	個 人	平成23年7月25日
283	保坂家住宅土蔵	〃	〃	〃
284	武勇見世蔵	結城市大字結城字浦町144	個 人	平成23年7月25日
285	武勇脇蔵	〃	〃	〃
286	武勇製品蔵	〃	〃	〃
287	武勇仕込蔵	〃	〃	〃
288	武勇旧釜蔵	〃	〃	〃
289	武勇煙突	〃	〃	〃
290	鈴木新平商店見世蔵	結城市大字結城字浦町109-1	個 人	平成26年12月19日
291	鈴木新平商店文庫蔵	〃	〃	〃
292	鈴木新平商店座敷棟	〃	〃	〃
293	二水会館（旧水海道町役場）	常総市水海道天満町1606	常総市	平成9年12月12日
294	五木宗レンガ蔵	常総市水海道元町3421-1	個 人	平成12年4月28日
295	武道館（旧水海道小学校雨天体操場兼講堂）	常総市水海道栄町2680-1	常総市	平成15年7月1日
296	旧大塚酒造店舗兼主屋	坂東市岩井3351-2	坂東市	平成29年5月2日
297	旧大塚酒造本蔵	〃	〃	〃

イ 国登録有形民俗文化財

	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
1	常陸大宮及び周辺地域の和紙生産用具と製品	常陸大宮市	常陸大宮市	平成25年3月12日
2	常陸大子のコンニャク栽培用具及び加工用具	大子町	大子町	平成26年2月24日

ウ 国登録記念物

	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
1	岡倉天心旧宅・庭園及び大五浦・小五浦	北茨城市大津町	国立大学法人茨城大学・国土交通省	平成26年3月18日

4 市町村別指定文化財数

市町村名	指定別	建造	絵画	彫刻	工芸	書跡	典籍	古文	考資	歴資	無形	有民	無民	史跡	名勝	天然	合計
水戸市	国	5		1	2				1	1				6	1	1	18
	県	6	14	9	24	4			4	2			3	3			69*
	市	13	8	13	20		2	1	10	10	4		4	12		8	105
笠間市	国	3		4												1	8
	県	2	1	9	3	3				1				1		2	22
	市	10	12	37	9	1	1	2	5	4		1	3	17		18	120
ひたちなか市	国													2			2
	県	1			5	1			3					2		3	15
	市	4			4				10	2	2	2	8	11	3	7	53
那珂市	国		3						1								4
	県	1	5	8	3	3				1				1		4	26
	市	2	3	8	6	1		1	12	1			2	4		16	56
常陸大宮市	国								1					1			2
	県	1		4	1				1	1	1	2				3	14
	市	10	5	21	8		1	4	5	6		4	9	14		17	104
茨城町	国			1										1		1	3
	県	1	1	2											2		6
	町	1		12	1			1	7			1	3	10		4	40
小美玉市	国																0
	県	1	3	1	1	1											7
	市	6	3	11	4	3		2	2	3		1	6	15		9	65
城里町	国			2													2
	県			3	2						1			2			8
	町	4	3	10	4	3					1	1	2	12	1	5	46
大洗町	国													1			1
	県	1	2	6	5	2			1							1	18
	町	2	3	2				2							1	1	11
東海村	国																0
	県		1						1					1			3
	村			6					5	1		4		4		7	27
大子町	国														1		1
	県			1									1		1	3	6
	町	2	1	3					1		2	2	1	4		6	22
日立市	国											1	1	1		1	4
	県	1	1	6	2	1			1	2		1	1	5		3	24*
	市	4	1	4	5	1			3	4		5	2	8	2	5	44
常陸太田市	国	2		2										2	1		7
	県	3	7	10	2	3							3	4		9	41
	市	5	12	11	16	2			8	4	1	2	2	12		18	93
高萩市	国	1								1						1	3*
	県	1	1							1						3	6
	市		1	1	1			2	1	5			2	7		3	23
北茨城市	国	1											1				2*
	県			3					1				1	1	1	3	10
	市	2	2	15					2				2	5		1	29
鹿嶋市	国	4			2									1		1	8
	県		1	4	9			1			1					1	17
	市	14	7	10	2			4	5			1	3	10		3	59
潮来市	国				1												1
	県	7	3	5	5							1	4	2		3	30
	市	9	5	9	7	11		3	4	4		4	4	10		20	90
鉾田市	国		1	1													2
	県	3	1	2		1										2	9
	市	11		11	1	1			4					5	1	18	52
神栖市	国	1															1
	県			2												2	4
	市	1	3	9		1	2						5	1		2	24

市町村名	指定別	建造	絵画	彫刻	工芸	書跡	典籍	古文	考資	歴資	無形	有民	無民	史跡	名勝	天然	合計
行方市	国	2															2
	県	5		4	1			1								2	13
	市	10	1	23	2	1			2	2		1	5	6		17	70
土浦市	国	1	1	1	7				1					1			12
	県	3	4	9	14	3			4	1			3	3		2	46
	市	15	11	42	55	5		6	15	12		7	6	41	2	5	222
石岡市	国	1							1					6			8
	県	2	2	4	7	3		2	4	1		1	5	4		2	37
	市	6	5	18	7	4		3	8	1		6	6	10	2	5	81
龍ヶ崎市	国	1	1														2
	県				1				1				1	1		1	5
	市	1		3	1			1	1	4			1	3		4	19
取手市	国	1															1
	県	3												2		1	6
	市	2		1	1									2			6
牛久市	国	1															1
	県	1		2	2												5
	市	1	3	3	7				2	1				8		2	27
つくば市	国	1			2									3			6
	県	8	5	2	7	2			1					2		2	29
	市	8	16	23	7				6				8	6		9	83
守谷市	国																0
	県			1													1
	市	1	1	4	2			5	1				1	2		3	20
稲敷市	国	2												1			3
	県	4	1	5	2	1		2				1		2			18
	市	5	6	27	6	1		6	3	2			6	7		1	70
かすみがうら市	国	1															1
	県	2	2	10	6				2					5	1	1	29
	市	6	1	12	10				1			5	3	22		2	62
美浦村	国													1			1
	県			2	1				1								4
	村		1	10	7									4			22
阿見町	国																0
	県			2												1	3
	町	1		4				1	2				2	7		4	21
河内町	国																0
	県			1													1
	町	5	2	21	2			1				1		3		4	39
つくばみらい市	国			1	1								1				3
	県	3		2									1	2			8
	市			6					1	1				1			9
利根町	国				1												1
	県												1				1
	町	4	8	7	3			1	2					6			31
古河市	国	1								1							2
	県	1	2	4	2					1			2	2		2	16
	市	6	9	12	5	2	2	28	10	14		9	4	25		7	133
筑西市	国	1		1							1			4			7
	県	2	7	4	5				1				1	4			24
	市	21	15	19	12	3			8	2		6	4	19		7	116
結城市	国										1			1			2
	県		5	2	5	1		1			1		1	2			18
	市	13	5	17	7		1	7	7				5	27		1	90
下妻市	国	1												1			2
	県			5	2			1	1					1			10
	市	2	3	3				5	3	1			4	6		4	31

市町村名	指定別	建造	絵画	彫刻	工芸	書跡	典籍	古文	考資	歴資	無形	有民	無民	史跡	名勝	天然	合計
常総市	国	1															1
	県		4	2	1								1	1			9
	市	11	6	6	3	1			5		3		6	4		8	53
坂東市	国		1														1
	県	3	2	5	3	1							2	1		1	18
	市	6	4	25					12	4			1			10	62
桜川市	国	1		1	1									2	1	1	7*
	県	11	6	19	5	4		1	1	1				2		1	51
	市	12		28	1			1	7	6		2	3	4		7	71
八千代町	国																0
	県	1		2													3
	町	5	5	10	2	1		4	7					7			41
五霞町	国																0
	県					1								1			2
	町	1			1	5											7
境町	国																0
	県		1		1								1				3
	町		445	3	4	9	1	3	2			19	1	2			489
その他	国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1*

市町村指定文化財数	建造	絵画	彫刻	工芸	書跡	典籍	古文	考資	歴資	無形	有民	無民	史跡	名勝	天然	合計
	242	616	520	233	56	10	94	189	94	13	84	124	383	12	268	2938

(令和4年3月1日現在)

(注) *について

- ・国指定重要文化財（建造物）「石岡第一発電所施設」は、高萩市と北茨城市にまたがる指定であるので、それぞれの市の欄に重複して記載し、*を付した。
- ・国指定史跡「新治廃寺跡」は、桜川市と筑西市にまたがる指定であるので、それぞれの市の欄に重複して記載し、*を付した。
- ・国指定史跡「大宝城跡」は、下妻市と筑西市にまたがる指定であるので、それぞれの市の欄に重複して記載し、*を付した。
- ・県指定有形文化財（歴史資料）「訂正常陸国風土記版木」は、20枚のうち19枚が日立市に、20枚のうち1枚が水戸市に所在するので、それぞれの市の欄に重複して記載し、*を付した。
- ・国指定天然記念物「軍鶏（シャモ）」は、東京都・茨城県・秋田県・高知県・千葉県・青森県を主たる棲息地とするので、市町村名を「その他」として記載し、*を付した。

令和3年度新規指定（解除）市町村指定文化財一覧

<新規指定>

市町村名	種別	名称	数量	所在地	所有者	指定年月日
稲敷市	絵画	絹本著色 慈眼大師真影及び自筆賛	1幅	稲敷市江戸崎甲2617	不動院	令和3年3月23日
稲敷市	書跡	紙本墨書 東照宮寶號	1幅	稲敷市江戸崎甲2617	不動院	令和3年3月23日
桜川市	建造物	高久神社本殿	1棟	桜川市高久770	宗教法人 高久神社	令和3年3月29日
大洗町	絵画	偕楽園図	1幅	大洗町磯浜町8231-4 (大洗町幕末と明治の博物館)	大洗町	令和3年9月24日
大洗町	絵画	好文亭四季模様之図	1幅	大洗町磯浜町8231-4 (大洗町幕末と明治の博物館)	大洗町	令和3年9月24日
石岡市	無形民俗文化財	常陸國總社宮祭礼の獅子・山車・ささら行事	—	石岡市総社2-8-1	常陸國總社宮 例大祭文化財 指定協議会	令和3年10月20日
稲敷市	無形民俗文化財	江戸崎祇園祭	—	稲敷市江戸崎甲3180	江戸崎祇園祭 保存会	令和3年12月28日
結城市	史跡	城の内遺跡	—	結城市結城8718-1、8718-2	結城市	令和4年2月1日
結城市	古文書	多賀谷季雄家文書	5点	結城市結城196-1	結城市教育 委員会	令和4年2月1日
水戸市	工芸品	六角宝幢形経筒	1点	水戸市六反田町767	六地藏寺	令和4年2月10日
水戸市	考古資料	水戸城二の丸角櫓跡出土鬼瓦	1点	水戸市塩崎町1064-1	水戸市	令和4年2月10日
坂東市	絵画	厨子入木造如意輪観音坐像	1躯	坂東市生子1617	宗教法人 萬蔵院	令和4年3月1日
坂東市	彫刻	釈迦三尊像	3幅	坂東市生子1617	宗教法人 萬蔵院	令和4年3月1日
坂東市	歴史資料	明治天皇紀附図稿本	4巻	坂東市生子1617	宗教法人 萬蔵院	令和4年3月1日
坂東市	歴史資料	茶顛中山翁製茶紀功碑	1基	坂東市辺田558-4	個人	令和4年3月1日

<指定解除>

市町村名	種別	名称	数量	所在地	所有者	解除年月日
筑西市	天然記念物	八幡台大榎	1株	筑西市一本松857	筑西市	令和3年4月15日
桜川市	歴史資料	聖護院道興筆天神名号	1幅	桜川市真壁町東山田1547	個人	令和3年12月27日
稲敷市	古文書	岡澤九郎兵衛家文書 附 鍛冶相伝書 呪符	8点	稲敷市福田1444	個人	令和3年12月27日

5 令和3年度茨城県埋蔵文化財 センター事業概要

1 設置目的

茨城県埋蔵文化財センター「いせきびあ茨城」(以下「埋蔵文化財センター」という。)は、(公財)茨城県教育財団が発掘調査及び整理・研究を行った出土遺物等を収蔵・保管及び管理し、さらに活用して県民への埋蔵文化財の保護と普及啓発を行い、文化財保護行政を担う人材の育成を図る。

なお、埋蔵文化財センター内には、茨城県教育財団整理センターが所在しており、国・県等の開発事業に係る発掘調査で得られた出土遺物等の整理・研究及び報告書刊行を行っている。

2 基本方針

(1) 整理・記録・研究

所蔵資料類の整理・記録・研究報告等を実施する機能を有すること。

(2) 収蔵・保管・管理

出土遺物及び調査記録等の収蔵・保管及び文化財関係図書の整備を行い、資料及び情報等を適切に保管・管理し、活用できる機能を有すること。

(3) 普及・啓発・研修

学校教育や生涯学習との連携を図り、出土遺物等の展示・公開、閲覧・貸出、埋蔵文化財情報の収集・提供、文化財関係図書の閲覧等の普及啓発活動を行う機能を有すること。併せて、市町村文化財担当職員や教職員等に対する研修機能を有すること。

(4) その他

駐車場等、埋蔵文化財センターの利用及び運営に必要な便益的機能を有すること。

3 令和3年度事業概要

(1) 遺物の保存・活用事業

① 収蔵・保管状況(令和3年12月末現在) ※遺物は発掘調査報告書ごとに収蔵・保管

報告書番号	報告書名	所在地	刊行年月
第405集	清水古墳群 神屋遺跡 神屋南遺跡	稲敷市	平成28年3月
第406集	高須賀堂ノ前遺跡 高須賀道城入遺跡	つくば市	平成28年3月
第407集	東田中遺跡 中津川遺跡2	石岡市	平成28年3月
第408集	並松遺跡2	城里町	平成28年3月
第409集	取手宿跡2	取手市	平成28年3月
第411集	仁江戸古墳群	八千代町	平成28年3月
第412集	宮後東原遺跡	筑西市	平成28年3月
第413集	明石遺跡2	つくば市	平成28年3月
第416集	挨倉遺跡 挨倉西遺跡 鐘打東遺跡	坂東市	平成29年3月
第420集	殿畠遺跡	小美玉市	平成29年3月
第425集	東大橋逆井遺跡	石岡市	平成30年3月
第426集	清水原山遺跡	潮来市	平成30年3月
第427集	築地遺跡 宮原前遺跡2	常総市	平成30年3月
第428集	山王中坪遺跡	五霞町	平成30年3月
第429集	柴崎大堀遺跡 柴崎大日塚	つくば市	平成30年3月
第430集	見川塚畑遺跡	水戸市	平成30年3月
第431集	島名熊の山遺跡(14区)	つくば市	平成30年3月
第432集	島名熊の山遺跡(13/14区)	つくば市	平成30年3月
第434集	東田中遺跡	石岡市	平成31年3月

報告書番号	報告書名	所在地	刊行年月
第 435 集	九重東岡廃寺 金田西遺跡	つくば市	平成 31 年 3 月
第 436 集	瑞龍遺跡	常陸太田市	平成 31 年 3 月
第 437 集	島名熊の山遺跡(12 区 A・D 区)	つくば市	平成 31 年 3 月
第 438 集	島名中代遺跡	つくば市	平成 31 年 3 月
第 439 集	島名前野東遺跡	つくば市	令和 2 年 3 月
第 440 集	須賀下東遺跡	銚田市	令和 2 年 3 月
第 443 集	金田西坪 B 遺跡	つくば市	令和 2 年 3 月
第 445 集	中道遺跡	大子町	令和 2 年 3 月
第 446 集	下河原崎高山古墳群 2	つくば市	令和 2 年 3 月
第 447 集	与曾内遺跡	龍ヶ崎市	令和 2 年 3 月
第 448 集	熊ノ平古墳群 一本椎遺跡	行方市、潮来市	令和 3 年 3 月
第 449 集	金田西坪 B 遺跡 2	つくば市	令和 3 年 3 月
第 450 集	上境滝の台古墳群 上境作ノ内遺跡 2 上境作ノ内古墳群	つくば市	令和 3 年 3 月
第 451 集	館野遺跡 並木新田台北遺跡	小美玉市	令和 3 年 3 月
第 452 集	下大賀遺跡 2	那珂市	令和 3 年 3 月
第 453 集	大高台遺跡 北久保 B 遺跡	高萩市	令和 3 年 3 月
第 454 集	島名本田遺跡	つくば市	令和 3 年 3 月
第 455 集	米田水塚群第 1 号塚	取手市	令和 3 年 3 月
第 456 集	牛頭座南遺跡	阿見町	令和 3 年 3 月

※ 発掘調査報告書：茨城県教育財団が行った発掘調査の成果をまとめた冊子

② 活用状況

ア 展示室の構成変更

茨城県内の旧石器時代から近世までの歴史の流れに沿った発掘調査出土資料の展示と、前年度に整理作業が終了した遺跡の最新の成果を紹介

イ 保管資料の利活用

茨城県内小中学校等を対象にした出前授業における展示、実物（縄文土器・弥生土器・石器・土偶）の観察や触れる体験活動のための教材として利活用

ウ 保存資料の貸出等

「発掘された日本列島 2021」展への資料（下河原崎高山古墳群出土遺物）貸出、県内市町村教育委員会および個人研究者向けの保管資料の閲覧対応



遺物保管庫



資料貸出（「発掘された日本列島 2021」展への搬出）

(2) 普及事業

① わくわく体験教室

月	日	テーマ	人	月	日	テーマ	人
5	16	古墳たんけんをしよう	32	10	17	縄文土器をつくろうⅠ	18
7	4	貝塚のひみつをしらべよう	27	11	7	縄文土器をつくろうⅡ	17
8	8	「おどるハニワ」をつくろう	44	12	5	勾玉や管玉でネックレスをつくろう	25
計							163

② 出前授業・出前体験（令和3年12月末現在）

月	日	事業所名	人	月	日	事業所名	人
4	28	古河市立上大野小（6年）	18	7	13	龍ヶ崎市立龍ヶ崎西小（6年）	37
6	3	水戸市立梅が丘小（6年）	139	7	15	那珂市立横堀小（6年）	29
6	7	水戸市立梅が丘小（6年）	139	7	16	県立日立第一高等学校附属中（1年）	80
6	11	桜川市立羽黒小（6年）	44	7	21	NPO法人笠間学童保育の会	26
6	14	結城市立上山川小（6年）	24	7	28	(福)克仁改恵苑学童めぐみクラブ	23
6	17	石岡市立北小（6年）	5	7	29	水戸市笠原市民センター	8
6	18	桜川市立羽黒小（6年）	40	8	1	北茨城市歴史民俗資料館	36
6	22	八千代町立西豊田小（6年）	47	10	26	高萩市立松岡小（5年）	58
6	23	阿見町立阿見小（6年）	87	11	10	水戸市立三の丸小（4・5年）	148
6	25	八千代町立川西小（6年）	20	12	14	坂東市立神大実小（6年）	33
計							1,041

③ 施設見学・体験活動（令和3年12月末現在）

ア 団体

月	日	事業所名	人	月	日	事業所名	人
5	28	城里町立常北小（6年）	22	10	8	那珂市立瓜連小（4年）	57
6	11	那珂市立菅谷西小（6年）	71	11	21	日立市諏訪学区コミュニティ推進会	22
7	6	那珂市立額田小（6年）	25	12	2	城里町立石塚小（4年）	61
7	9	城里町立沢山小（6年）	14	12	8	結城市立城西小（5年）	35
7	26	学童デイサービスよつば水戸校	15	計			322

イ 個人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計(人)
人数	78	71	46	43	27	9	63	25	13	375



わくわく体験教室「古墳たんけんをしよう」



出前授業

④ 広報活動

広 報 資 料	主な配布対象等
わくわく体験教室ポスター	茨城県内の小中学校、教育文化施設ほか
施設パンフレット	
埋蔵文化財センターPRクリアファイル	来館者ほか
茨城県教育委員会ホームページでの事業実績掲載	インターネットによる情報提供

⑤ 城里町との連携事業

令和3年度は新型コロナウイルス感染防止のため中止

(3) 発掘調査整理事業（公益財団法人茨城県教育財団）

国土交通省、県、UR都市機構からの委託を受け10遺跡を整理し、6冊の発掘調査報告書を刊行予定

4 沿革

- 平成28年1月 要項策定、展示・収蔵計画等作成
- 平成28年1月 埋蔵文化財センターの愛称を「いせきびあ茨城」に決定
- 平成28年4月 開設、茨城県教育財団において整理業務開始
- 平成28年4月1日 茨城県埋蔵文化財センター設置要項施行
- 平成28年6月3日 茨城県埋蔵文化財センターの運営について、城里町・教育財団・県教委で三者協定書締結
- 平成28年7月26日 開館記念式典を実施、同日より公開開始
- 平成28年9月12日 茨城県埋蔵文化財センター運営協議会要項制定
- 平成29年4月1日 茨城県埋蔵文化財センター設置要項一部改正 ※ 日曜日の開館を開始

5 所在地

〒311-4325 茨城県東茨城郡城里町北方1481番地（旧城里町立北方小学校敷地）

電 話 029-289-3300 F A X 029-289-4545

（公財）茨城県教育財団 埋蔵文化財整理センター

電 話 029-289-2002 F A X 029-289-2008

6 利用時間

開館時間 9：00～17：00（入館は16：30まで）

休 館 日 毎週土曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日

年末・年始（12／29～1／3）

6 令和2年度茨城県遺跡発掘調査報告



坊主山古墳 後円部調査状況（大洗町）〔提供 大洗町教育委員会〕



阿波寄合窯跡 第1号窯跡完掘状況（稲敷市）〔提供（公財）茨城県教育財団〕



下河原崎谷中台遺跡 石器出土状況（つくば市）〔提供（公財）茨城県教育財団〕



中津川遺跡 灰釉陶器（蔵骨器）出土状況（石岡市）〔提供（公財）茨城県教育財団〕

1 発掘調査の概要

本概要は、令和2年度に県内で実施された発掘調査（保存目的の発掘調査、遺構範囲確認調査及び学術調査）81件について、当該の市担当部局、市町村教育委員会及び公益財団法人茨城県教育財団等の調査担当者から提供された原稿をもとにまとめたものである。以下、注目される発掘調査について概観する。

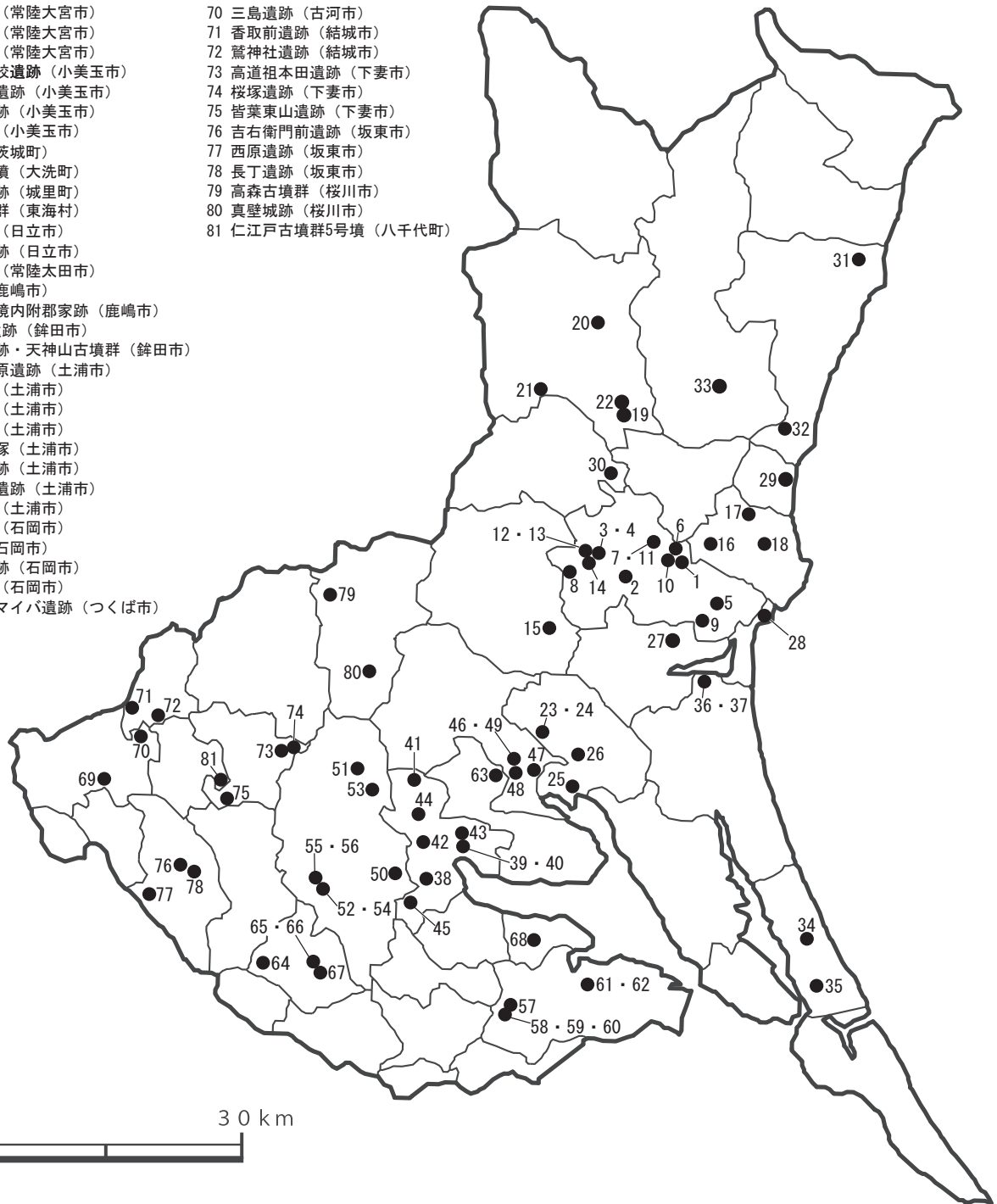
55下河原崎谷中台遺跡（つくば市）では、多数の旧石器が出土し、広範囲から複数の石器製作跡が確認されている。**28**坊主山古墳（第3次）（大洗町）は、国指定史跡磯浜古墳群の追加指定を目指した調査が行われた。**11**台渡里廃寺跡（台渡里第199次）（水戸市）の講堂跡調査は、基壇及び掘込総地業の規模や造営年代を知る重要な資料になると考えられる。また、**35**鹿島神宮境内附郡家跡（鹿嶋市）の厨家相当施設調査で確認された4軒の掘立柱建物跡は、厨家域の建物変遷を窺い知る資料になると考えられる。**63**姥久保遺跡（かすみがうら市）の調査では、仏教関連の遺物をはじめ人面墨書土器、東海系須恵器壺、南関東系土師器甕、刀装具、馬具など出土し大変注目される。**18**向野A遺跡（第6次）（ひたちなか市）の調査は、令和元年度に調査した古道（鎌倉街道）の溝の延長と見られる側溝が確認されている。令和3年度も調査が行われているため、調査報告が期待される。**33**太田城跡（第2次）（常陸太田市）で確認された堀跡5条の中で、最大の第2号堀跡B（薬研堀）が大変興味深い。堀の形状及び規模から戦国大名佐竹氏居城の土木工事を知ることができると考えられる。**80**真壁城跡（桜川市）の中城地区の城郭庭園の調査では、池跡や通路、土塁などが確認され、庭園エリア及び庭園遺構の配置等を知る貴重な成果が報告されている。**1**水戸城跡（第88次）（水戸市）の調査場所は、水戸藩家臣朝比奈弥太郎武家屋敷に比定される場所であり、近世面の調査で確認された礎石列や掘立柱建物跡などは、建物配置等を窺う資料になるものと思われる。

さらに、**20**中台遺跡（常陸大宮市）、**39**王塚古墳・**40**后塚古墳（第3次）・**41**小野窯跡・**42**下坂田貝塚（土浦市）で学術調査、**46**外城遺跡（第3次）（石岡市）、**81**仁江戸古墳群5号墳（第1次）（八千代町）で保存目的の確認調査が行われ、調査成果が報告されている。

2 発掘調査遺跡の主な種別と時代

市町村名	番号	遺跡名	種別	調査地の主な時代							
				旧石	縄文	弥生	古墳	奈平	近世		
水戸市	1	水戸城跡(第88次)	城館跡						●	●	
	2	环遺跡(第36地点第2次)	集落跡	●				●	●		
	3	松原遺跡(第10地点第2次)	集落跡					●	●		
	4	仲坪遺跡(第7地点第3次)	集落跡					●	●		
	5	小原遺跡(第45地点第2次)	集落跡					●			
	6	柳河町遺跡(第7地点第2次)	集落跡					●	●	●	
	7	台渡里官衙遺跡(台渡里第197次)	官衙跡					●			
	8	三湯館跡(第3地点第2次)	城館跡					●	●		
	9	小中根遺跡(第6地点第2次)	集落跡	●				●			
	10	釜神町遺跡(第2地点第8次)	集落跡			●			●		
	11	台渡里廃寺跡(台渡里第199次)	寺院跡					●	●		
	12	寺内遺跡	集落跡					●			
	13	大城遺跡	集落跡	●				●			
	14	舟塚古墳群	狩猟場、墓域	●				●			
笠間市	15	住吉遺跡(2020-01地点)	集落跡	●	●	●					
ひたちなか市	16	堀口遺跡(第3-4次)	集落跡	●	●	●					
	17	高野富士山遺跡(第1-4次)	集落跡	●	●	●					
	18	向野A遺跡(第6次)	集落跡	●	●	●	●	●	●		
常陸大宮市	19	後三ヶ尻A遺跡	集落跡				●				
	20	中台遺跡	再葬墓、集落跡		●		●				
	21	内原遺跡	集落跡	●		●		●			
小美玉市	22	石沢館跡	城館跡					●			
	23	竹原小学校遺跡(第3次)	集落跡			●	●				
	24	竹原天神遺跡	集落跡			●					
	25	城之内館跡	城館跡					●			
茨城町	26	葛山遺跡	城館跡					●			
	27	向遺跡	包蔵地、集落跡						●	●	
大洗町	28	坊主山古墳(第3次)	古墳			●					
城里町	29	那珂西遺跡	集落跡			●	●				
東海村	30	白方古墳群	古墳、城館跡			●		●			
日立市	31	山尾城跡(第2次)	城跡					●			
	32	原の内遺跡	集落跡、貝塚	●		●					
常陸太田市	33	太田城跡(第2次)	城館跡					●	●		
鹿嶋市	34	林城跡	集落跡、城館跡	●		●	●				
	35	鹿島神宮境内附郡家跡	官衙跡、集落跡			●	●				
鉾田市	36	天神道B遺跡	集落跡			●	●	●			
	37	大谷川遺跡・天神山古墳群	集落跡、古墳			●					
土浦市	38	中高津西原遺跡(第2次)	集落跡			●					
	39	王塚古墳	古墳			●					
	40	后塚古墳(第3次)	古墳			●					
	41	小野窯跡	窯跡				●				
土浦市	42	下坂田貝塚	古墳					●			
	43	前神田遺跡	集落跡						●		
	44	大畑本田遺跡	集落跡	●							
	45	白葉南塚	塚							●	
	石岡市	46	外城遺跡(第3次)	城館跡					●	●	
		47	前原塚	塚							●
		48	中津川遺跡	集落跡、墓域	●				●		
	つくば市	49	田崎遺跡	集落跡					●		
		50	上ノ室ハマイバ遺跡(第14次)	集落跡ほか			●	●	●	●	●
		51	北条中台遺跡	集落跡ほか	●	●	●	●	●	●	●
		52	島名境松遺跡	集落跡ほか	●	●	●				
53		小田城跡(第82次)	城館跡							●	
54		島名本田遺跡	集落跡					●	●	●	
55		下河原崎谷中台遺跡	包蔵地、集落跡	●	●		●				
56		元中北東藤四郎遺跡	集落跡					●			
稲敷市		57	大日峯遺跡	集落跡			●	●	●		
		58	高ノ山遺跡(2区)	集落跡			●	●		●	●
		59	長者山古墳群	古墳群					●		
かすみがうら市	60	山王原南遺跡	包蔵地	●	●	●	●				
	61	阿波寄合窯跡	生産遺跡(窯跡)					●			
	62	西久保遺跡	集落跡、古墳			●		●			
	63	姥久保遺跡	集落跡			●	●				
つくばみらい市	64	米ノ城遺跡	包蔵地			●	●		●		
	65	中島山遺跡	集落跡			●	●		●	●	
	66	鎌田遺跡	集落跡			●	●		●	●	
美浦村	67	上街道東遺跡	集落跡	●	●			●	●	●	
	68	野中東遺跡	集落跡	●		●					
古河市	69	東の門西の門城跡(第3次)	集落跡、城館跡			●	●	●	●		
	70	三島遺跡(第3次)	集落跡			●	●				
結城市	71	香取前遺跡	集落跡			●	●	●	●	●	
	72	鷲神社遺跡	古墳、集落跡	●	●	●	●				
下妻市	73	高道祖本田遺跡(第1地点)	集落跡					●			
	74	桜塚遺跡(第10地点)	集落跡			●					
	75	皆葉東山遺跡(第1地点)	集落跡			●	●				
坂東市	76	吉右衛門前遺跡	集落跡					●			
	77	西原遺跡	集落跡			●	●			●	
	78	長丁遺跡	集落跡			●			●	●	
桜川市	79	高森古墳群	古墳跡、集落跡、城館跡			●	●	●	●	●	
	80	真壁城跡	城館跡							●	
八千代町	81	仁江戸古墳群5号墳(第1次)	古墳					●			

- 1 水戸城跡 (水戸市)
- 2 坏遺跡 (水戸市)
- 3 松原遺跡 (水戸市)
- 4 仲坪遺跡 (水戸市)
- 5 小原遺跡 (水戸市)
- 6 柳河町遺跡 (水戸市)
- 7 台渡里官衙遺跡 (水戸市)
- 8 三湯館跡 (水戸市)
- 9 小仲根遺跡 (水戸市)
- 10 釜神町遺跡 (水戸市)
- 11 台渡里廃寺跡 (水戸市)
- 12 寺内遺跡 (水戸市)
- 13 大城遺跡 (水戸市)
- 14 舟塚古墳群 (水戸市)
- 15 住吉遺跡 (笠間市)
- 16 堀口遺跡 (ひたちなか市)
- 17 高野富士山遺跡 (ひたちなか市)
- 18 向野A遺跡 (ひたちなか市)
- 19 後三ヶ尻A遺跡 (常陸大宮市)
- 20 中台遺跡 (常陸大宮市)
- 21 内原遺跡 (常陸大宮市)
- 22 石沢館跡 (常陸大宮市)
- 23 竹原小学校遺跡 (小美玉市)
- 24 竹原天神遺跡 (小美玉市)
- 25 城之内館跡 (小美玉市)
- 26 鳥山遺跡 (小美玉市)
- 27 向遺跡 (茨城町)
- 28 坊主山古墳 (大洗町)
- 29 那珂西遺跡 (城里町)
- 30 白方古墳群 (東海村)
- 31 山尾城跡 (日立市)
- 32 原の内遺跡 (日立市)
- 33 太田城跡 (常陸太田市)
- 34 林城跡 (鹿嶋市)
- 35 鹿島神宮境内附郡家跡 (鹿嶋市)
- 36 天神道B遺跡 (鉾田市)
- 37 大谷川遺跡・天神山古墳群 (鉾田市)
- 38 中高津西原遺跡 (土浦市)
- 39 王塚古墳 (土浦市)
- 40 后塚古墳 (土浦市)
- 41 小野窯跡 (土浦市)
- 42 下坂田貝塚 (土浦市)
- 43 前神田遺跡 (土浦市)
- 44 大畑本田遺跡 (土浦市)
- 45 白楽南塚 (土浦市)
- 46 外城遺跡 (石岡市)
- 47 前原塚 (石岡市)
- 48 中津川遺跡 (石岡市)
- 49 田崎遺跡 (石岡市)
- 50 上ノ室ハマイバ遺跡 (つくば市)
- 51 北条中台遺跡 (つくば市)
- 52 島名境松遺跡 (つくば市)
- 53 小田城跡 (つくば市)
- 54 島名本田遺跡 (つくば市)
- 55 下河原崎谷中台遺跡 (つくば市)
- 56 元中北東藤四郎遺跡 (つくば市)
- 57 大日峯遺跡 (稲敷市)
- 58 高ノ山遺跡 (稲敷市)
- 59 長者山古墳群 (稲敷市)
- 60 山王原南遺跡 (稲敷市)
- 61 阿波寄合窯跡 (稲敷市)
- 62 西久保遺跡 (稲敷市)
- 63 姥久保遺跡 (かすみがうら市)
- 64 米ノ城遺跡 (つくばみらい市)
- 65 中島山遺跡 (つくばみらい市)
- 66 鎌田遺跡 (つくばみらい市)
- 67 上街道東遺跡 (つくばみらい市)
- 68 野中東遺跡 (美浦村)
- 69 東の門西の門城跡 (古河市)
- 70 三島遺跡 (古河市)
- 71 香取前遺跡 (結城市)
- 72 鷲神社遺跡 (結城市)
- 73 高道祖本田遺跡 (下妻市)
- 74 桜塚遺跡 (下妻市)
- 75 皆葉東山遺跡 (下妻市)
- 76 古右衛門前遺跡 (坂東市)
- 77 西原遺跡 (坂東市)
- 78 長丁遺跡 (坂東市)
- 79 高森古墳群 (桜川市)
- 80 真壁城跡 (桜川市)
- 81 仁江戸古墳群5号墳 (八千代町)



令和2年度 発掘調査遺跡分布図

1 ^{みとじょうあと} 水戸城跡 (第88次) 08201172

(近世～近代／城館跡)

所在地 水戸市三の丸三丁目21番1の一部
調査原因 共同住宅建設工事
調査年月日 令和2年1月14日～4月24日
調査面積 1,166㎡
調査主体 水戸市教育委員会
調査支援 関東文化財振興会株式会社
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 『水戸城跡(第88次)共同住宅建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』
令和3年7月30日 水戸市教育委員会

調査概要

那珂川右岸の標高約15～16mの台地縁辺部に立地する。今回の調査では、江戸時代から明治時代に移行する時期の変遷を、検出した遺構から類推できる有益な調査となった。本遺跡は、水戸藩家臣の朝比奈弥太郎武家屋敷に比定される位置にあたり、近世面においては、掘立柱建物跡4棟、柱列9条、礎石列1状、井戸跡1基、カワラケ集積遺構1基を検出した。また、幕末から明治期では、礎石建物跡1棟、土坑12基、溝1条、埋設遺構1基、井戸跡1基を検出した。

2 ^{あくついでせき} 坏遺跡 (第36地点第2次) 08201036

(縄文時代、奈良・平安時代～中・近世／集落跡)

所在地 水戸市河和田1丁目1640-1ほか
調査原因 クリニック建設
調査年月日 令和2年4月7日～28日
調査面積 246㎡
調査主体 水戸市教育委員会
調査支援 株式会社ラクロ
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 『坏遺跡(第36地点第2次)クリニック建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』令和2年12月28日 水戸市教育委員会

調査概要

那珂川水系桜川左岸の標高約30～38mの台地に立地する。今回の調査では、縄文時代の竪穴建物跡1棟、土坑3基、屋外炉1基、奈良・平安時代の溝跡1条、土坑1基、中・近世の井戸跡1基、土坑9基、ピット49基を検出した。このうち、縄文時代の土坑3基は、フラスコ状を呈しており、阿玉台Ⅱ式の土器が出土した。また、16世紀前葉から中葉に埋没したと推測される井戸跡からは、天目茶碗や内耳土鍋などが出土しており、近隣に位置する河和田城跡との関連がうかがわれる。

3 ^{まつばらいせき} 松原遺跡 (第10地点第2次) 08201220

(奈良・平安時代、近世／集落跡)

所在地 水戸市加倉井町字松山629番17
調査原因 個人住宅建築工事
調査年月日 令和2年4月14日～5月29日
調査面積 112.5㎡
調査主体 水戸市教育委員会
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

鶏足山塊南端部から延びる標高約43mの台地上に立地する。調査区の東西で遺構分布の様相が大きく異なり、東半部では8世紀前半から9世紀前半にかけての竪穴建物跡4棟が重複して検出できた。いずれの建物も軸線をほぼ同じくすることから、連続的に形成された可能性がある。調査区西半部では、近世の所産と考えられる方形土坑6基を検出した。異なる時代における土地利用の変遷が確認された事例となった。

4 ^{なかつばいせき} 仲坪遺跡 (第7地点第3次) 08201116

(奈良・平安時代、近世／集落跡)

所在地 水戸市加倉井町字後原1010番1
調査原因 個人住宅工事
調査年月日 令和2年6月2日～27日
調査面積 50㎡
調査主体 水戸市教育委員会
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

鶏足山塊南端部から延びる標高約43mの台地上に立地する。今般の調査では、8世紀後半に帰属する竪穴建物跡1棟、近世に帰属する掘立柱建物跡1棟及び方形土坑1基を検出した。竪穴建物跡は一辺約5.5mを測るもので、覆土中には弥生土器、土師器、須恵器、石器と幅広い年代の遺物が含まれている。掘立柱建物跡は桁行3間(一間約1.2m)以上の規模であり、近世の簡易的な掘立柱建物と捉えたが、柵列の可能性もある。方形土坑は西端部を検出したのみである。

5 こはらいせき 小原遺跡 (第45地点第2次) 0820183

(奈良・平安時代/集落跡)

所在地 水戸市東前町字野口前1137-1
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和2年4月28日～6月16日
調査面積 74.61㎡
調査主体 水戸市教育委員会
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

那珂川右岸の標高約18～19mの台地上に立地する。今回の調査では、主に8世紀前半から10世紀前半に比定される、竪穴建物跡5軒、掘立柱建物跡2棟を検出した。検出した遺構群のうち、SI-02からは灰釉陶器が5点出土し、また、9世紀半ばに比定されるSI-04からは「文珠」と書かれた墨書土器が出土したことから、近郊における村落内寺院の存在を窺い知ることができる貴重な調査例である。

6 やなかわちよういせき 柳河町遺跡 (第7地点第2次) 08201051

(奈良・平安時代、近世以降/集落跡)

所在地 水戸市柳河町176番3
調査原因 個人住宅建築工事
調査年月日 令和2年7月15日～9月9日
調査面積 112㎡
調査主体 水戸市教育委員会
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

那珂川左岸の標高8mの自然堤防上に立地する。今般の調査では、奈良・平安時代の井戸跡2基及び溝状遺構5条、近世以降の植栽列3条及びピット群を検出した。2基の井戸跡はいずれも断面が漏斗形であり、10世紀後半から11世紀前半の所産と考えられる。うち1基からは当該期の土器片の他に、大型の角材や桶の底板といった木質遺物も多数出土した。

7 だいわたりにかんがいせき 台渡里官衙遺跡 (台渡里第197次) 08201276

(奈良・平安時代/官衙跡)

所在地 水戸市渡里町字前原2889番4
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和2年7月16日～9月4日
調査面積 約149㎡
調査主体 水戸市教育委員会
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

那珂川右岸の標高約30mの台地上に立地する。今般の調査では、礎石建物跡1棟、溝跡1条、土坑1基を検出した。礎石建物跡SX-01は古代那賀郡の正倉別院の倉であったと考えられ、一辺10m四方の建物である。構造は掘込総地業で、深さ60cm程の版築を確認した。また、溝跡SD-01はSX-01によって掘り込まれており、SX-01の構築よりも古いことが判明した。官衙正倉別院の成立から廃絶までを辿るうえで貴重な成果となった。

8 みやかたあと 三湯館跡 (第3地点第2次) 08301061

(中世～近世/城館跡)

所在地 水戸市三湯町字宮前44番3
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和2年9月8日～30日
調査面積 54㎡
調査主体 水戸市教育委員会
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

那珂川水系桜川右岸の標高約40mの台地上に立地する。今回の調査では、中世の溝跡1条、土坑2基、近世の掘立柱建物跡1棟、時期不明のピット5基を検出した。溝跡は出土遺物から16世紀代に比定されるが、近世初頭に埋没した後に、その上面に溝を踏襲するように土墨状の積土が行われている。三湯館に関しては詳らかになっていないが、この地域が室町期には江戸氏の所領(中妻三十三郷)にあたることから、江戸氏の支城砦の一つであった可能性も考えられる。

9 こなかねいせき 小仲根遺跡 (第6地点第2次) 08201241

(縄文時代、奈良・平安時代/集落跡)

所在地 水戸市元石川町1831番2
調査原因 個人住宅の浄化槽・宅内処理槽埋設工事
調査年月日 令和2年9月15日～16日
調査面積 約9㎡
調査主体 水戸市教育委員会
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

那珂川水系石川右岸の標高約20mの台地上に立地する。今回の調査では、ピット3基を検出した。いずれも奈良・平安時代の所産と考えられる。また、P01・02の底面には柱当たり痕跡と考えられる硬化面がみられた。また、各ピットとも、規模と形状から掘立柱建物跡を構成する柱穴であると考えられるが、梁桁と桁行の方向を把握するには至らなかった。

10 かまかみちょういせき 釜神町遺跡 (第2地点第8次) 08201020

(古墳時代、近世/集落跡)

所在地 水戸市天王町868番8
調査原因 個人住宅建築工事
調査年月日 令和2年10月1日～30日
調査面積 40㎡
調査主体 水戸市教育委員会
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

那珂川水系桜川左岸の標高約25mの台地上に立地する。今般の調査では、古墳時代前期に帰属する竪穴建物跡2棟及び近世の方形土坑1基を検出した。竪穴建物跡は南西縁を共有して重複するものであり、いずれの遺構からも炉跡は検出できなかった。方形竪穴の用途は不明であるが、底面北半部が一段低く造られている。

11 だいわたりにほいじあと 台渡里廃寺跡 (台渡里第199次) 08201098

(奈良・平安時代～近世/寺院跡)

所在地 水戸市渡里町字アラヤ前2973番1ほか
調査原因 重要遺構範囲確認
調査年月日 令和2年12月1日～令和3年3月31日
調査面積 299.7㎡
調査主体 水戸市教育委員会
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

那珂川右岸の台地上に立地する。推定講堂跡の北半部を再検出した。当該堂宇の基壇の規模は東西約15m、掘込総地業の底面から現存する基壇上面までは約1.5mを測り、基壇と掘込総地業のそれぞれの高さ・深度は、基壇高0.5m、掘込総地業の深度約1.0mと考えられる。また、講堂跡基壇・掘込総地業の四周では整地が行われていることが明らかとなり、掘込総地業はこの整地土を切り込んでおり、造営年代は、版築土中の出土遺物から9世紀半ばを遡らない時期と考えられる。

12 てらうちいせき 寺内遺跡 08305071

(平安時代/集落跡)

所在地 水戸市牛伏町271番2ほか
調査原因 道路整備事業
調査年月日 令和2年4月1日～7月31日
調査面積 1,000㎡
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

水戸市の西部、桜川右岸の標高約44mの台地上に立地している。調査区西部で、平安時代の竪穴建物跡を確認した。また、東部では幅5m、深さ2mほどの薬研堀を確認しており、当遺跡の東側に所在する安国寺や、この付近に所在したとされる大足館跡との関連が推測される。

13 おおしろ い せき 大城遺跡 08305072

(縄文時代、平安時代／集落跡)

所在地 水戸市牛伏町266番8ほか
調査原因 道路整備事業
調査年月日 令和2年4月1日～7月31日
調査面積 2,379㎡
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

水戸市の西部、桜川右岸の標高約44mの台地上に立地している。調査区中央から西部で縄文時代から平安時代の竪穴建物跡を確認した。縄文時代後期から平安時代にかけて断続的に営まれた集落跡と考えられる。

14 ふなつか こ ふんぐん 舟塚古墳群 08305006

(縄文時代、平安時代／狩猟場・墓域)

所在地 水戸市大足町1327番4ほか
調査原因 道路整備事業
調査年月日 令和2年4月1日～7月31日
調査面積 653㎡
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

水戸市の西部、桜川右岸の標高約44mの台地上に立地している。調査区東部で、縄文時代の陥穴や平安時代の墓坑を確認した。墓坑からは焼骨を納めた蔵骨器が出土しており、当地域における有力者の存在や仏教の浸透が推測される。

15 すみよし い せき 住吉遺跡 (2020-01 地点) 08214073

(縄文～奈良・平安時代／集落跡)

所在地 笠間市住吉字宮平688番1
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和3年1月14日～3月31日
調査面積 171.5㎡
調査主体 笠間市教育委員会
資料保管 笠間市教育委員会
報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

今回の調査では、土坑48基(縄文)、竪穴建物跡1棟(古墳)、溝跡2条(時期不明)を確認した。遺構の大半は、縄文時代中期の土坑群が確認されており、とりわけ、SK12・20・42・43はフラスコ土坑であり、比較的大型のものであることを確認した。また、古墳時代前期と思われる1辺約6mの竪穴建物跡が1棟確認されており、古墳時代の集落跡の展開を予測させるものである。今回の調査により、まとまった出土資料もみられることから、当該遺跡の性格等についてもその一端を解明できると思われる。

16 ほりぐち い せき 堀口遺跡 (第34次) 08221004

(縄文～奈良・平安時代／集落跡)

所在地 ひたちなか市大字堀口字新地坪148番1ほか
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和2年6月16日～7月7日
調査面積 47㎡
調査主体 公益財団法人ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社
資料保管 ひたちなか市埋蔵文化財調査センター
報告書名 『令和2年度ひたちなか市内遺跡発掘調査報告書』令和3年3月14日ひたちなか市教育委員会

調査概要

調査地は、那珂川を望む台地縁辺部から200mほど離れた地点に位置する。遺構は、古墳時代の竪穴建物跡1基、中世の溝1条・地下式坑1基ほかを調査した。1号溝跡は、最大確認面幅1.9m、深さ1mほどを測る断面V字形の溝である。底面から16世紀頃の土師器小皿が出土し、覆土上層から17世紀前葉の瀬戸・美濃産志野鉄絵丸皿が出土した。1号地下式坑は竪穴部のみの調査にとどまるが、調査時の所見では1号溝がやや埋まった段階で掘り込まれたと考えられる。

17 こうやふじやまいせき 高野富士山遺跡 (第14次) 08221062

(縄文時代、古墳～平安時代／集落跡)

所在地 ひとちなか市大字高野字富士山1695番6
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和2年8月4日～28日
調査面積 37㎡
調査主体 公益財団法人ひとちなか市生活・文化・スポーツ公社
資料保管 ひとちなか市埋蔵文化財調査センター
報告書名 『令和2年度ひとちなか市内遺跡発掘調査報告書』令和3年3月14日ひとちなか市教育委員会

調査概要

調査地は、旧真崎浦から南西方向に入り込む二つの谷に挟まれた台地上に位置する。遺構は2基の住居跡を確認した。1号住居跡は、16.8㎡の無柱穴の住居跡であり、出入口ピットをもつ。床面中央に焼土面を有する。出土土器から9世紀前半に位置づけられ、「田依」「□(角カ)向」と書かれた墨書土器が覆土中より出土した。2号住居跡は、東壁の一部を調査したのみであり、出土遺物はなく時期も不明である。

18 むかいのえいせき 向野A遺跡 (第6次) 08221148

(縄文時代～近世／集落跡)

所在地 ひとちなか市大字馬渡字向野2883番1ほか10筆
調査原因 土地区画整理事業
調査年月日 令和2年10月1日～12月4日
調査面積 1,100㎡
調査主体 公益財団法人ひとちなか市生活・文化・スポーツ公社
資料保管 ひとちなか市埋蔵文化財調査センター
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

調査地は、市の中央部、本郷川左岸の標高約30mの台地上に位置する。確認した溝3条の内1条は令和元年度の調査で確認した溝の延長であるため、中世の古道(鎌倉街道)の側溝と考えられる。残りの溝2条は、ほぼ並行しているため古道の可能性が高いが、時期は不明である。

19 うしろみかじりえいせき 後三ヶ尻A遺跡 08344073

(奈良・平安時代／集落跡)

所在地 常陸大宮市上村田字三ヶ尻1495
調査原因 個人住宅建設工事
調査年月日 令和2年9月14日～23日
調査面積 118.16㎡
調査主体 常陸大宮市教育委員会
資料保管 常陸大宮市教育委員会
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

遺跡は玉川右岸の瓜連丘陵上にあり、調査地点は緩やかな斜面になっている。調査範囲からは、中世の溝1条と、平安時代から中世頃の土坑5基・ピット60基が検出され、古代集落跡の周縁部に中世の建物跡が重複することを確認した。遺物としては、平安時代の土師器・須恵器、中世の古瀬戸や内耳土器などが出土した。

20 なかだいせき 中台遺跡 08647007

(弥生時代、平安時代／再葬墓、集落跡)

所在地 常陸大宮市山方字中台2436ほか
調査原因 学術調査
調査年月日 令和2年11月16日～12月8日
調査面積 76.0㎡
調査主体 常陸大宮市教育委員会
資料保管 常陸大宮市教育委員会
報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

久慈川右岸の台地上に所在する遺跡で、過去に地権者が畑から再葬墓の土器が出土した事で知られている。今回の調査箇所は、その土器が出土した場所を聞き取りし、周辺を発掘した。その結果、再葬墓は発見されなかったが、弥生時代の遺物が集中して出土した地点があり、そこから弥生時代前期の土器片を多く検出した。その他にも時期不明の土坑・ピット4基と平安時代の竪穴建物跡4軒を確認した。

21 うちほらいせき 内原遺跡 08308080

(縄文時代、古墳～平安時代、近世／集落跡)

所在地 常陸大宮市野口1318-1ほか
調査原因 障害者支援施設建設工事
調査年月日 令和2年11月16日～令和3年1月20日
調査面積 1,479.0㎡
調査主体 常陸大宮市教育委員会
調査支援 関東文化財振興会株式会社
資料保管 常陸大宮市教育委員会
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

調査場所は那珂川左岸の標高約59mの台地上に位置する。古墳時代前期の竪穴建物跡11軒を検出し、S字状口縁の台付甕や覆土中から十王台式土器が出土した。他には、平安時代の竪穴建物跡1軒を検出した。

22 いしざわだてあと 石沢館跡 08344155

(中世／城館跡)

所在地 常陸大宮市石沢1706-3
調査原因 店舗建設工事
調査年月日 令和2年12月14日～令和3年1月26日
調査面積 1,078.9㎡
調査主体 常陸大宮市教育委員会
調査支援 株式会社地域文化財研究所
資料保管 常陸大宮市教育委員会
報告書名 茨城県常陸大宮市埋蔵文化財調査報告書34集『石沢館跡』店舗建設工事に埋蔵文化財伴う令和3年8月

調査概要

玉川左岸の市街地が築かれている台地の縁辺部に位置する遺跡で、掘立柱建物跡や方形竪穴遺構8基、地下式坑2基、溝跡等、主に中世の遺構を確認し、他には近世の土坑やピット等も多数確認した。中世から近世にかけての営みが確認された。

23 たけはらしょうがっこういせき 竹原小学校遺跡(第3次) 08304065

(古墳時代、奈良・平安時代／集落跡)

所在地 小美玉市竹原字宮平568番ほか
調査原因 市道整備事業
調査年月日 令和2年6月22日～9月29日
調査面積 1,206.15㎡
調査主体 有限会社 日考研茨城
資料保管 小美玉市玉里史料館
報告書名 『竹原小学校遺跡(第3次)－竹原小学校外周道路整備事業に伴う発掘調査報告書－』令和3月19日 小美玉市

調査概要

竹原小学校遺跡は、園部川左岸の標高25mの台地上に位置し、南側の舌状台地には、4世紀後半に築造されたとされる羽黒古墳が所在する。縄文時代から近世に至る複合遺跡であるが、調査では、古墳時代前期(37)、古代(25棟)の竪穴建物跡が主体的に検出され、当該期の拠点集落が明らかになった。一辺10mを超える第35号竪穴建物跡(9世紀)では、器高1mの須恵器大甕が立った状態で出土し、祭祀行為のために廃棄されたと思われる。また、第52号竪穴建物跡(4世紀後葉)からは土製模造鏡が出土した。

24 たけはらてんじんいせき 竹原天神遺跡 08304076

(古墳時代／集落跡)

所在地 小美玉市竹原字天神1484番1
調査原因 自己用住宅建設工事
調査年月日 令和2年10月27日～11月6日
調査面積 34.5㎡
調査主体 小美玉市文化スポーツ振興部
資料保管 小美玉市玉里史料館
報告書名 令和5年度刊行予定

調査概要

竹原天神遺跡は、園部川中流域の左岸に所在する標高25mの台地上に位置し、試掘調査により、新たに発見した遺跡である。調査では、竪穴建物跡(古墳時代中期)1棟を検出した。建物跡の北側よりの中央に炉跡が確認され、平面プラン及び規模は、南北5.3m、南北3.5m以上の方角を呈している。主な出土遺物には、土師器(壺・甕・埴・高坏)、鉄滓がある。

25 城之内館跡 08462029

(中世／城館跡)

所在地 小美玉市川中子301番3
調査原因 自己用住宅建設工事
調査年月日 令和3年3月3日～11日
調査面積 38.5㎡
調査主体 小美玉市文化スポーツ振興部
資料保管 小美玉市玉里史料館
報告書名 令和5年度刊行予定

調査概要

城之内館跡は、園部川右岸の河口付近の標高2m程の自然堤防上に所在する。方形居館であり、北側には土塁及び堀跡が残存している。調査では、郭内の東西方向に延びる堀跡（幅1.9～2.6m）を検出した。堀底から、古瀬戸灰釉筒形香炉が伏せた状況で出土した。生産時期は古瀬戸後Ⅲ期（15世紀第2四半期）と思われる。香炉は漆等で継いでおり、使用、伝世した後、堀が廃絶した段階に廃棄されたものと思われる。また、周辺では土師質土器小皿が出土していることから祭祀に使用された可能性もある。

26 鳶山遺跡 08303238

(中世／城館跡)

所在地 小美玉市中延字鳶山下1508番3ほか
調査原因 道路整備事業
調査年月日 令和2年9月1日～10月31日
調査面積 560㎡
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

小美玉市の中央部、園部川左岸の標高10～22mの台地上に立地している。台地の北側頂部から縁辺部にかけて調査し、当地が中世の城館の一部であることを確認した。縄文時代早期末から古墳時代中期の土器が出土したが、全て細片であり、城館構築時に伐根した窪地に流入したものと考えられる。

27 向遺跡 08302191

(近世、近代／包蔵地、集落跡)

所在地 東茨城郡茨城町上石崎字上ノ坪2314番2ほか
調査原因 道路整備事業
調査年月日 令和2年4月1日～5月31日
調査面積 224㎡
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

茨城町の中央部、潤沼川左岸の標高約10mの台地上に立地している。近世から近代のものと考えられる溝跡や柱穴列などを確認した。遺構の覆土及び表土からは、縄文土器や土師器、須恵器が出土しており、いずれも摩耗していることから、調査区周辺の台地上に所在した集落跡から遺物が流れ込んだ可能性が高い。

28 坊主山古墳（第3次） 08309007-003

(古墳時代／古墳)

所在地 東茨城郡大洗町磯浜町3546-B1ほか
調査原因 追加国指定に向けた範囲確認調査
調査年月日 令和2年7月6日～11月26日
調査面積 247㎡
調査主体 大洗町教育委員会
資料保管 大洗町埋蔵文化財整理作業棟
報告書名 令和3年度概要報告書

調査概要

太平洋に面した磯浜古墳群中の一基。前期古墳。那珂川流域で最初期に埴輪を採用した前方後円墳。全長約60.0m、高さ約5.6m。前方部は前端を含む三方に周濠がめぐることを確認した。後円部は斜面・裾部・周濠部とも削平され、明確な形態を把握しづらいが、遺存状態の良い東側の上部斜面が描く円弧を旧来のラインとみなすと後円形と考えると差支えない。埴輪は、前方部には伴わず、後円部の墳頂平坦面縁辺に樹立するものと考えられる。

29 な か さ い い せ き 那珂西遺跡 08306001

(古墳～平安時代／集落跡)

所在地 東茨城郡城里町大字那珂西字塙2083番4
 調査原因 道路改良事業
 調査年月日 令和3年1月1日～2月28日
 調査面積 168㎡
 調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
 資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
 報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

城里町南東部、那珂川と西田川に挟まれた標高36～39mの台地上に立地している。北から延びる台地の南端部で古墳時代後期から平安時代の集落跡を確認した。古墳時代後期の竪穴建物跡からは、東海産の須恵器が出土した。集落跡は、台地北側へ広がることが予想される。

30 しらかた こふんぐん 白方古墳群 08341156

(古墳時代、中世／古墳・城館跡)

所在地 那珂郡東海村大字白方2077番
 調査原因 白方コミュニティセンター駐車場整備
 工事及びマンホールトイレ整備工事
 調査年月日 令和2年6月15日～7月2日
 調査面積 133㎡
 調査主体 株式会社地域文化財研究所
 資料保管 東海村教育委員会
 報告書名 「白方古墳群 白方コミュニティセンター
 駐車場整備工事及びマンホールトイレ
 整備工事に伴う発掘調査報告書」令和
 2年9月4日 東海村 東海村教育委員
 会 株式会社地域文化財研究所

調査概要

当遺跡は東海村の北東部に位置し、標高20mの台地上にある。調査の結果、古墳1基、古墳時代の土坑1基、中世の堀1条、ピット26基、時期不明の土坑1基を確認した。古墳は周溝を伴わず、地山に木棺直葬と推定される埋葬施設を構築後、墳丘を盛り上げたとみられる。時期は6世紀後半以降に比定される。堀の規模は幅約7m、深さ約2.7mの逆台形状で、防御を意識した構造である。

31 やま お じょうあと 山尾城跡 (第2次) 08381071

(中世／城跡)

所在地 日立市十王町友部600番地ほか
 調査原因 屋内運動場改築事業
 調査年月日 令和2年2月17日～3月31日、
 4月6日～5月27日
 調査面積 R1: 400㎡、R2: 850㎡
 調査主体 有限会社勾玉工房Mogi
 資料保管 日立市郷土博物館
 報告書名 日立市文化財調査報告第115集
 山尾城跡 (第2次) 令和2年9月29日
 発行

調査概要

本調査は令和元年度及び2年度に実施した。本遺跡は中世城跡であり、今回の調査はⅡ曲輪部分について実施した。調査の結果、主曲輪とⅡ曲輪を分ける堀や、Ⅱ曲輪内区画の存在が明らかになるとともに、本城跡の変遷が三期に区分されることが判明した。Ⅰ期は14世紀後半、Ⅱ期は15世紀中葉～16世紀後半、Ⅲ期は17世紀前半である。

32 はら うち い せ き 原の内遺跡 08202138

(縄文時代、古墳時代／集落跡、貝塚)

所在地 日立市石名坂町一丁目1013番1ほか
 調査原因 道路拡幅事業
 調査年月日 令和2年6月1日～7月31日
 調査面積 284㎡
 調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
 資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
 報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

日立市南部、茂宮川左岸の標高57～60mの緩斜面に立地している。風倒木の窪地を利用して貝殻などを廃棄した地点貝塚を確認した。出土した土器から縄文時代前期初頭と推測される。この地点貝塚の一部を壊して7世紀中葉の竪穴建物が構築されており、床面からはアワビの貝殻が出土している。常陸国風土記久慈郡の条には「密筑里」「石決明」との記述があり、関連が推測される。

33 おおたじょうあと 太田城跡 (第2次) 08212129

(中世、近世／城館跡)

所在地 常陸太田市栄町102番1
調査原因 開発に伴う事前調査
調査年月日 令和2年6月8日～11月16日
調査面積 3,700㎡
調査主体 有限会社勾玉工房Mogi
資料保管 常陸太田市教育委員会
報告書名 『常陸太田市内遺跡調査報告書
第17集 太田城跡』 令和4年3月

調査概要

阿武隈高地の国見山から続く中位砂礫段丘上、通称鯨が丘と呼ばれる標高38mの台地上に所在する。今回の調査区は、本郭と考えられる太田小学校敷地の北東側に隣接する敷地の一部である。確認した堀跡5条の内最大のもは、第2号堀跡Bである。形状は葉研堀、確認された規模は、幅8m、深さ4.7m、全長170mのクランクを持つ南北に縦断する堀跡である。築造時期は、16世紀前半頃と思われる。大規模な堀跡であり、戦国大名佐竹氏たる居城にふさわしい土木工事の痕であると考えられる。

34 はやしじょうあと 林城跡 08222167

(縄文時代、古墳時代、奈良・平安時代、中世／集落跡、城館跡)

所在地 茨城県鹿嶋市大字林699-1ほか
調査原因 ホテル建設事業
調査年月日 令和2年11月4日～令和3年3月5日
調査面積 約1,484㎡
調査主体 公益財団法人鹿嶋市文化スポーツ振興事業団
資料保管 鹿嶋市どきどきセンター
報告書名 鹿嶋市の文化財第171集『林城跡埋蔵文化財発掘調査報告書 鹿嶋の里ホテル建設に伴う埋蔵文化財発掘調査』公益財団法人鹿嶋市文化スポーツ振興事業団 (令和3年12月25日刊行)

調査概要

標高約35mの台地上、鹿嶋市の西部に位置する。遺構は、調査区の西側半分は古墳時代、奈良・平安時代の堅穴建物跡が密集し、それらと重複するように縄文時代の袋状土坑を多数確認した。また、調査区は東に向かって標高が緩やかに下っており、東端部では段をなして下がる箇所を確認した。この段より東側には中世の土坑墓を多数確認し、墓域であることが想定された。

35 かしまじんぐうけいだいつけたりぐう け あと 鹿島神宮境内 附 郡家跡 08222078

(古墳時代～奈良・平安時代／官衙跡、集落跡)

所在地 鹿嶋市大字宮中166番1ほか
調査原因 史跡範囲確認
調査年月日 令和2年10月1日～令和3年3月1日
調査面積 536㎡
調査主体 公益財団法人鹿嶋市文化スポーツ振興事業団
資料保管 鹿嶋市どきどきセンター
報告書名 『鹿嶋市の文化財 第170集 鹿嶋市内遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書42』 令和3年3月31日

調査概要

標高約33mの台地上、鹿嶋市の南西部に位置する。令和2年度の調査の結果、郡庁の第Ⅰ期の西脇殿と第Ⅱ・Ⅲ期の回廊の南西隅の柱穴を確認した。郡庁南域の調査では、郡庁南門から延びる道路等は検出されなかった。厨家相当施設の調査では、掘立柱建物跡4軒を構成する柱穴を確認した。この4軒は4時期に分けられ、厨家域の建物変遷が推定できた。

36 てんじんみちびーい せき 天神道B遺跡 08401441

(古墳時代、室町時代、江戸時代／集落跡)

所在地 銚田市箕輪字天神道1691番地ほか
調査原因 道路建設事業
調査年月日 令和3年1月1日～3月31日
調査面積 1,593㎡
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
調査支援 関東文化財振興会株式会社
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 『天神道B遺跡主要地方道大洗友部線バイパス建設事業地内埋蔵文化財調査報告書』茨城県教育財団文化財調査報告第463集令和4年3月16日

調査概要

銚田市の北部、潤沼を望む標高約20mの台地上に立地している。古墳時代後期の堅穴建物跡のほか、室町時代の方形堅穴遺構や掘立柱建物跡、地下式坑などを確認した。また、人々が潤沼を臨む天満宮に向かうために利用したと考えられる江戸時代の道路跡を確認した。

37 おおやがわいせき てんじんやまこふんぐん 大谷川遺跡・天神山古墳群 08401344/08401006

(古墳時代／集落跡、古墳)

所在地 銚田市箕輪字大谷川1684番2番地ほか
調査原因 道路建設事業
調査年月日 令和2年10月1日～令和3年3月31日
調査面積 3,279㎡
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

銚田市の北部、涸沼を望む標高約20mの台地上に立地している。古墳時代前期の集落跡と古墳時代終末期の円墳2基を確認した。古墳時代前期の竪穴建物跡からは、北陸系の土師器の蓋や東海系の土師器の壺などの他地域との交流を確認できる遺物が出土した。また、第5号墳は約20mの円墳で、海岸の石などの自然礫を積み上げて構築された玄室をもつ横穴式石室が確認できた。

38 なかたかつにしほらいせき 中高津西原遺跡 (第2次) 08203098

(古墳時代／集落跡)

所在地 土浦市中高津二丁目258番1
調査原因 建売住宅建設
調査年月日 令和2年6月16日～24日
調査面積 114㎡
調査主体 土浦市教育委員会
調査支援 有限会社日考研茨城
資料保管 上高津貝塚ふるさと歴史の広場
報告書名 『上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報第27号』

調査概要

竪穴建物跡2軒、土坑2基、柱穴状遺構2基、溝1条を検出した。竪穴建物の時期は古墳時代後期である。このほか破片であるが縄文時代前期の土器、弥生時代の土器が出土した。

39 おうづかこふん 王塚古墳 08203297

(古墳時代／古墳)

所在地 土浦市手野町2166ほか
調査原因 学術研究のため
調査年月日 令和2年11月30日～12月22日
調査面積 25.5㎡
調査主体 土浦市教育委員会・筑波大学考古学研究室
資料保管 上高津貝塚ふるさと歴史の広場
報告書名 令和4年度に刊行予定

調査概要

墳丘形態確認のため口縁部北側(第1トレンチ)と東側(第2トレンチ)を設定した。第1トレンチでは幅9mの周溝を検出したほか、周溝底面付近では底部穿孔壺の破片が出土した。第2トレンチでは周溝の存在は不明瞭なものの、関東ローム層を削り墳丘端部を作り出していることが明らかとなった。

40 きさきづかこふん 后塚古墳 (第3次) 08203298

(古墳時代／古墳)

所在地 土浦市手野町2148-1ほか
調査原因 学術研究のため
調査年月日 令和2年11月30日～12月22日
調査面積 10㎡
調査主体 土浦市教育委員会・筑波大学考古学研究室
資料保管 上高津貝塚ふるさと歴史の広場
報告書名 令和4年度刊行予定

調査概要

後方部西側にトレンチを設定した(第7トレンチ)。周溝は検出されなかったことから、後方部北側で確認されていた幅広の周溝は、古墳を全周していないことがわかった。また、墳丘裾部の断ち割り調査によって、旧表土と盛土を明瞭に検出した。

41 おの かまあと 小野窯跡 08465043

(奈良・平安時代／窯跡)

所在地 土浦市小野字裏山1238、1240
調査原因 学術研究のため
調査年月日 令和3年2月9日～25日
調査面積 約150㎡
調査主体 土浦市教育委員会
資料保管 上高津貝塚ふるさと歴史の広場
報告書名 「新治窯跡群確認調査報告書」令和4年3月

調査概要

平安時代の須恵器窯1基を新たに確認した。灰原は標高70～80m前後にかけて広範囲にみられ、8世紀中葉から9世紀後半の須恵器を発見した。灰原の状況から須恵器窯は広範囲に存在し、操業も長期にわたっていたことを確認した。

42 しもさか た かいつか 下坂田貝塚 08465002

(古墳時代／古墳)

所在地 土浦市下坂田2465
調査原因 学術研究のため
調査年月日 令和3年3月3日～24日
調査面積 80㎡
調査主体 土浦市教育委員会
資料保管 上高津貝塚ふるさと歴史の広場
報告書名 令和5年度に刊行予定

調査概要

遺跡範囲の中央南側にトレンチを設定し、遺構確認を行った。踏査でも確認されていた地点貝塚2か所を検出し、時期はともに加曽利B2式期であった。貝塚の周囲には厚い遺物包含層が形成されていることを確認した。

43 まえしんでん い せき 前神田遺跡 08203194

(平安時代／集落跡)

所在地 土浦市神立町2590-2ほか
調査原因 市道改良工事のため
調査年月日 令和2年12月3日～15日
調査面積 約117㎡
調査主体 土浦市教育委員会
資料保管 上高津貝塚ふるさと歴史の広場
報告書名 令和4年度刊行予定

調査概要

平安時代の竪穴建物跡5棟・掘立柱建物跡1棟、縄文時代の落とし穴の可能性のある土坑1基を検出した。道路幅分の調査区であることから、調査範囲は限定的で、出土遺物も少量である。

44 おおはたほんでん い せき 大畑本田遺跡 08465128

(縄文時代／集落跡)

所在地 土浦市大畑字大畑829番3
調査原因 自己用住宅建築のため
調査年月日 令和3年3月23日～27日
調査面積 約4㎡
調査主体 土浦市教育委員会
資料保管 上高津貝塚ふるさと歴史の広場
報告書名 令和4年度刊行予定

調査概要

竪穴建物跡2棟と土坑2基を検出した。2号建物の後で、重複して1号建物が作られ、更に袋状土坑である1号土坑が掘られる。2号土坑は柱穴状を呈する。2号土坑以外はすべて縄文時代中期である。

45 はくらくみなみつか 白楽南塚 08203480

(江戸時代／塚)

所在地 土浦市中村西根字白楽606番2
調査原因 道路建設事業
調査年月日 令和2年5月1日～6月30日
調査面積 807㎡
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

土浦市の南西部、乙戸川左岸の18～25mの台地上に立地している。江戸時代の塚である。頂部には、火輪4点などの石製品が散在し、寛永通宝や天保通宝などの60点を超える銭貨が出土した。また、塚の基底で溝跡を確認し、溝の埋没後に塚が構築されていることが明らかになった。

46 とじょういせき 外城遺跡(第3次) 08205100

(奈良・平安時代～中世／城館跡)

所在地 石岡市貝地二丁目5202番1ほか
調査原因 保存目的の範囲内容確認調査
調査年月日 令和2年2月19日～4月24日
調査面積 300㎡
調査主体 石岡市教育委員会
資料保管 石岡市文化財管理センター
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

恋瀬川左岸の標高約23mの台地上に位置する遺跡で、常陸国茨城郡家(郡衙)跡に推定される。微地形測量・地中レーダー探査により堀跡が推定された箇所を中心に確認調査を実施した。調査の結果、中世の堀跡1条と土坑群を確認した。堀跡は幅約10mで、部分的な掘り下げを行ったところ、南側から粘土を含んだ土砂が大量に流れ込んでおり、堀の南側に土塁の存在が推定された。確認した土塁・堀は、現在も残る堀・土塁と連続し、曲輪を形成していたことがわかる。

47 まえはらづか 前原塚 08205167

(近世／塚)

所在地 石岡市東田中宇前原1221番1ほか
調査原因 太陽光発電施設設置事業
調査年月日 令和2年4月6日～17日
調査面積 100㎡
調査主体 有限会社日考研茨城
資料保管 石岡市文化財管理センター
報告書名 『前原塚 太陽光発電施設の設置事業に伴う発掘調査』令和2年10月30日
石岡市教育委員会

調査概要

標高約26mの台地上平坦面に位置し、東田中宇前原と字新田の字境に築かれていた。塚の規模は長径6m、短径5.5m、高さ0.87mを測る。調査の結果、周溝や主体部などの遺構は確認されず、また遺物も出土しないことから、古墳等を利用したのではなく、後世に築造されたものであることを確認した。また、塚の西裾部で近世の墓坑を1基検出した。塚との重複関係は不明であるが、地元に縁のない無縁仏を供養した可能性が考えられる。

48 なかつがわいせき 中津川遺跡 08205151

(縄文時代、平安時代／集落跡、墓域)

所在地 石岡市中津川字下富田前245番ほか
調査原因 道路建設事業
調査年月日 令和2年6月1日～令和3年1月31日
調査面積 2,969㎡
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

石岡市の南東部、恋瀬川左岸の標高約24mの台地上に立地している。縄文時代前期・中期の集落跡と平安時代の墓域を確認した。縄文時代前期の竪穴建物跡のうち1棟は、掘り込みが深く壁溝や出入口をもつ造りである。中期の集落は、前年度調査した集落の中心とは谷を隔てており、遺構密度は薄い。また、平安時代の遺構として、灰釉陶器を蔵骨器とする火葬墓と柱穴を伴う土坑墓を確認した。

49 た さ き い せ き 田崎遺跡 08205148

(奈良・平安時代／集落跡)

所在地 石岡市石岡字大越4790番ほか
 調査原因 道路建設事業
 調査年月日 令和2年6月1日～令和3年1月31日
 調査面積 427㎡
 調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
 資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
 報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

石岡市の南東部、恋瀬川左岸の標高約20mの台地縁辺部に立地している。奈良時代・平安時代の集落跡を確認した。今回の調査区は、平成20・21年度調査区の東側に隣接する。竈をもつ竪穴建物跡や、重複する掘立柱建物跡を確認した。これらの遺構は、河岸段丘上の高低差のある地形に造られ、集落が営まれていたことがわかった。

50 う え の む ろ は ま い ば い せ き 上ノ室ハマイバ遺跡 (第14次) 08220503

(縄文時代、古墳時代～近世／集落跡ほか)

所在地 つくば市上ノ室字カヨウジ1842番5
 調査原因 個人住宅
 調査年月日 令和2年4月7日～17日
 調査面積 53㎡
 調査主体 つくば市教育委員会
 資料保管 つくば市出土文化財管理センター
 報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

桜川に続く谷津に面した標高約25mの台地上に立地する。7世紀頃の竪穴建物跡1棟を確認。北西の一部は攪乱されていたが、ほぼ全体を調査した。規模は長軸4.2m、短軸3.6mで、主軸は北西方向をとる。壁は直立した貼壁で、高さ38～60cm。床は平坦な貼床で、壁際以外はよく踏み固められている。カマドは北西壁の中央やや東側に付設されている。遺物は、貼壁内から7世紀の土師器坏、覆土上部からは8世紀前葉の須恵器坏や蓋などが出土した。

51 ほ う じ ょ う な か だ い い せ き 北条中台遺跡 08220137

(旧石器時代～近世／集落跡ほか)

所在地 つくば市北条字中台1414番の一部
 調査原因 個人住宅
 調査年月日 令和2年9月1日～10月14日
 調査面積 173㎡
 調査主体 つくば市教育委員会
 資料保管 つくば市出土文化財管理センター
 報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

平沢官衙遺跡南西約150mの標高32mの台地上。平安時代の竪穴建物跡1棟、掘立柱建物跡3棟、土坑16基などを確認。掘立柱建物跡は10世紀頃の所産で、柱位置をずらして、3号→2号→1号と建替えている。規模は、調査区外へ続くため不明だが、2間×5間以上、柱間は2.5～2.8m、東西には庇を有すると考えられる。柱穴は、最も深いもので128cm。大きめの穴を掘削後、粘質土を底に敷き、根石を入れて柱を設置。柱周りには、極めてしまりの強い土が充填されている。

52 し ま な さ か い ま つ い せ き 島名境松遺跡 08220391

(旧石器時代、縄文時代、古墳時代／集落跡ほか)

所在地 つくば市島名4030-1ほか
 調査原因 鉄塔建替工事(鉄塔2塔)
 調査年月日 令和2年10月26日～11月30日
 調査面積 108㎡
 調査主体 株式会社パスコ
 資料保管 つくば市出土文化財管理センター
 報告書名 『島名境松遺跡 鉄塔建替工事に伴う発掘調査報告書』令和3年3月

調査概要

東調査区は東谷田川に面し、西調査区は同川へ続く谷津に面する。両区は約300m離れている。縄文時代中期の土坑1基や焼土跡、古墳時代後期の竪穴建物跡4棟などを確認。竪穴建物跡の時期は6世紀前半頃。1号のみが東調査区。部分的な確認で規模の詳細は不明だが、2号は東西7mを超える。西調査区の西側は、区画整理事業に伴う発掘調査区にあたり、6世紀前半から中頃のかかる集落跡を確認した。西調査区の遺構は、この一部にあたる。ナイフ形石器1点が単独出土した。

53 おだ じょうあと 小田城跡 (第82次) 08220139

(中世／城館跡)

所在地 つくば市小田字中城2562番2
 調査原因 個人住宅建築に伴う現状変更
 調査年月日 令和2年8月20日～25日
 調査面積 23㎡
 調査主体 つくば市教育委員会
 資料保管 つくば市出土文化財管理センター
 報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

史跡現状変更に伴う事前確認調査である。調査地は史跡範囲の北側に位置し、本丸跡からは堀跡を2つ隔てた曲輪Ⅲの南側にあたる。幅0.5～1m、長さ0.5～4mの調査区を10箇所設けて、中世最上面の遺構面深度等を確認した。中世最上面では、分布が散漫ではあるものの、柱穴跡やその可能性のあるプラン等を複数確認した。一部に設定した深掘坑等では、中世最上面やローム層上面を含めて遺構面が3面あることが分かった。

54 しま なほんでん いせき 島名本田遺跡 08220387

(古墳～平安時代、室町時代、江戸時代／集落跡)

所在地 つくば市島名字本田4462番ほか
 調査原因 土地区画整理事業
 調査年月日 令和2年4月1日～5月31日、
7月1日～8月31日
 調査面積 2,109㎡
 調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
 資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
 報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

つくば市の南西部、谷田川右岸の標高約24mの台地上及び約20mの低地部に立地している。台地上平坦部の南部ではピット群、東部では複数の方形堅穴遺構を確認した。前回までの調査成果を加味すると、室町時代には、溝によって方形に区画された範囲に建物が配置されていたと推測できる。また、低地部では、複数の井戸跡や溝跡を確認した。溝跡の断面形は葉研状で、区画や排水の機能に加え、防御の機能があったことも推測できる。

55 しも がわらざき やなかだ いせき 下河原崎谷中台遺跡 08220382

(旧石器時代、縄文時代、古墳時代／包蔵地、集落跡)

所在地 つくば市下河原崎字谷中台696番ほか
 調査原因 土地区画整理事業
 調査年月日 令和2年4月1日～7月31日
 調査面積 8,787㎡
 調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
 資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
 報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

つくば市の南西部、西谷田川左岸の標高15～24mの台地縁辺部に立地している。旧石器時代の石器製作跡と縄文時代、古墳時代の集落跡を確認した。特に台地縁辺部では、多量の旧石器が出土しており、広範囲で確認した複数の石器製作跡は貴重な資料となる。

56 もとなかきたひがしとう しろう いせき 元中北東藤四郎遺跡 08220381

(古墳時代／集落跡)

所在地 つくば市上河原崎元中北字東藤四郎58番6ほか
 調査原因 土地区画整理事業
 調査年月日 令和2年4月1日～4月30日
 調査面積 2,400㎡
 調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
 資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
 報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

つくば市の南西部、西谷田川左岸の標高約20mの台地上に立地している。令和元年度調査に続き確認した6棟の堅穴建物跡は、すべて古墳時代中期に比定できる。集落跡は短期間の間に営まれた大規模なもので、近接する上河原崎前山遺跡も同様の傾向にあることから、関連が想定できる。

57 だいにちみねいせき 大日峯遺跡 08441172

(縄文時代、古墳～奈良・平安時代／集落跡)

所在地 稲敷市松山字大日峯2854-1ほか
調査原因 稲敷工業団地開発推進事業
調査年月日 令和2年6月15日～8月18日
調査面積 8,442.4m²
調査主体 有限会社勾玉工房Mogi
資料保管 稲敷市教育委員会
報告書名 令和5年3月刊行予定

調査概要

稲敷市の南西部、小野川左岸の標高約28mの舌状台地上に立地する。縄文時代前期の竪穴建物跡1棟、土坑81基(内、炉穴2)、ピット19基、遺物包含層(早期～前期)、古墳時代前期の竪穴建物跡3棟、中・近世の溝3条、土坑5基を検出した。古墳時代前期の竪穴建物跡は全て焼失家屋であり、特に第3号竪穴建物跡からは、高坏のほか多数の遺物や、床面から多量の石屑・石製品(有孔円板・臼玉)が出土した。石製品の工房跡と推定される。

58 たかのやまいせき 高ノ山遺跡(2区) 08441171

(縄文時代、弥生時代、中・近世／集落跡)

所在地 稲敷市下君山字高ノ山3150ほか
調査原因 稲敷工業団地開発推進事業
調査年月日 令和2年8月19日～12月28日
調査面積 10,650m²
調査主体 有限会社勾玉工房Mogi
資料保管 稲敷市教育委員会
報告書名 令和5年3月刊行予定

調査概要

稲敷市の南西部、小野川左岸の標高27～28mの鳥址状を呈する台地上に立地する。縄文時代前期の竪穴建物跡1棟、土坑113基、ピット81基、遺物包含層、弥生時代後期の竪穴建物跡10棟、中～近世の溝2条、近世の土壙墓(鍋被り葬)1基を検出した。弥生時代後期の竪穴建物跡からは、甕や壺、土製紡錘車、石製玉が、土壙墓からは鉄鍋や寛永通宝、かわらけ、人骨が出土した。

59 ちょうじゃやまこふんぐん 長者山古墳群 08441168

(古墳時代／古墳群)

所在地 稲敷市下君山字長者山3098-1ほか
調査原因 稲敷工業団地開発推進事業
調査年月日 令和3年1月12日～3月1日
調査面積 1,225m²
調査主体 有限会社勾玉工房Mogi
資料保管 稲敷市教育委員会
報告書名 令和5年3月刊行予定

調査概要

稲敷市の南西部、小野川左岸の標高約29mの谷津に面した台地縁に立地する。外径20.8m・内径16.5mの二重周溝を有する円墳1基を検出したが、墳丘は遺存していない。主体部は地山を1mほど掘削して箱型に造り、四隅に溝を掘り込んで側壁を立て、地山との間に粘土を詰め固定した状況が窺える。石材は抜かれている。須恵器細片、硬玉製の装身具片、フラスコ型の須恵器片が出土し、7世紀後半から8世紀に築造されたものと推定される。

60 さんのうはらみなみいせき 山王原南遺跡 08441170

(旧石器時代、縄文～奈良・平安時代／包蔵地)

所在地 稲敷市下君山字山王原3255
調査原因 稲敷工業団地開発推進事業
調査年月日 令和2年12月23日～令和3年3月1日
調査面積 100m²
調査主体 有限会社勾玉工房Mogi
資料保管 稲敷市教育委員会
報告書名 令和5年3月刊行予定

調査概要

稲敷市の南西部、小野川左岸の標高約29mの台地縁に立地する。試掘・確認調査時に、谷津頭付近に設定したトレンチから、珪質頁岩のナイフ形石器(10.6cm)1点が出土した。出土位置の周囲100m²(10m×10m)を調査し、礫1点、縄文土器片や土師器片が数点出土したが、他に遺構や遺物は出土しなかった。

あ ば より や す か ま あ と
61 阿波寄合窯跡 08448113

(奈良・平安時代／生産遺跡(窯跡))

所在地 稲敷市神宮寺1272番2ほか
調査原因 道路整備事業
調査年月日 令和2年7月1日～10月31日
調査面積 1,511㎡
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

稲敷市中央部、小野川右岸の標高約20mの台地上に立地している。奈良時代から平安時代にかけての窯跡2基を確認した。1号窯は地下式窖窯構造の須恵器窯で、燃焼部から排煙口までの部分を調査した。部分的に天井が遺存しており、特に煙道部付近ではトンネル状の構造がそのまま確認された。2号窯では焚口部と前庭部を確認した。前庭部からは多量の須恵器が出土した。焚口部の西側では、2号窯とは別の灰原を確認した。

にし く ぼ い せ き
62 西久保遺跡 08448085

(縄文時代、古墳時代／集落跡、古墳)

所在地 稲敷市神宮寺1457番7ほか
調査原因 道路整備事業
調査年月日 令和2年7月1日～11月30日
調査面積 1,241㎡
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

稲敷市中央部、小野川右岸の標高約30mの台地上に立地している。終末期の古墳4基を確認した。いずれも削平され盛土が残っていないが、うち2基では主体部を確認した。1号墳は古墳時代後期の竪穴建物跡が埋没してから築造されている。主体部は石棺部材が破砕され、細かい石片とともに奈良時代の須恵器が出土した。また、調査区北部では、縄文時代中期の有段式竪穴建物跡や袋状土坑などを確認した。

う ば く ぼ い せ き
63 姥久保遺跡 08464153 (※平成22年度に報告書が刊行されたが、その後番号が変更された)

(古墳時代、平安時代／集落跡)

所在地 かすみがうら市東野寺宇姥久保87番4ほか
調査原因 道路建設事業
調査年月日 令和2年6月1日～令和3年1月31日
調査面積 1,199㎡
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

かすみがうら市東部、恋瀬川右岸の標高10～20mほどの台地上に立地している。平安時代の集落跡などを確認した。今回確認した集落は、既調査区域と谷を隔てて位置している。溝跡からは祭祀に使用される手捏土器を含む多量の土器が出土した。竪穴建物跡からは、金属製の匙や埴などの仏教に関連する遺物が出土した。また、灰釉陶器、人面墨書土器、東海系の須恵器壺、南関東系の土師器甕のほか、刀装具、馬具などの金属製品が出土した。

こ め の じ ょ う い せ き
64 米ノ城遺跡 08483049

(縄文時代、古墳時代、中世／包蔵地)

所在地 つくばみらい市小絹字米ノ城408番2
調査原因 個人住宅建設事業
調査年月日 令和3年1月12日～1月15日
調査面積 24.75㎡
調査主体 有限会社日考研茨城
資料保管 つくばみらい市教育委員会
報告書名 「米ノ城遺跡発掘調査報告書」令和3年3月29日つくばみらい市教育委員会

調査概要

つくばみらい市南西端部に位置しており、小貝川右岸標高18.4mの猿島・北相馬台地上に立地している。調査の結果、調査区の北東部において古墳時代前期と推定される方形の竪穴建物跡1棟が確認された。本跡の東側大部分は、道路建設に伴い削平されており、遺物の出土はないが、平成24年に行われた試掘調査で弥生土器と土師器破片が出土した。

65 なかじまやまいせき 中島山遺跡 08482035

(縄文時代、弥生時代、室町時代、江戸時代／集落跡)

所在地 つくばみらい市板橋2394番4ほか
調査原因 道路整備事業
調査年月日 令和2年8月1日～令和3年3月31日
調査面積 12,767㎡
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

つくばみらい市中央部、中通川右岸の標高約14～22mの台地上に立地している。北部では、縄文時代中・後期の竪穴建物跡などを確認した。竪穴建物内に敷設された炉跡は、深さ40cm以上掘り込んだもので、谷を挟み北側に位置する東耕地北遺跡に類似している。南部では、室町時代や江戸時代の遺構を多く確認した。東西に平行に延びる2条の溝跡の溝間から流れ込むような堆積状況からは土塁の存在がうかがえ、近接する板橋城との関連が推測できる。

66 かまたいせき 鎌田遺跡 08482021

(縄文時代、奈良・平安時代／集落跡)

所在地 つくばみらい市南太田278番2ほか
調査原因 道路新設事業
調査年月日 令和2年12月1日～令和3年3月31日
調査面積 1,541㎡
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

つくばみらい市東部、中通川左岸の標高約23mの台地上に立地している。縄文時代と奈良・平安時代を中心とする集落跡である。調査区中央部では、縄文時代の遺物包含層の上面で奈良・平安時代の竪穴建物跡を多数確認した。竪穴建物跡の多くは重複しており、近接地に建物が何度も建てられた様子が見られる。

67 かみかいどうひがしいせき 上街道東遺跡 0848203

(旧石器時代、縄文時代、奈良・平安時代、室町時代、江戸時代／集落跡)

所在地 つくばみらい市板橋2280番2ほか
調査原因 道路整備事業
調査年月日 令和2年8月1日～令和3年3月31日
調査面積 6,899㎡
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

つくばみらい市中央部、中通川右岸の標高約14～22mの台地上に立地している。調査区南部では、室町時代の方形区画内に掘立柱建物跡や方形竪穴遺構、井戸跡、土坑、ピット群を確認した。出土遺物には中国産の青磁碗や国内産の陶器が見られ、地域の有力者や墓域などに関わる遺構群と考えられる。また東部では、台地の斜面部から平坦面にかけて奈良・平安時代の竪穴建物跡を確認した。出土した瓦塔からは、仏教との関連がうかがえる。

68 のなかひがしいせき 野中東遺跡 08380148

(縄文時代、古墳時代／集落跡)

所在地 稲敷郡美浦村受領1454-3
調査原因 店舗建設
調査年月日 令和2年12月1日～令和3年1月14日
調査面積 1,000㎡
調査主体 株式会社地域文化財研究所
資料保管 美浦村文化財センター
報告書名 「野中東遺跡」令和3年7月15日
株式会社地域文化財研究所ほか

調査概要

標高27m程の台地縁辺部に立地。調査の結果、縄文時代、古墳時代を中心とした遺構・遺物を検出した。縄文時代では中期阿玉台式期の竪穴建物跡1棟、同竪穴状遺構1基を検出した。また、古墳時代では約9m四方の規模をもつ大型の竪穴建物跡1棟を確認し、出土遺物から5世紀末から6世紀初めに比定される。床面上からは滑石製品(臼玉、双孔円板)のほか、未製品や剥片も検出されていることから、工房的な性格が想定される。

69 ひがしの かどにし の かどじょうせき 東の門西の門城跡 (第3次) 08543015

(弥生時代、古墳時代～中世／集落跡・城館跡)

所在地 古河市山田字八幡前1150-1ほか
調査原因 県営圃場整備事業
調査年月日 令和2年9月14日～令和3年2月26日
調査面積 6,275m²
調査主体 株式会社東京航業研究所
資料保管 古河市教育委員会
報告書名 『古河市埋蔵文化財調査報告書 第27集 東の門西の門城跡 (第3次)』令和4年3月刊行

調査概要

市南東部の大川(旧長井戸沼東枝)右岸、標高約20m前後の台地上に所在する。第2次調査区の北東側に位置し、古墳時代中期から平安時代の竪穴建物跡51棟を確認し、土師器・須恵器・鉄製品・土製品などが出土しており、集落が台地上の広く営まれていたと推定される。また、城館跡に関連するとみられる溝跡(堀跡)を中心に地下式坑・井戸跡などが確認され、土師質土器・瓦質土器・陶磁器の他に、金属製品等が出土した。新規に弥生時代後期の竪穴建物跡を1棟確認した。

70 みしまいせき 三島遺跡 (第3次) 08543132

(古墳時代～奈良・平安時代／集落跡)

所在地 古河市尾崎字三島483ほか
調査原因 県営圃場整備事業
調査年月日 令和2年8月4日～令和3年3月5日
調査面積 7,840m²
調査主体 有限会社毛野考古学研究所茨城支所
資料保管 古河市教育委員会
報告書名 『古河市埋蔵文化財調査報告書 第26集 三島遺跡 (第3次)』令和4年3月刊行

調査概要

市北東部の西仁連川左岸、標高27m前後の台地上に所在する。昨年度調査区の北隣に位置し、奈良・平安時代を主体とした竪穴建物跡52棟、掘立柱建物跡6棟、鍛冶工房跡2軒などが確認された。三和窯群産を含む須恵器や土師器の他に、役人層の存在が推定される円面硯や銅製品(腰帯具【巡方】)が出土した。複数の鍛冶工房跡が確認され、多くの鉄製品の出土していることから、これまでの調査成果も合わせると律令期と消長を共にした当地域の開発にかかわる集落跡と推測される。

71 かとりまえいせき 香取前遺跡 08207054

(縄文時代～近代／集落跡)

所在地 結城市大字武井1344番地ほか
調査原因 県営圃場整備事業
調査年月日 令和2年12月15日～令和3年3月26日
調査面積 6,550m²
調査主体 有限会社勾玉工房Mogi
資料保管 結城市教育委員会
報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

結城市南西部、西仁連川東岸の微高地上に立地する。調査によって竪穴建物跡10軒、粘土採掘坑群1カ所、溝跡7条、堀跡2条、土坑15基などを確認した。縄文土器や弥生土器、土師器、須恵器、石鏃などが出土した。堀跡からは土師質土器の小皿や内耳土器、青磁碗、天目茶碗、板碑、石臼、古銭、鉄滓などが出土し、15世紀後半～16世紀の集落跡の存在が判明した。

72 わしじんじやいせき 鷲神社遺跡 08207047

(旧石器時代、縄文時代、古墳時代、平安時代／古墳、集落跡)

所在地 結城市大字粕礼字不動小屋1115番2ほか
調査原因 道路改築事業
調査年月日 令和2年10月1日～12月31日
調査面積 4,164m²
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

結城市南東部、鬼怒川右岸の標高26～27mの微高地上に立地している。調査区の中央部から南部で、円墳7基を確認した。いずれも盛土や主体部は遺存していない。時期は古墳時代後期で、当地域に分布する粕礼古墳群の一部と考えられる。調査区北部では、平安時代後期の竪穴建物跡を確認した。竈の支脚に足高高台の付いた坏を逆位で転用していることや、袖部の補強材に川原石が用いられることが共通して見られる。

73 たかさいほんでんいせき 高道祖本田遺跡 (第1地点) 08210104

(中世、近世／集落跡)

所在地 下妻市高道祖2788番地1
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和2年6月9日～26日
調査面積 264㎡
調査主体 下妻市教育委員会
資料保管 下妻市教育委員会
報告書名 『市内遺跡発掘調査報告書1』
令和3年6月30日

調査概要

高道祖本田遺跡の南西部にあたる。確認した遺構は、溝状遺構1条と土坑11基である。いずれも出土遺物から中世末から近世にかけての所産と考えられた。また、遺構外出土遺物として縄文早期の稲荷台式土器が1点出土した。やはり遺構外出土の剥片・石核も同時期の所産と考えられる。市内では縄文期最古級の遺物である。

74 さくらづかいせき 桜塚遺跡 (第10地点) 08210030

(縄文時代／集落跡)

所在地 下妻市高道祖4250番地21
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和2年7月2日～8月5日
調査面積 86㎡
調査主体 下妻市教育委員会
資料保管 下妻市教育委員会
報告書名 令和4年度刊行予定

調査概要

桜塚遺跡の南西部にあたる。竪穴建物跡1棟と円形土坑5基を確認した。時期は、いずれも縄文中期の阿玉台式期の土器が出土した。限られた範囲での調査ではあるが、北側に隣接する第7地点の延長と考えられた。

75 みなばひがしやまいせき 皆葉東山遺跡 (第1地点) 08522018

(縄文時代、古墳時代／集落跡)

所在地 下妻市皆葉1662番地5
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和2年9月28日～10月12日
調査面積 110㎡
調査主体 下妻市教育委員会
資料保管 下妻市教育委員会
報告書名 『市内遺跡発掘調査報告書1』
令和3年6月30日

調査概要

皆葉東山遺跡のほぼ中央部にあたる。竪穴建物跡2棟と土坑17基、ピット3基を確認した。竪穴建物跡は、いずれも残存状況が悪く、出土遺物から古墳時代前期の所産と考えられる。土坑は、縄文時代前期や近代の所産のものが含まれている。

76 さちうえもんまえいせき 吉右衛門前遺跡 08228067

(古墳時代／集落跡)

所在地 坂東市富田691-1
調査原因 県営畑地帯総合整備事業
調査年月日 令和2年11月16日～25日
調査面積 57.6㎡
調査主体 坂東市教育委員会
調査支援 有限会社毛野考古学研究所
資料保管 坂東市教育委員会
報告書名 「吉右衛門前遺跡一県営畑地帯総合整備事業富田地区に伴う埋蔵文化財発掘調査一」令和3年2月12日 坂東市教育委員会

調査概要

吉右衛門前遺跡は、坂東市中央を南流する江川左岸の標高約17mの台地上に所在する。調査の結果、古墳時代の竪穴建物跡1棟と時期不明の溝跡1条を検出し、土師器、土製品が出土した。検出した竪穴建物跡は、全体の50%ほどと考えられ内容を明らかにすることはできなかったが、出土遺物から建物の形態としては炉を伴うものであったと想定される。

77 にしほらいせき 西原遺跡 08228223

(縄文時代、古墳時代、近世、近代／集落跡)

所在地 坂東市長須410番ほか
調査原因 道路改良事業
調査年月日 令和3年1月4日～2月8日
調査面積 105㎡
調査主体 坂東市教育委員会
調査支援 有限会社勾玉工房Mogi
資料保管 坂東市教育委員会
報告書名 「西原遺跡一市道長須277号線整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」
令和3年3月31日 坂東市教育委員会

調査概要

西原遺跡は、利根川に面した標高15mほどの台地の西縁辺部に所在する。調査の結果、竪穴建物跡3棟（古墳）、土坑3基（縄文1、近世・近代2）ピット15基（縄文3、近世・近代12）溝1条（近世・近代）を検出した。竪穴建物跡は、西側から入る浅い谷寄りに位置し、この谷を中心に展開した集落跡の存在が考えられる。

78 ながちょういせき 長丁遺跡 08218062

(縄文時代、中・近世／集落跡)

所在地 坂東市弓田字長丁672番ほか
調査原因 道路建設事業
調査年月日 令和2年4月1日～5月31日
調査面積 4,526㎡
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

坂東市の中央部、江川左岸の標高15mの微高地及び台地上に立地している。調査区北部では、縄文時代早期の土器を伴う炉穴や中期の竪穴建物跡を確認した。調査区南部では、径5mを超える大型の井戸跡を確認し、天目茶碗や常滑甕、内耳鍋、宝篋印塔などの遺物が多く出土した。これらは、隣接する談議所遺跡で確認した同時期の遺構を含め、当遺跡の西側にある字名「元屋敷」との関連が考えられる。

79 たかもりこふんぐん 高森古墳群 08504004

(縄文時代～近世／古墳跡、集落跡、城館跡)

所在地 桜川市高森978-1ほか
調査原因 桜川筑西IC周辺地区開発
調査年月日 令和2年4月2日～12月1日
調査面積 13,000㎡
調査主体 桜川市教育委員会
調査支援 有限会社毛野考古学研究所
資料保管 桜川市教育委員会
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

古墳は3基現存し、墳丘は現状保存とした。発掘調査では、古墳群中央から北側の3号墳周辺を調査した。古墳の遺構は、3号墳周溝と4号墳（新発見）の周溝を調査した。古墳以外は、弥生時代から平安時代の竪穴住居跡や土坑が出土した。ほかに中世集落や城館跡があり、溝、堀等の区画、建物跡、井戸、地下式坑などが出土した。近世の遺構は、近世末期以降の土坑等で集落墓域の一部と思われる。

80 まかべじょうあと 真壁城跡 08082028

(中世／城館跡)

所在地 桜川市真壁町古城377
調査原因 史跡整備
調査年月日 令和2年5月29日～令和3年1月14日
調査面積 700㎡
調査主体 桜川市教育委員会
資料保管 桜川市教育委員会
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

中城地区にて城郭庭園の調査を行った。遺構は、池跡や通路、溝跡、土塁の基部、ピット等を確認した。遺物は、かわらけや陶磁器、鉄製品が出土した。陶磁器は、天目茶碗や染付などの茶器、鉄製品は鉄砲の玉や釘等、16世紀後半の資料が中心である。主な調査成果は、庭園エリアの範囲の追認と庭園遺構の配置等の確認である。

所在地 結城郡八千代町仁江戸字東1282番1ほか
調査原因 保存目的の範囲内容確認調査
調査年月日 令和3年3月8日～31日
調査面積 20㎡
調査主体 八千代町教育委員会
調査支援 筑波大学考古学研究室
資料保管 八千代町歴史民俗資料館
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

八千代町の南東部、鬼怒川右岸の標高23～24mの台地上に立地する。今回の調査は、古墳の地形測量及び古墳の南側と北東部の2か所のトレンチで周溝跡を確認した。その結果、墳丘の直径が約35m、周溝幅が約8mの円墳と推定される。遺物は、周溝内から土師器片が少量出土したが、古墳に伴う遺物は確認できなかった。次回（2次）の調査では、墳丘北西部のトレンチによる周溝調査と、古墳の墳頂部に築かれた富士塚と古墳の関係について確認する予定である。

令和4年3月31日印刷

令和4年3月31日発行

茨城の文化財 第60集

編集並びに
発行者 茨城県教育委員会

印刷所 佐藤印刷株式会社

